第４章　子供の日常生活

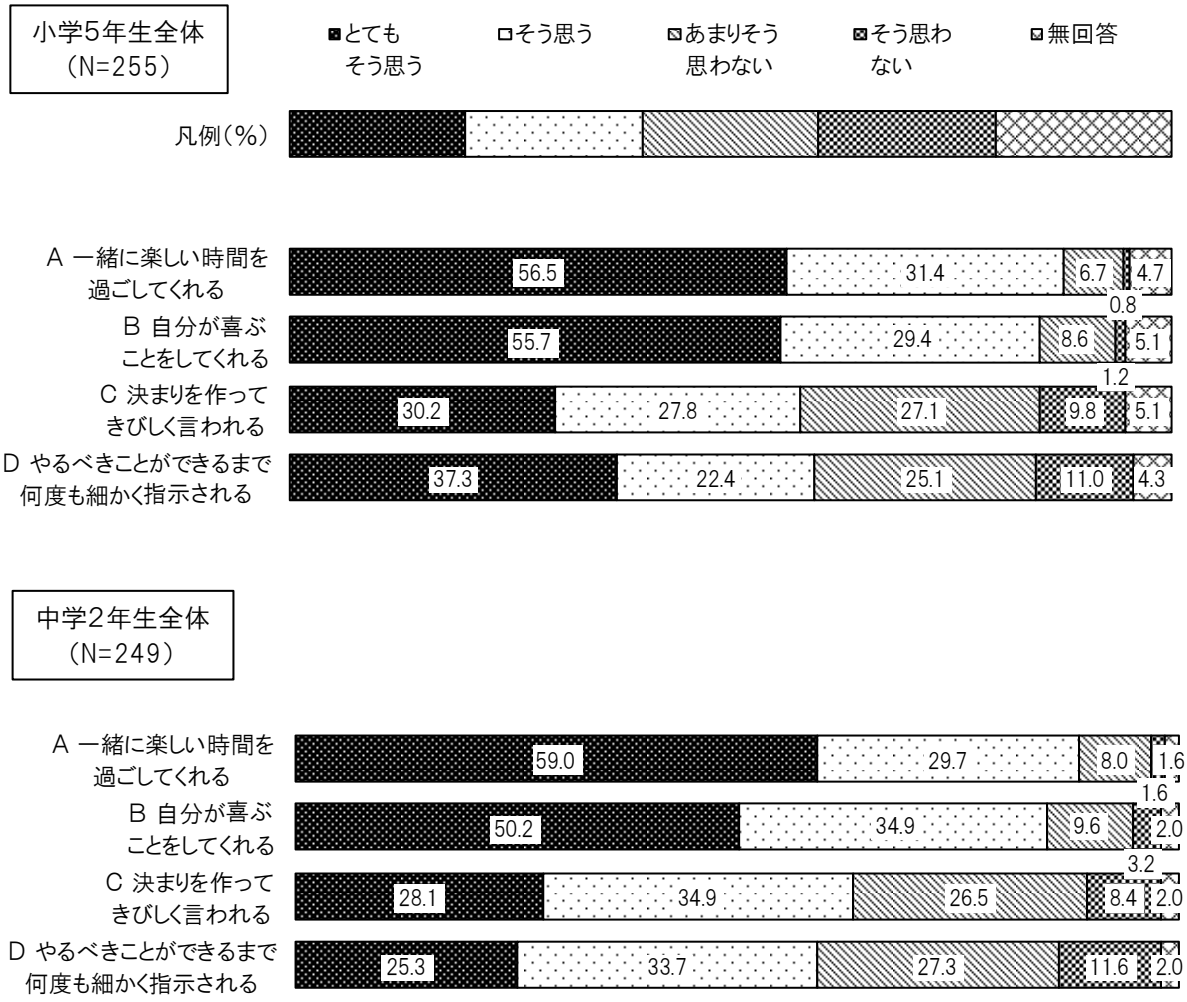
【１】家族や友だち

（１）家族の接し方

子／問６　あなたの家族はあなたに対していつもどのようにしていますか。
もっとも近いと思うものに○をつけてください。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

家族の接し方については、小学５年生全体では「とてもそう思う」の割合が高い順に「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」(56.5%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれる」(55.7%)、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」(37.3%)、「C 決まりを作ってきびしく言われる」(30.2%) となっている。

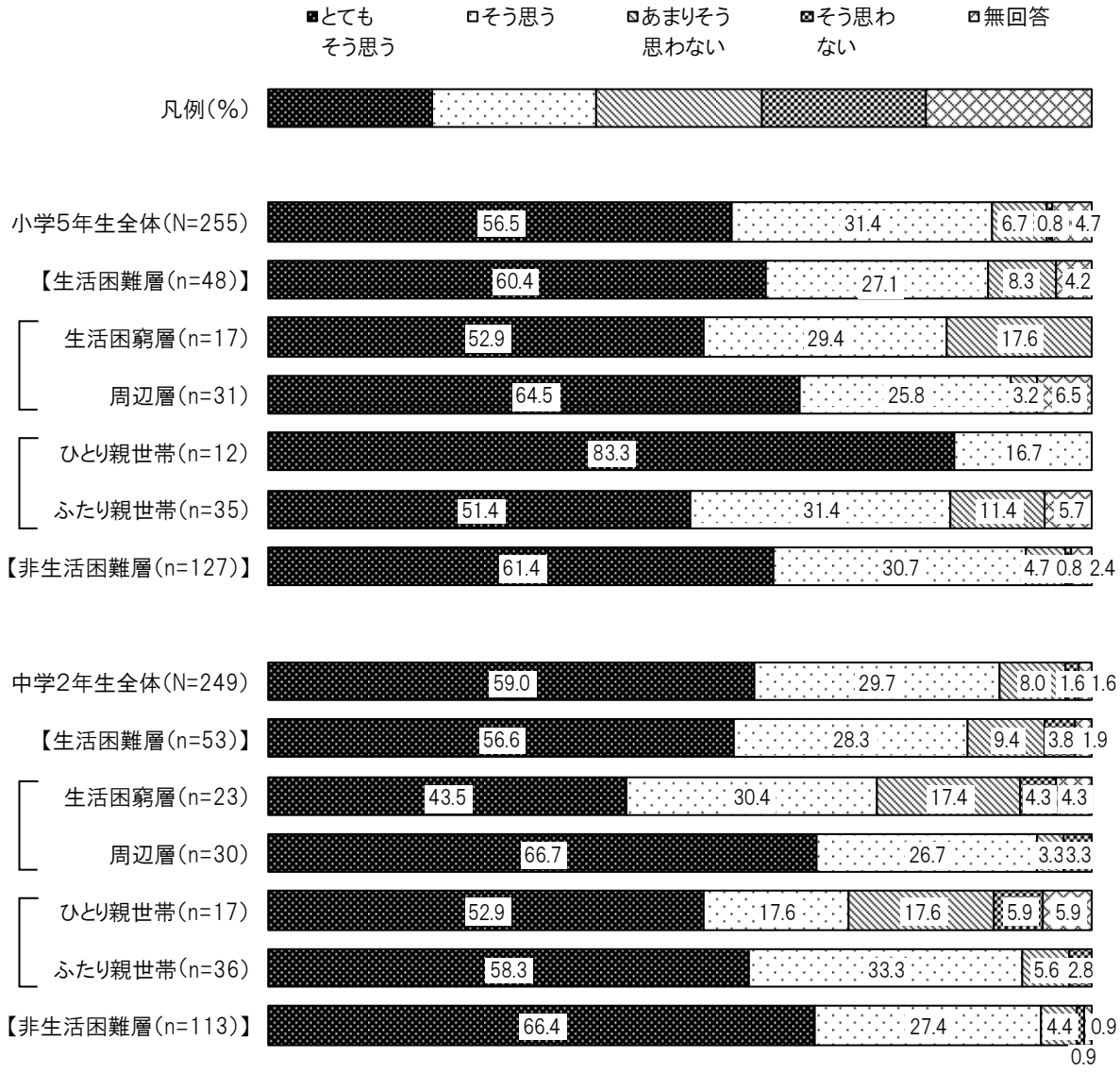
中学２年生全体では、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」(59.0%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれる」(50.2%)、「C 決まりを作ってきびしく言われる」(28.1%)、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」(25.3%) となっている。



A　一緒に楽しい時間を過ごしてくれる

一緒に楽しい時間を過ごしてくれることについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 52.9%、周辺層で 64.5%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 43.5%、周辺層で 66.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

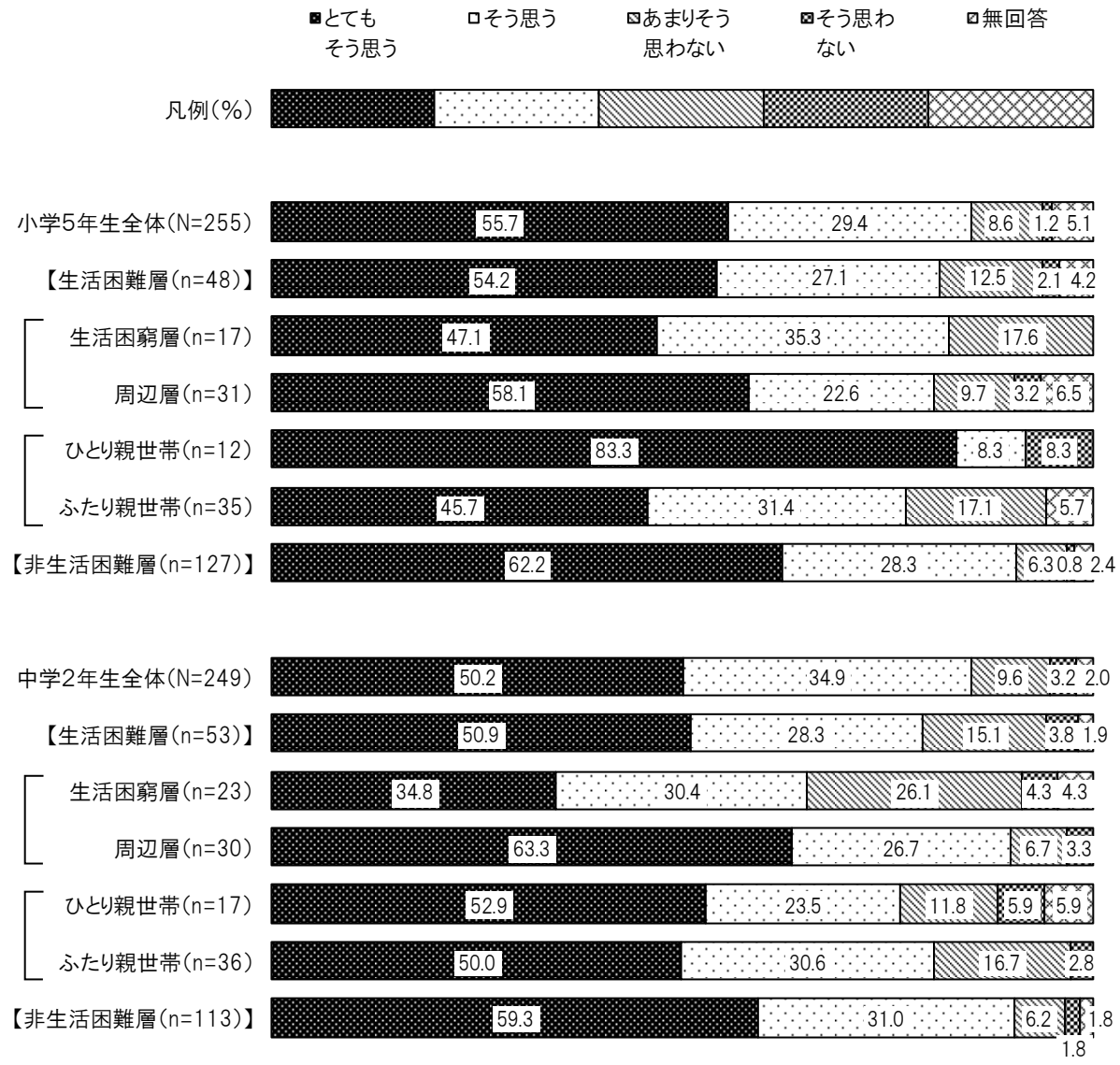
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　自分が喜ぶことをしてくれる

自分が喜ぶことをしてくれることについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 47.1%、周辺層で 58.1%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 34.8%、周辺層で 63.3%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

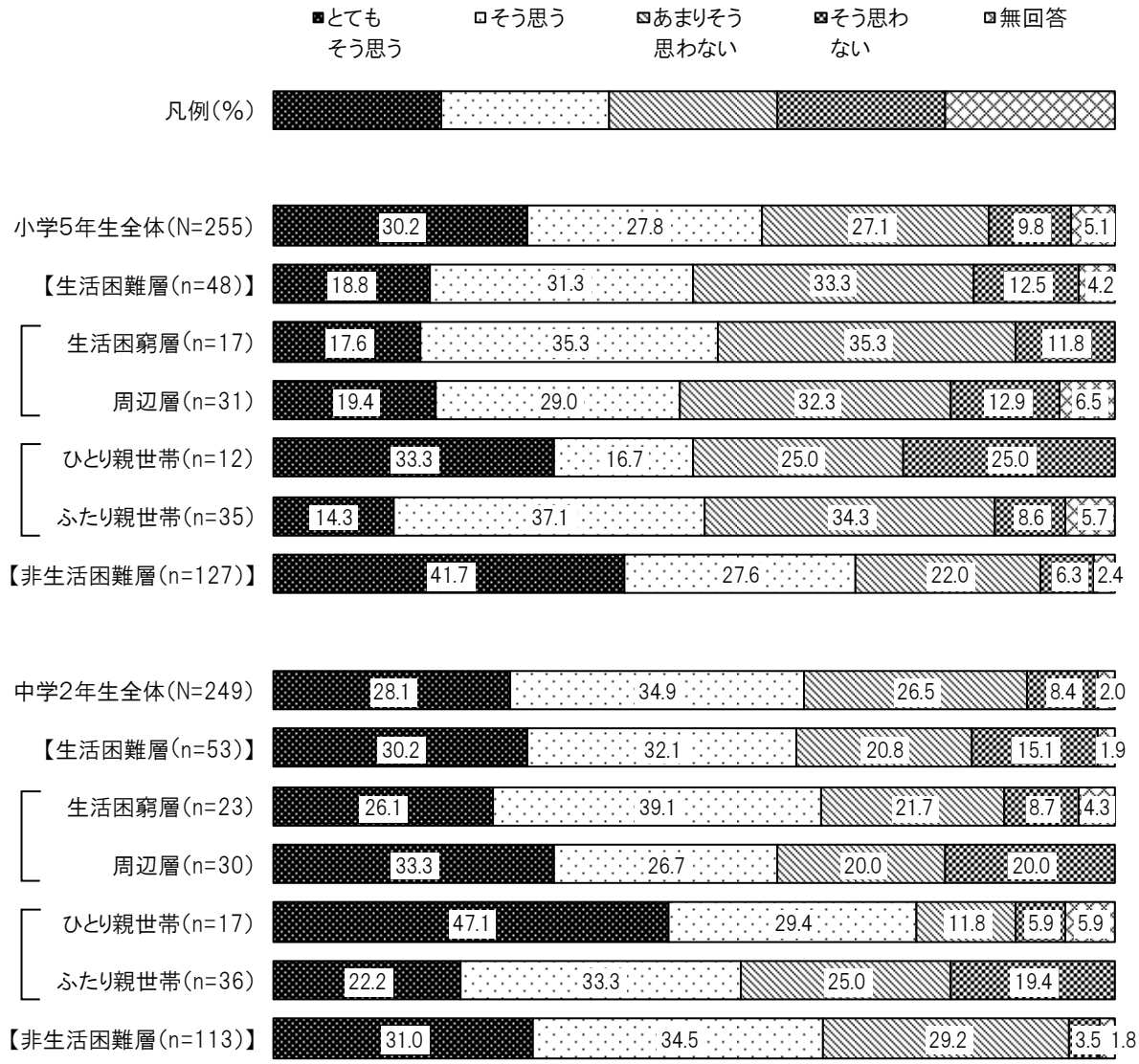
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



C　決まりを作ってきびしく言われる

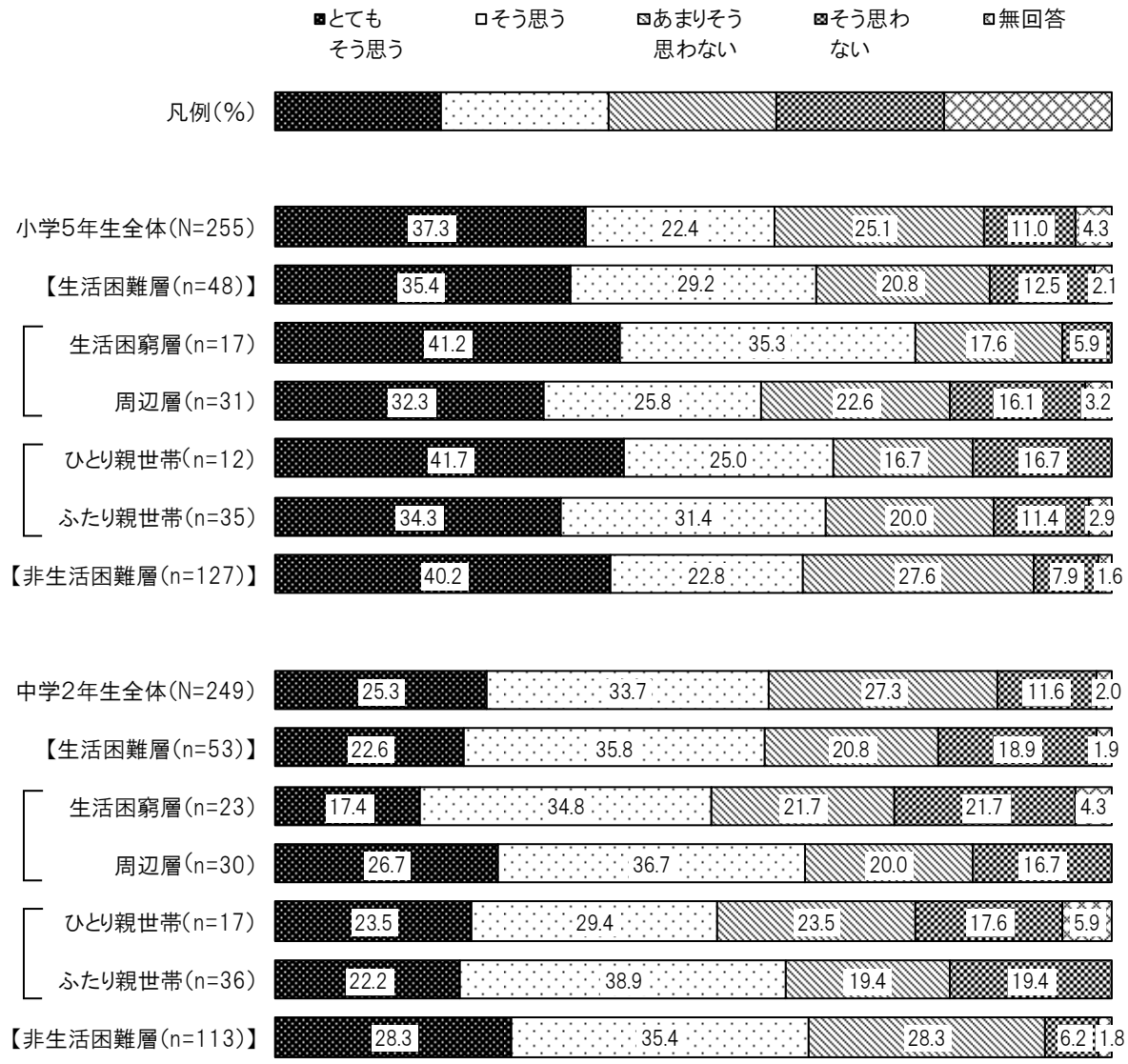
決まりを作ってきびしく言われることについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で17.6%、周辺層で19.4%となっている。中学２年生では、生活困窮層で26.1%、周辺層で33.3%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



D　やるべきことができるまで何度も細かく指示される

やるべきことができるまで何度も細かく指示されることについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 41.2%、周辺層で 32.3%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 17.4%、周辺層で 26.7%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「とてもそう思う」「そう思う」の合計人数は、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」「B 自分が喜ぶことをしてくれる」が各６名（全員）、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」が３名、「C 決まりを作ってきびしく言われる」が２名となっている。

問5 家族の自分への接し方／A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	33.3	2
そう思う	66.7	4
あまりそう思わない	0.0	0
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問5 家族の自分への接し方／B 自分が喜ぶことをしてくれる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	33.3	2
そう思う	66.7	4
あまりそう思わない	0.0	0
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問5 家族の自分への接し方／C 決まりを作ってきびしく言われる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	16.7	1
そう思う	16.7	1
あまりそう思わない	66.7	4
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問5 家族の自分への接し方／D やるべきことができるまで何度も細かく指示される	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	33.3	2
そう思う	16.7	1
あまりそう思わない	50.0	3
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「とてもそう思う」「そう思う」の合計人数は、「B 自分が喜ぶことをしてくれる」が９名、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」が８名、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」が７名、「C 決まりを作ってきびしく言われる」が４名となっている。

問5 家族の自分への接し方／A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	70.0	7
そう思う	10.0	1
あまりそう思わない	20.0	2
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

問5 家族の自分への接し方／B 自分が喜ぶことをしてくれる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	60.0	6
そう思う	30.0	3
あまりそう思わない	10.0	1
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

問5 家族の自分への接し方／C 決まりを作ってきびしく言われる	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	0.0	0
そう思う	40.0	4
あまりそう思わない	60.0	6
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

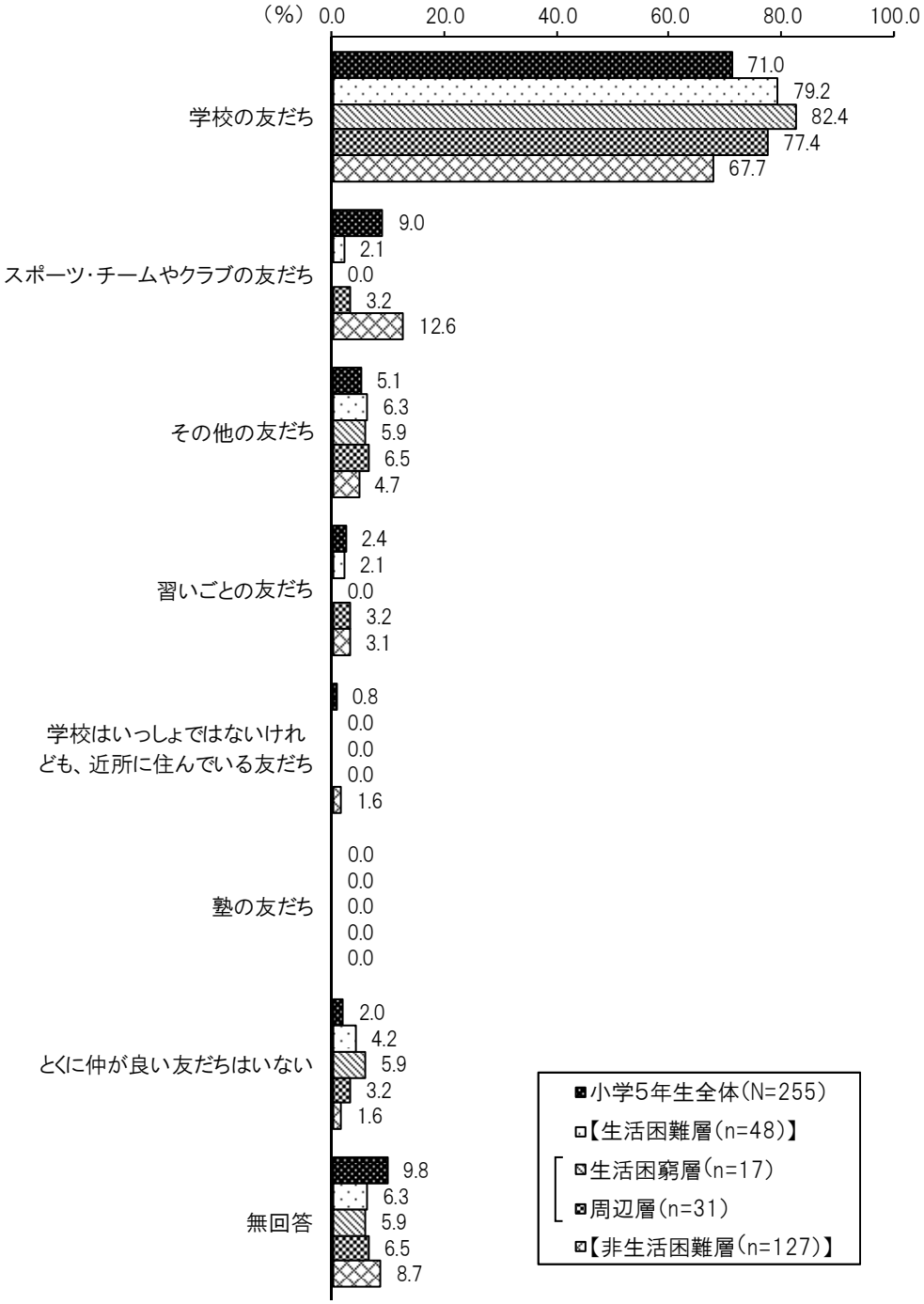
問5 家族の自分への接し方／D やるべきことができるまで何度も細かく指示される	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	20.0	2
そう思う	50.0	5
あまりそう思わない	30.0	3
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

（２）一番仲がよい友だち

子／問７　あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。 （あてはまる番号１つに○）

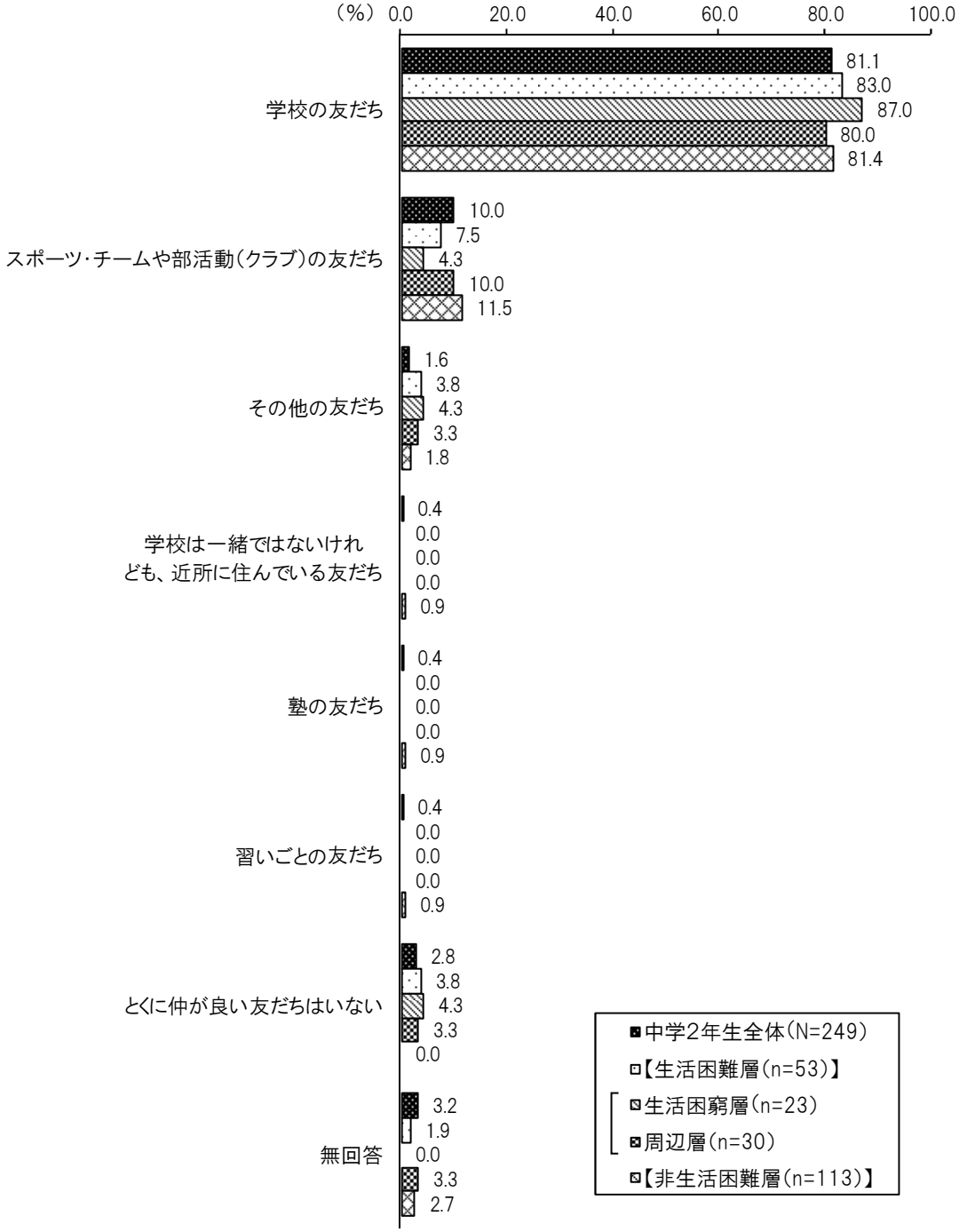
一番仲がよい友だちについて、小学５年生全体では「学校の友だち」が 71.0％と最も高く、次いで「スポーツ・チームやクラブの友だち」（9.0％）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「学校の友だち」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



中学２年生全体では、「学校の友だち」が 81.1％と最も高く、次いで「スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友だち」（10.0％）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友だち」の割合が低く、「学校の友だち」などの割合が他の層に比べてやや高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「学校の友だち」が５名、「学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友だち」が１名となっている。

問6　一番仲が良い友だちはどこの友だちか	回答割合（%）	回答件数
学校の友だち	83.3	5
学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友だち	16.7	1
スポーツ・チームやクラブの友だち	0.0	0
塾の友だち	0.0	0
習いごとの友だち	0.0	0
その他の友だち	0.0	0
とくに仲が良い友だちはいない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「学校の友だち」が８名、「とくに仲が良い友だちはいない」が２名となっている。

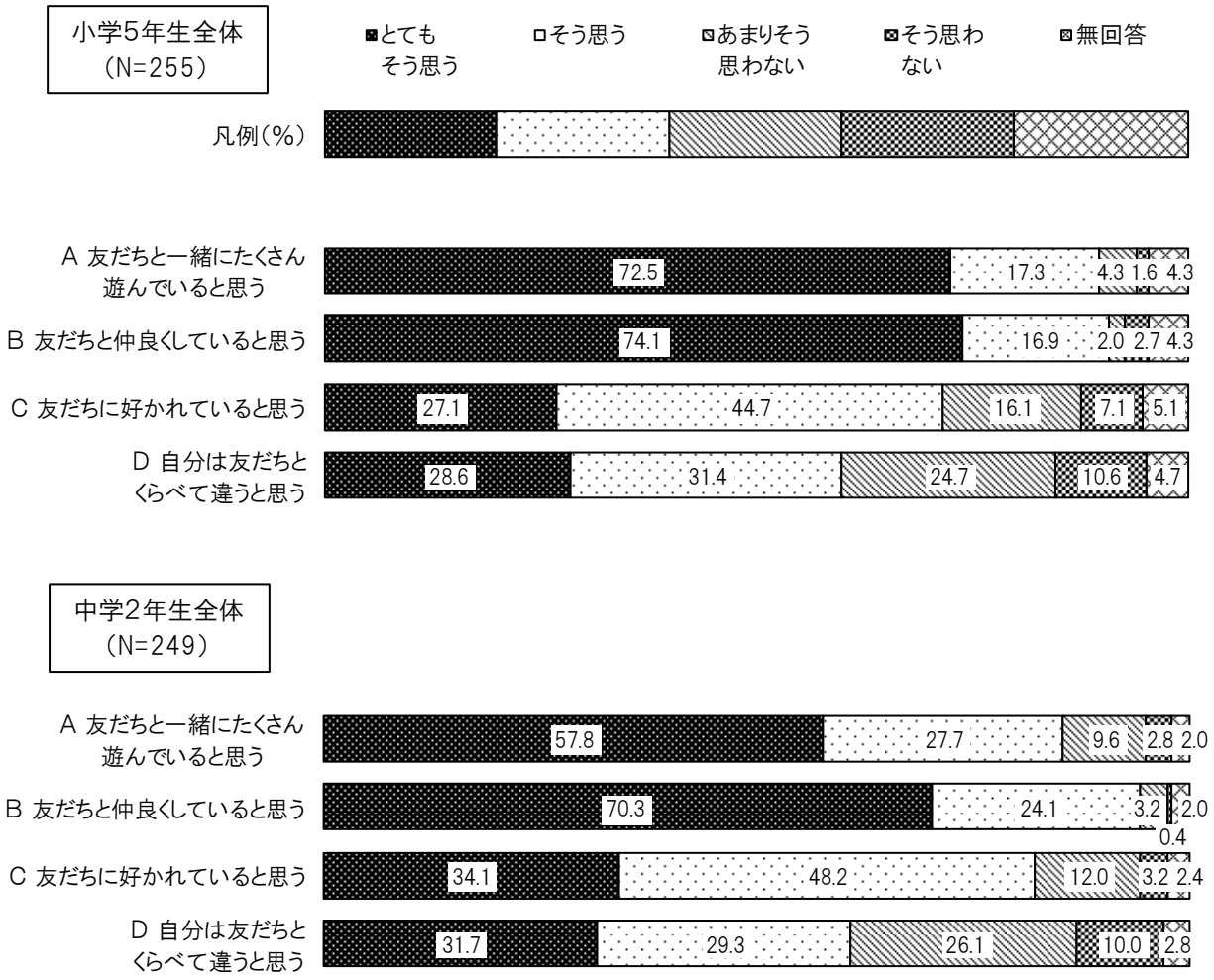
問6　一番仲が良い友だちはどこの友だちか	回答割合（%）	回答件数
学校の友だち	80.0	8
学校は一緒ではないけれども、近所に住んでいる友だち	0.0	0
スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友だち	0.0	0
塾の友だち	0.0	0
習いごとの友だち	0.0	0
その他の友だち	0.0	0
とくに仲が良い友だちはいない	20.0	2
全体	100.0	10

（3）友だちとの関係

子／問８　あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。もっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

友だちとの関係については、小学５年生全体では「とてもそう思う」の割合が高い順に「B 友だちと仲良くしていると思う」(74.1%)、「A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う」(72.5%)、「D 自分は友だちとくらべて違うと思う」(28.6%)、「C 友だちに好かれていると思う」(27.1%) となっている。

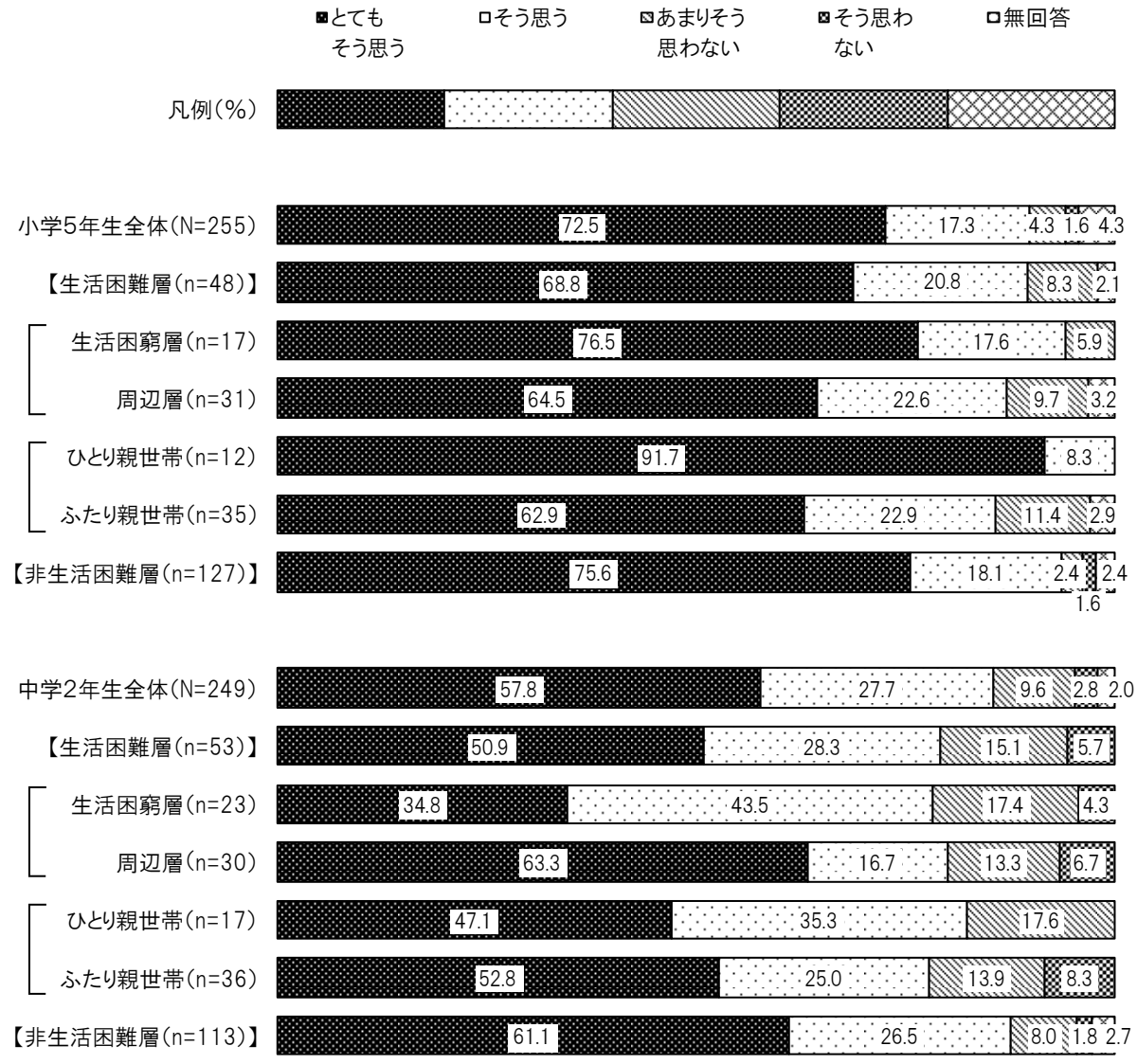
中学２年生全体では、「B 友だちと仲良くしていると思う」(70.3%)、「A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う」(57.8%)、「C 友だちに好かれていると思う」(34.1%)、「D 自分は友だちとくらべて違うと思う」(31.7%) となっている。



A　友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 76.5%、周辺層で 64.5%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 34.8%、周辺層で 63.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。

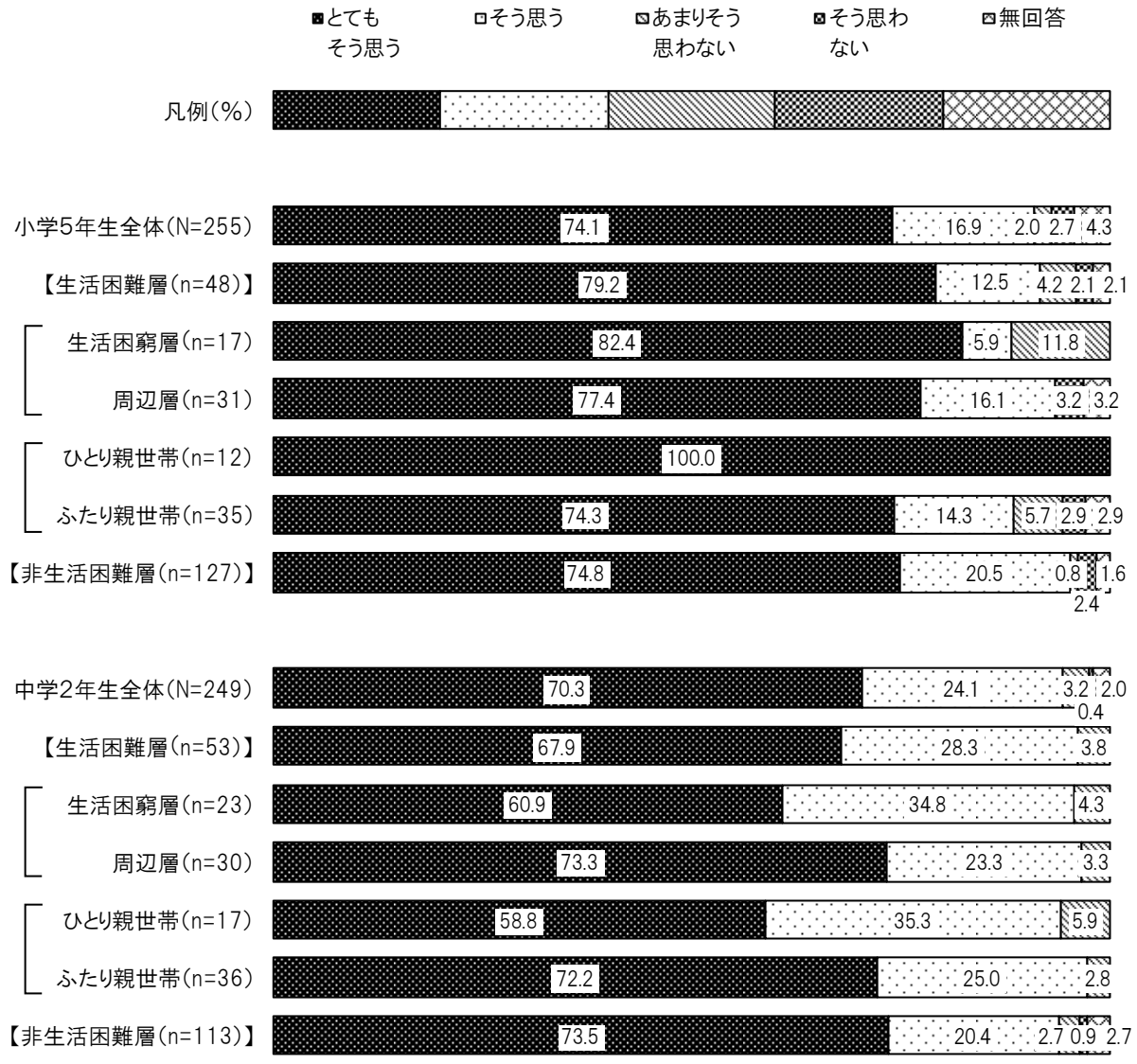
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　友だちと仲良くしていると思う

友だちと仲良くしていると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で82.4%、周辺層で77.4%となっている。中学２年生では、生活困窮層で60.9%、周辺層で73.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。

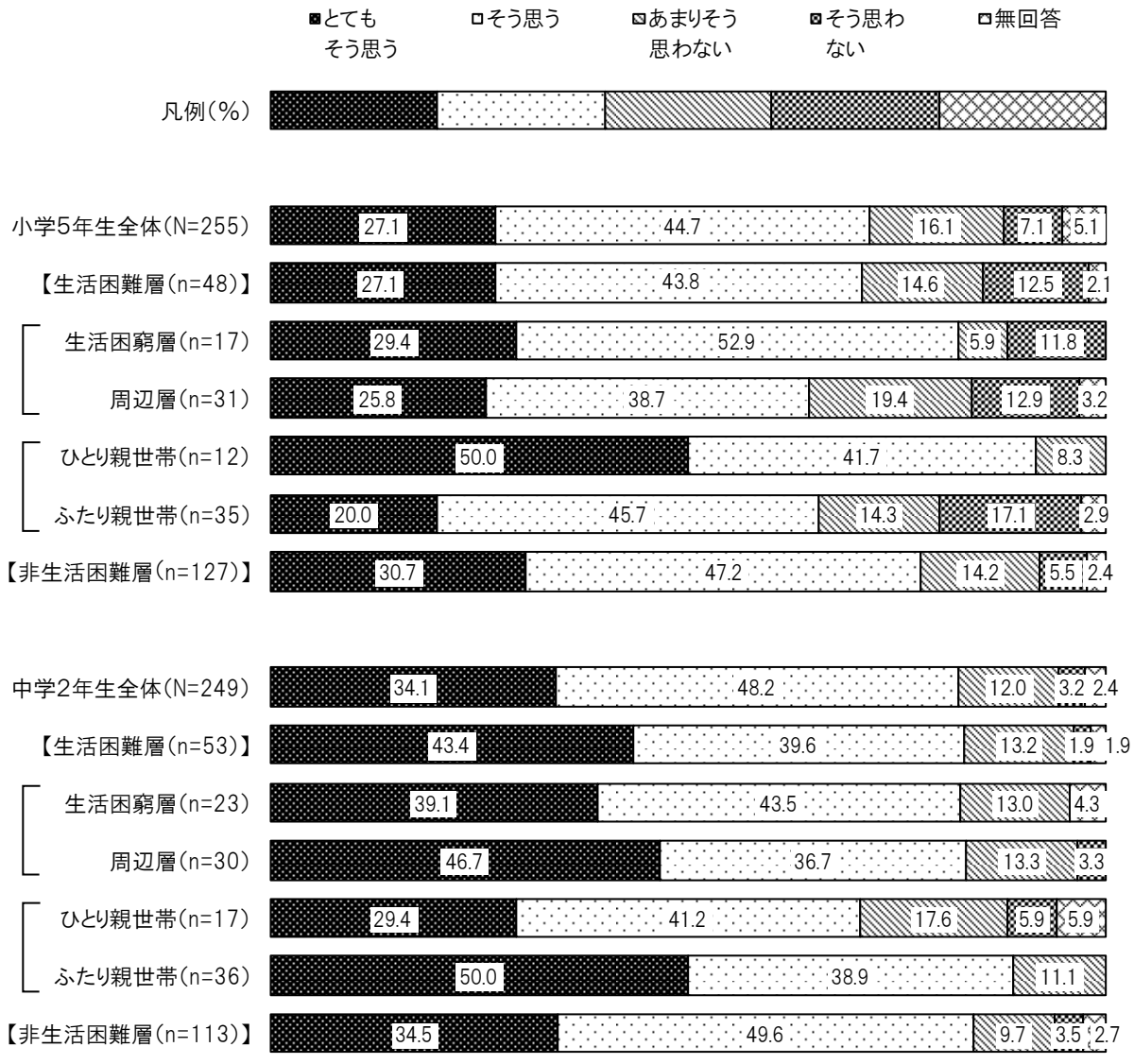
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



C　友だちに好かれていると思う

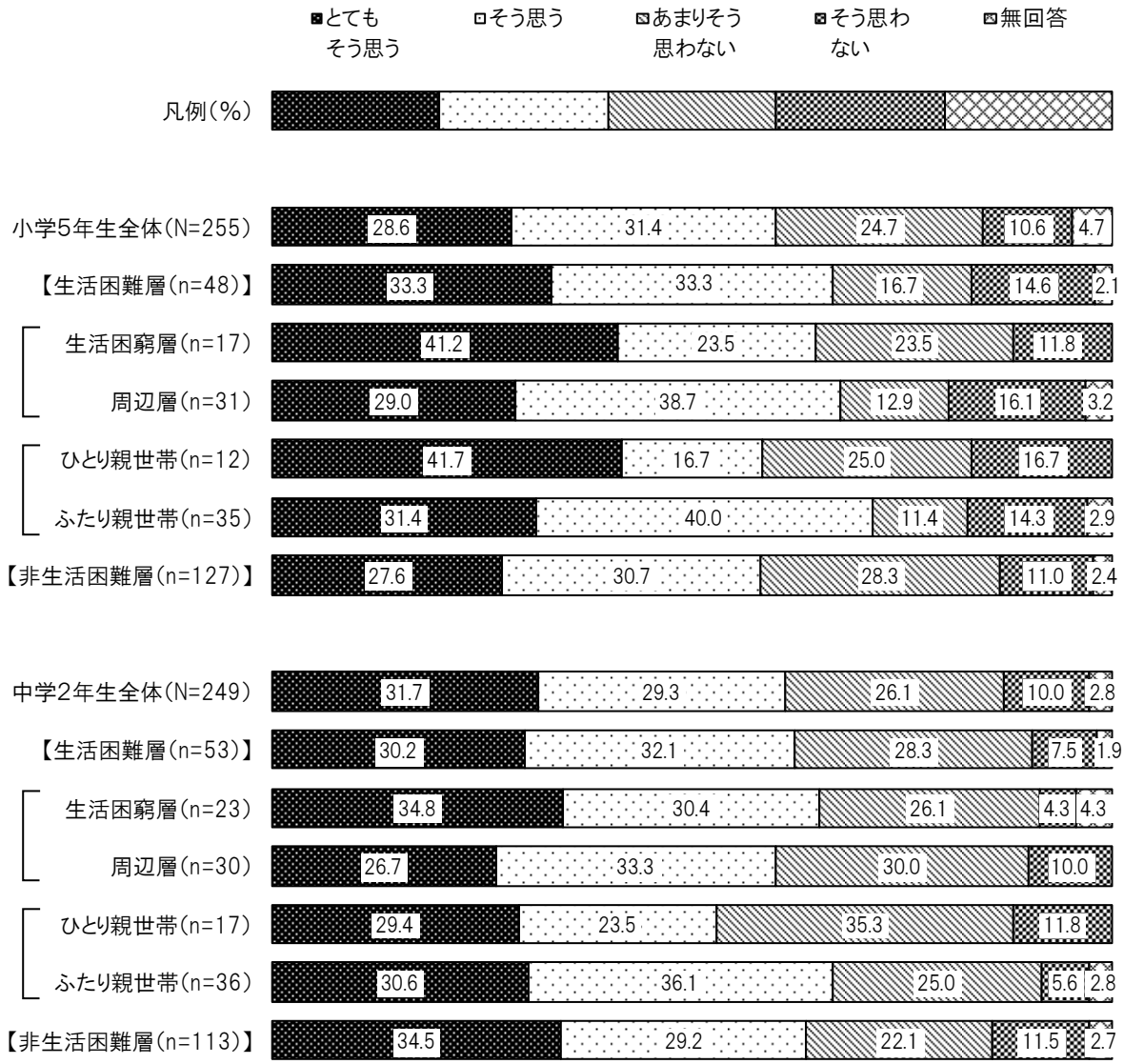
友だちに好かれていると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 29.4%、周辺層で 25.8%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 39.1%、周辺層で 46.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



D　自分は友だちとくらべて違うと思う

自分は友だちとくらべて違うと思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 41.2%、周辺層で 29.0%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 34.8%、周辺層で 26.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「とてもそう思う」は、「B 仲良くしていると思う」が４名、「A 一緒にたくさん遊んでいると思う」が３名となっている。

問7 友だちとの関係／A 一緒にたくさん遊んでいると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	50.0	3
そう思う	33.3	2
あまりそう思わない	16.7	1
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問7 友だちとの関係／B 仲良くしていると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	66.7	4
そう思う	33.3	2
あまりそう思わない	0.0	0
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問7 友だちとの関係／C 好かれていると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	0.0	0
そう思う	83.3	5
あまりそう思わない	16.7	1
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

問7 友だちとの関係／D 自分とくらべて違うと思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	0.0	0
そう思う	50.0	3
あまりそう思わない	50.0	3
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「とてもそう思う」は、「A 一緒にたくさん遊んでいると思う」「B 仲良くしていると思う」が各６名、「C 好かれていると思う」が３名となっている。

問7 友だちとの関係／A 一緒にたくさん遊んでいると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	60.0	6
そう思う	20.0	2
あまりそう思わない	10.0	1
そう思わない	10.0	1
全体	100.0	10

問7 友だちとの関係／B 仲良くしていると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	60.0	6
そう思う	20.0	2
あまりそう思わない	10.0	1
そう思わない	10.0	1
全体	100.0	10

問7 友だちとの関係／C 好かれていると思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	30.0	3
そう思う	50.0	5
あまりそう思わない	20.0	2
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

問7 友だちとの関係／D 自分とくらべて違うと思う	回答割合（%）	回答件数
とてもそう思う	10.0	1
そう思う	60.0	6
あまりそう思わない	30.0	3
そう思わない	0.0	0
全体	100.0	10

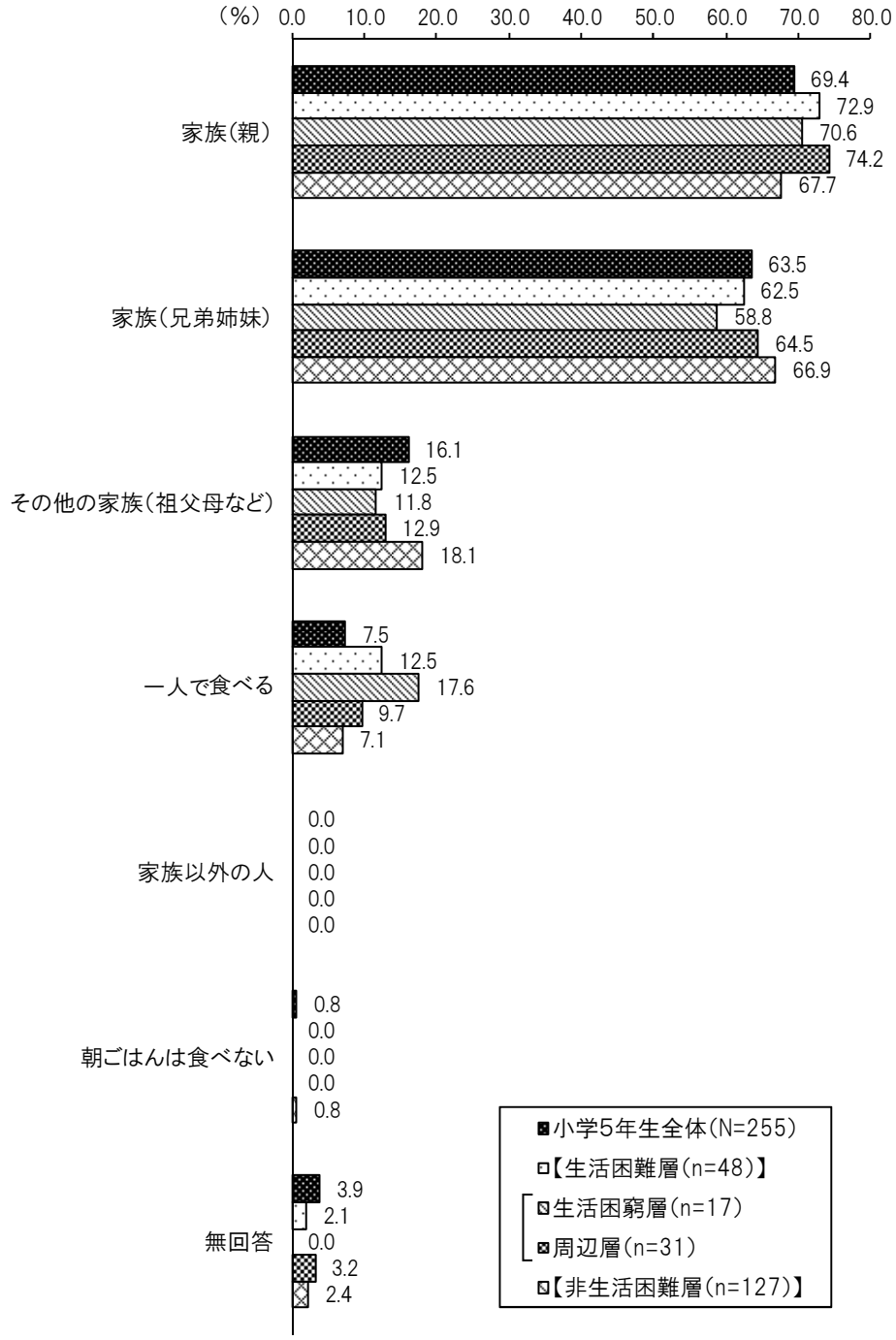
【２】平日の食事

（１）朝食を一緒にとる人

子／問 22　あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

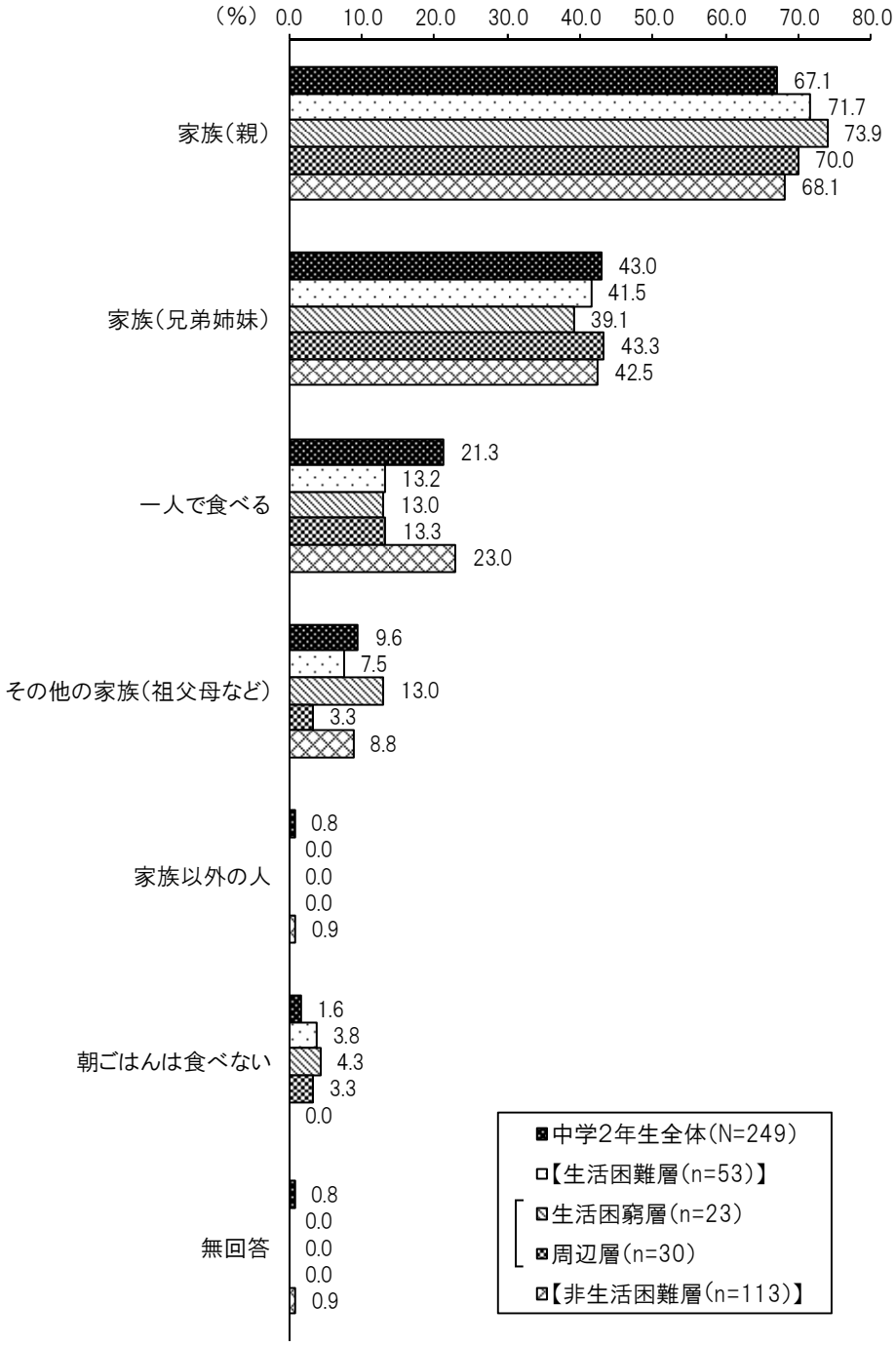
朝食を一緒にとる人について、小学５年生全体では「家族（親）」が 69.4％と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」（63.5％）、「その他の家族（祖父母など）」（16.1％）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（兄弟姉妹）」の割合がやや低く、「一人で食べる」の割合が高くなっている。



中学２年生全体では、「家族（親）」が 67.1％と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」（43.0％）、「一人で食べる」（21.3％）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（親）」「その他の家族（祖父母など）」の割合が他の層に比べやや高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「家族（親）」が４名、「家族（兄弟姉妹）」が２名となっており、「一人で食べる」は２名みられた。

問21　平日に一緒に朝食をとる人	回答割合(%)	回答件数
家族(親)	66.7	4
家族(兄弟姉妹)	33.3	2
その他の家族(祖父母など)	16.7	1
家族以外の人	0.0	0
一人で食べる	33.3	2
朝ごはんは食べない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」が各４名、「その他の家族（祖父母など）」「一人で食べる」が各２名となっている。

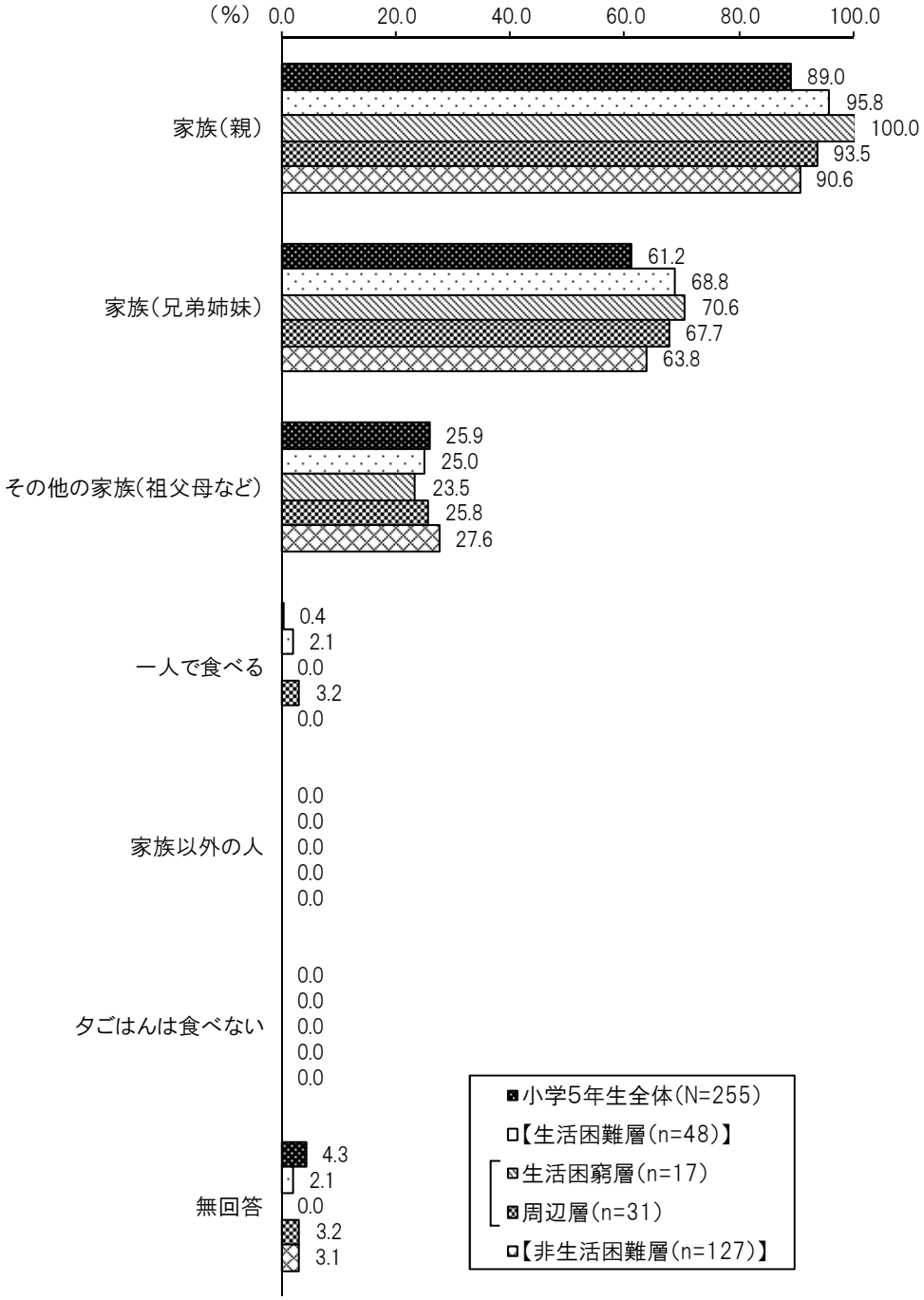
問21　平日に一緒に朝食をとる人	回答割合(%)	回答件数
家族(親)	40.0	4
家族(兄弟姉妹)	40.0	4
その他の家族(祖父母など)	20.0	2
家族以外の人	0.0	0
一人で食べる	20.0	2
朝ごはんは食べない	10.0	1
全体	100.0	10

（２）夕食を一緒にとる人

子／問 23　あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

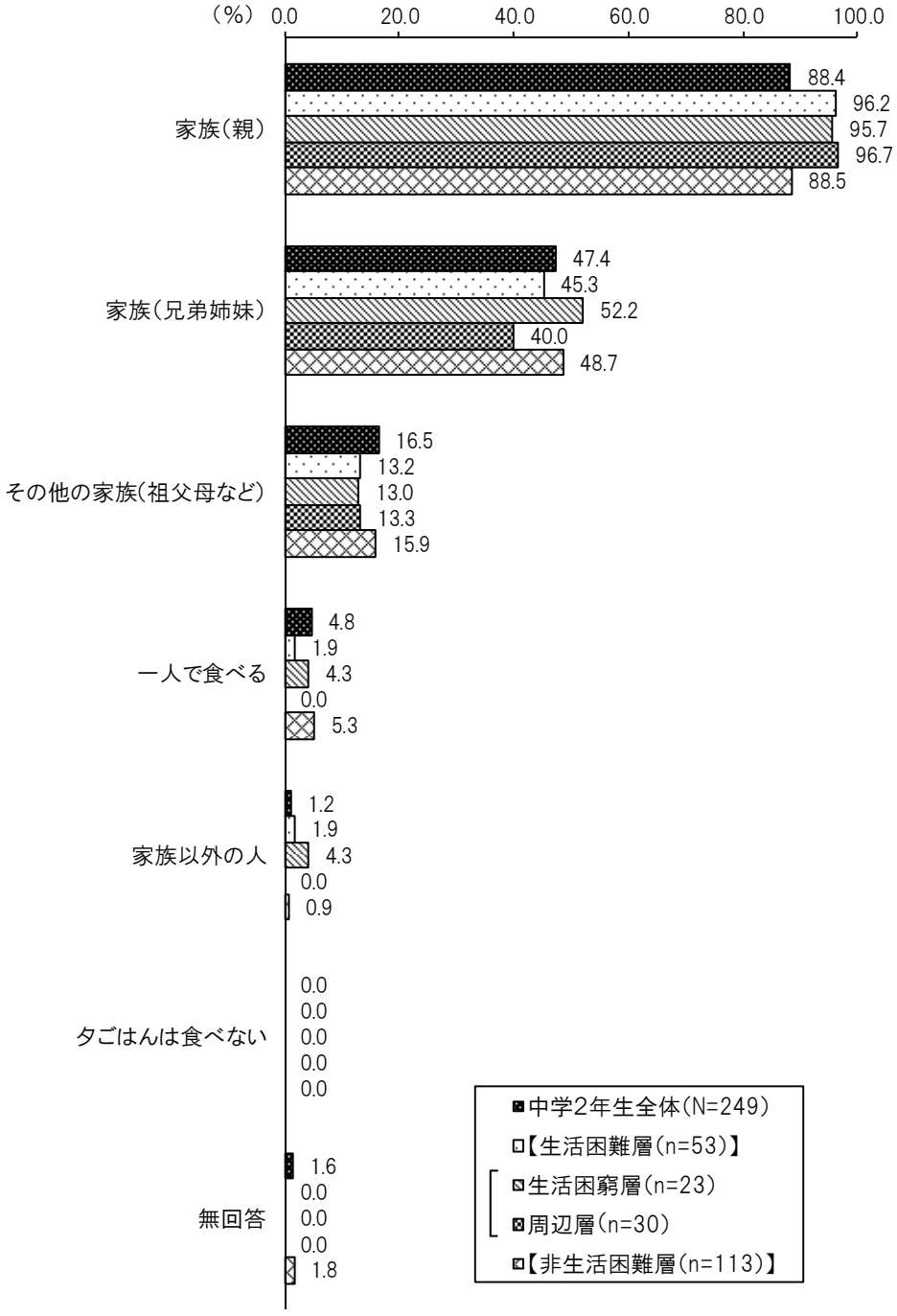
夕食を一緒にとる人について、小学５年生全体では「家族（親）」が 89.0％と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」（61.2％）、「その他の家族（祖父母など）」（25.9％）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



中学２年生全体では、「家族（親）」が 88.4％と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」（47.4％）、「その他の家族（祖父母など）」（16.5％）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（兄弟姉妹）」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「家族（親）」が５名、「家族（兄弟姉妹）」が２名となっており、「一人で食べる」は１名みられた。

問22　平日に一緒に夕食をとる人	回答割合（%）	回答件数
家族（親）	83.3	5
家族（兄弟姉妹）	33.3	2
その他の家族（祖父母など）	16.7	1
家族以外の人	0.0	0
一人で食べる	16.7	1
夕ごはんは食べない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「家族（親）」が 10 名（全員）、「家族（兄弟姉妹）」が５名、「その他の家族（祖父母など）」が４名となっている。

問22　平日に一緒に夕食をとる人	回答割合（%）	回答件数
家族（親）	100.0	10
家族（兄弟姉妹）	50.0	5
その他の家族（祖父母など）	40.0	4
家族以外の人	0.0	0
一人で食べる	0.0	0
夕ごはんは食べない	0.0	0
全体	100.0	10

【３】平日の放課後の過ごし方

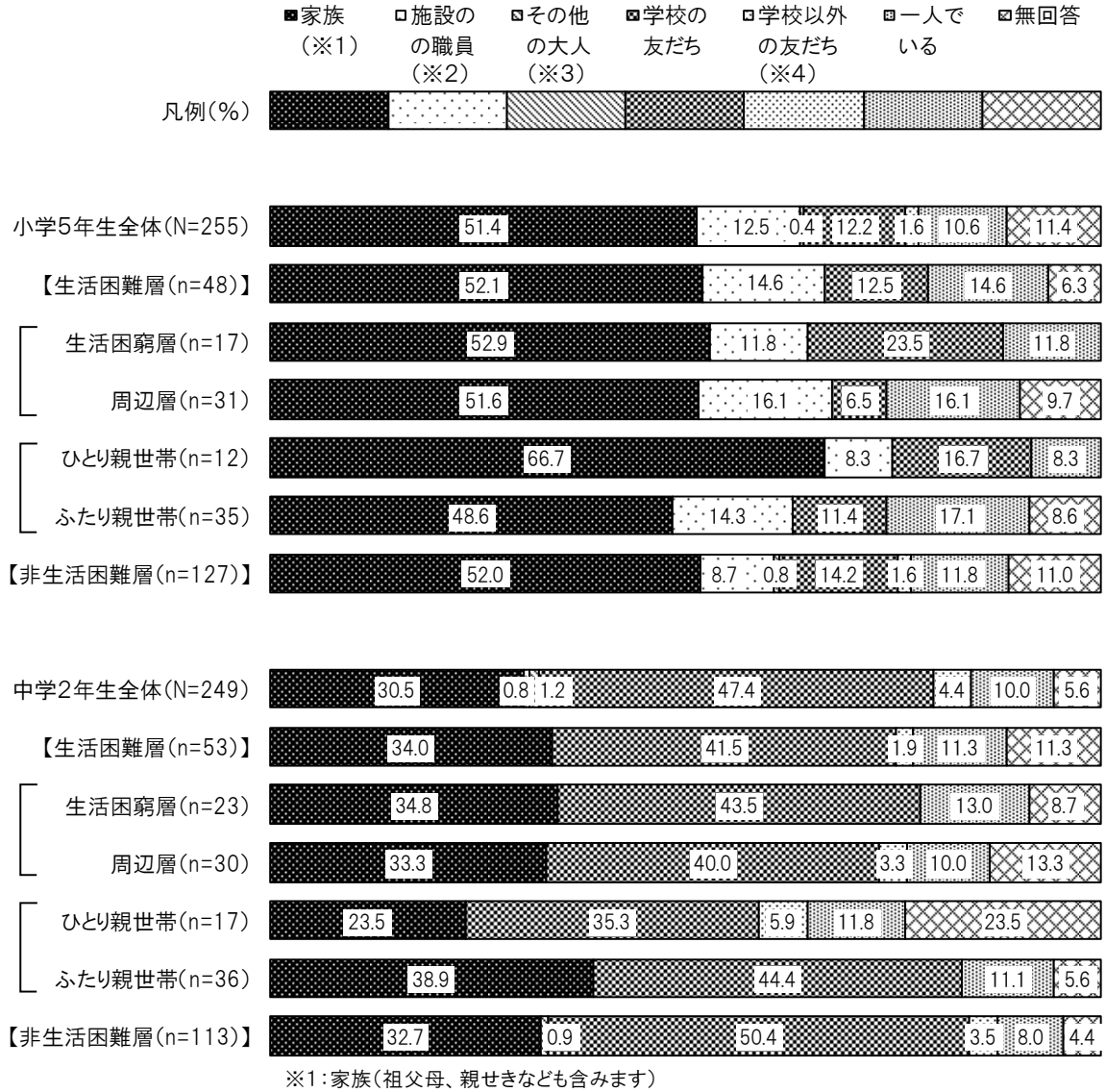
（１）放課後を一緒に過ごす人

子／問９　あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。
（あてはまる番号１つに○）

放課後を一緒に過ごす人については、「家族」が小学５年生全体で 51.4%、中学２年生全体で 30.5%となっており、「学校の友だち」が小学５年生全体で 12.2%、中学２年生全体で 47.4%となっている。

生活困難度別にみると、小学５年生の生活困窮層で「学校の友だち」の割合が周辺層に比べて高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「家族」「学校の友だち」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



※1：家族（祖父母、親せきなども含みます）
※2：小学生票では「放課後児童クラブ、放課後子供教室、その他の施設の先生」
　　中学生票では「自治振興センターやその他の施設（放課後等デイサービス含む）の職員」
※3：その他の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
※4：学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「一人でいる」が３名、「家族（祖父母、親せきなども含みます)」が２名、「放課後児童クラブ、放課後子供教室、その他の施設の先生」が１名となっている。

問8　平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人	回答割合(%)	回答件数
家族(祖父母、親せきなども含みます)	33.3	2
放課後児童クラブ、放課後子供教室、その他の施設の先生	16.7	1
その他の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)	0.0	0
学校の友だち	0.0	0
学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)	0.0	0
一人でいる	50.0	3
全体	100.0	6

（中学生）

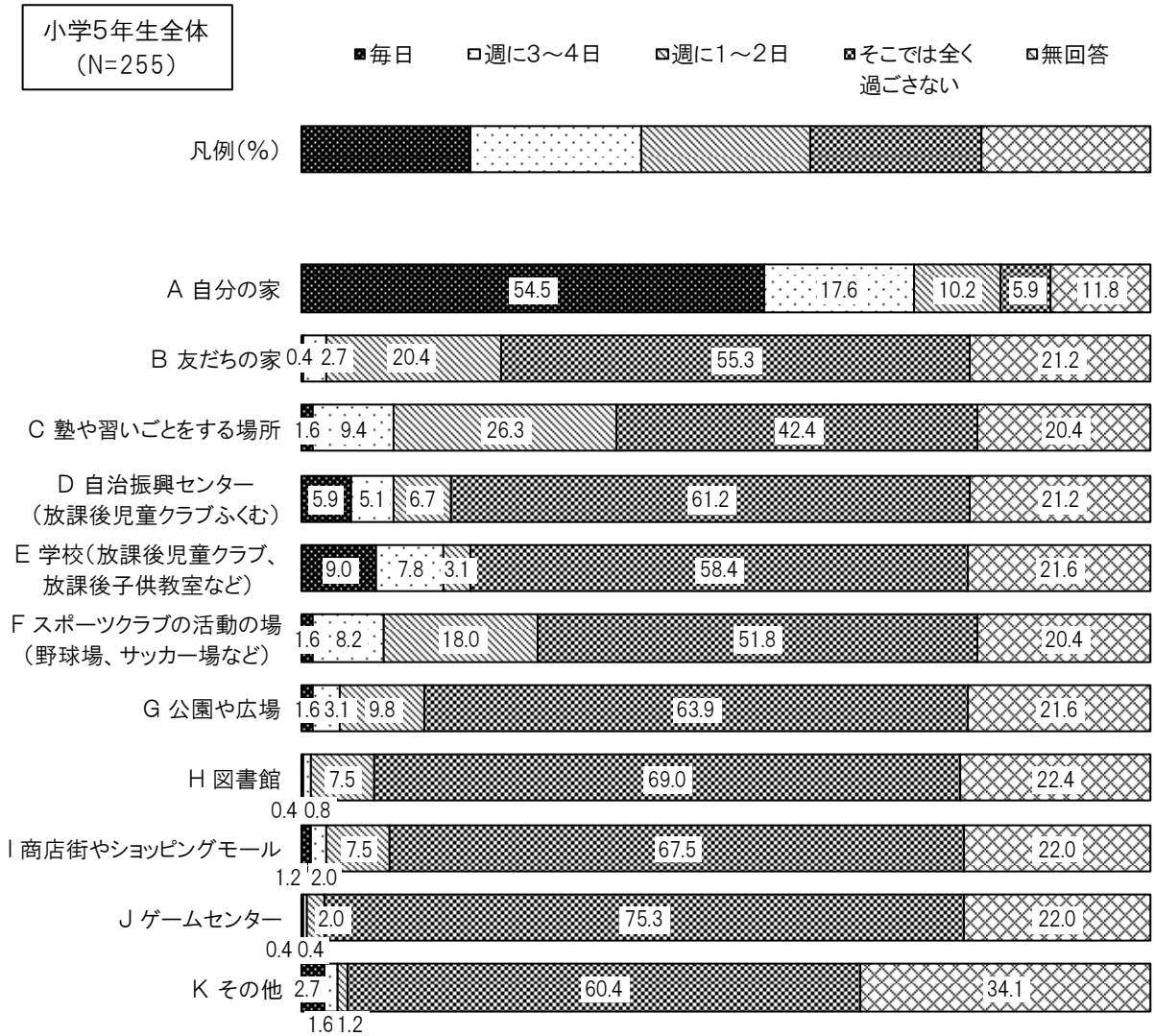
児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「家族（祖父母、親せきなども含みます)」が５名、「学校の友だち」が４名、「一人でいる」が１名となっている。

問8　平日の放課後に一緒に過ごすことが一番多い人	回答割合(%)	回答件数
家族(祖父母、親せきなども含みます)	50.0	5
学校の友だち	40.0	4
自治振興センターやその他の施設(放課後等デイサービス含む)の職員	0.0	0
その他の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)	0.0	0
学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)	0.0	0
一人でいる	10.0	1
全体	100.0	10

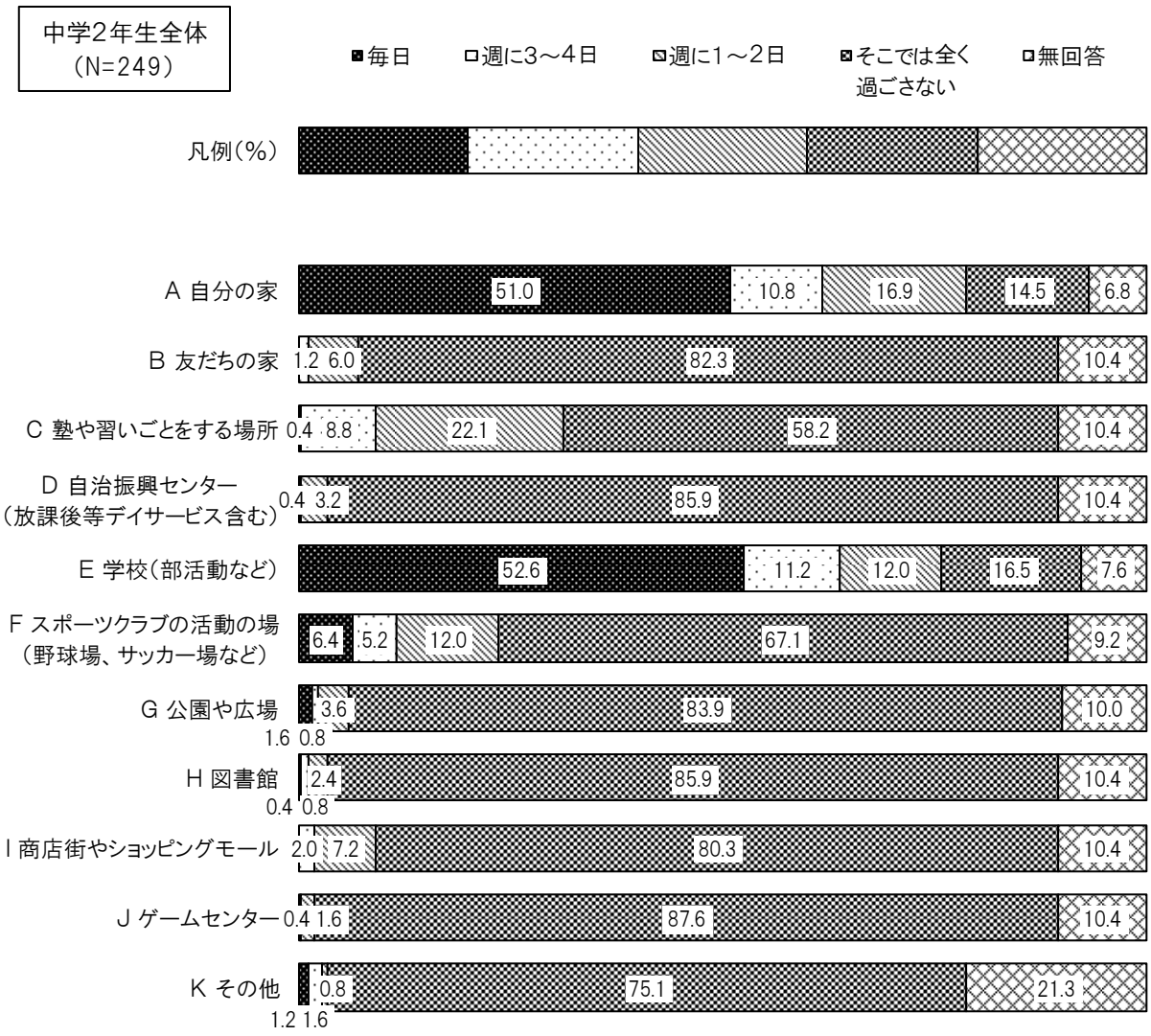
（２）平日の放課後を過ごす場所

子／問 10　あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方６時くらいまで）どこで過ごしますか。１週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

平日の放課後を過ごす場所について、小学５年生全体では「毎日」「週に３～４日」を合計した割合が高い順に「A 自分の家」(72.1%)、「E 学校（放課後児童クラブ、放課後子供教室など)」(16.8%) となっている。また、「そこでは全く過ごさない」では「J ゲームセンター」(75.3%)、「H 図書館」(69.0%)、「I 商店街やショッピングモール」(67.5%) などがあげられる。



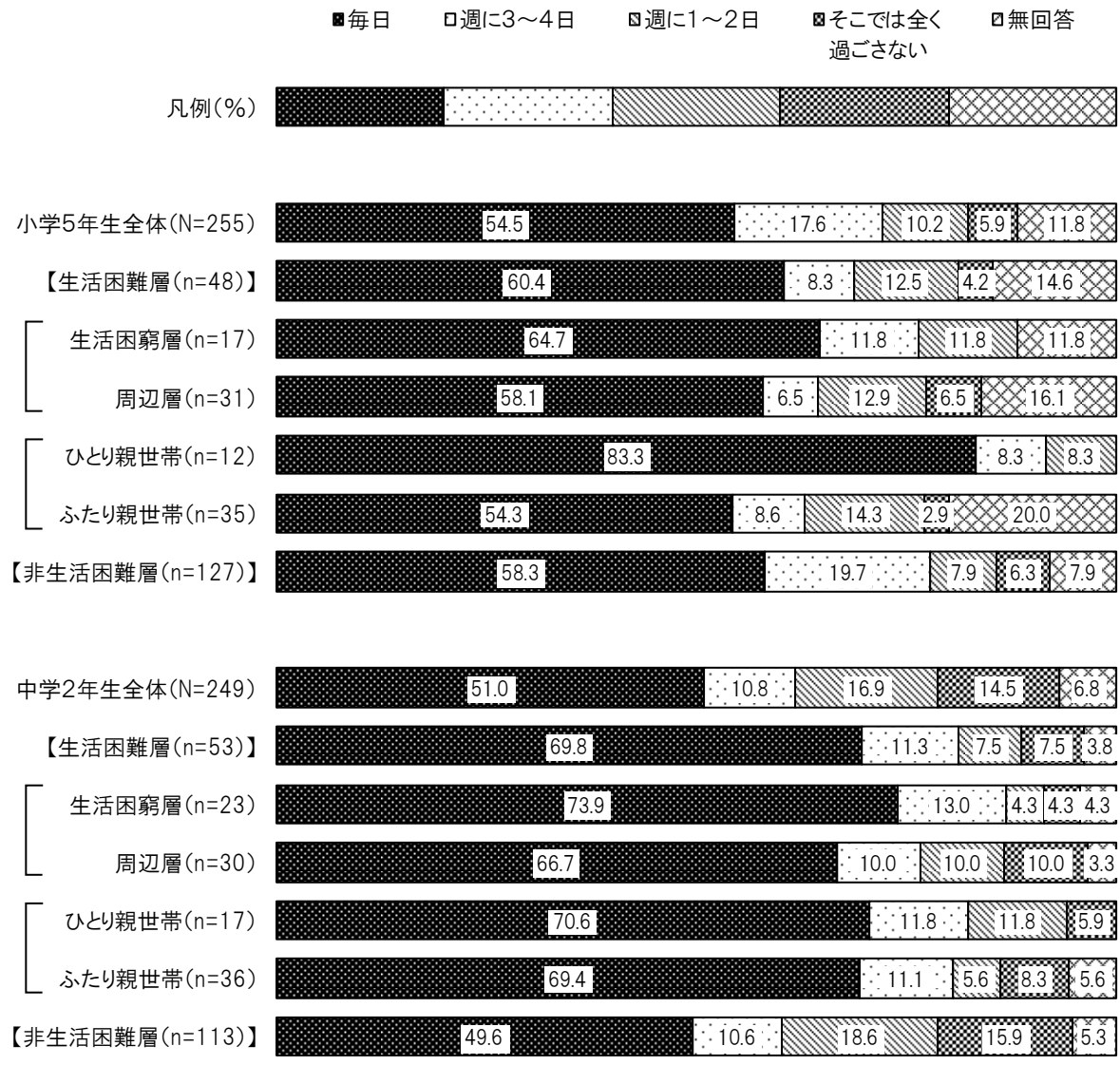
中学２年生全体では、「毎日」「週に３～４日」を合計した割合が高い順に「E 学校（部活動など）」（63.8%）、「A 自分の家」（61.8%）、「F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」（11.6%）となっている。また、「そこでは全く過ごさない」では「J ゲームセンター」（87.6%）、「D 自治振興センター（放課後等デイサービス含む）」「H 図書館」（各 85.9%）などがあげられる。



A　自分の家

自分の家について「毎日」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 64.7%、周辺層で 58.1%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 73.9%、周辺層で 66.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

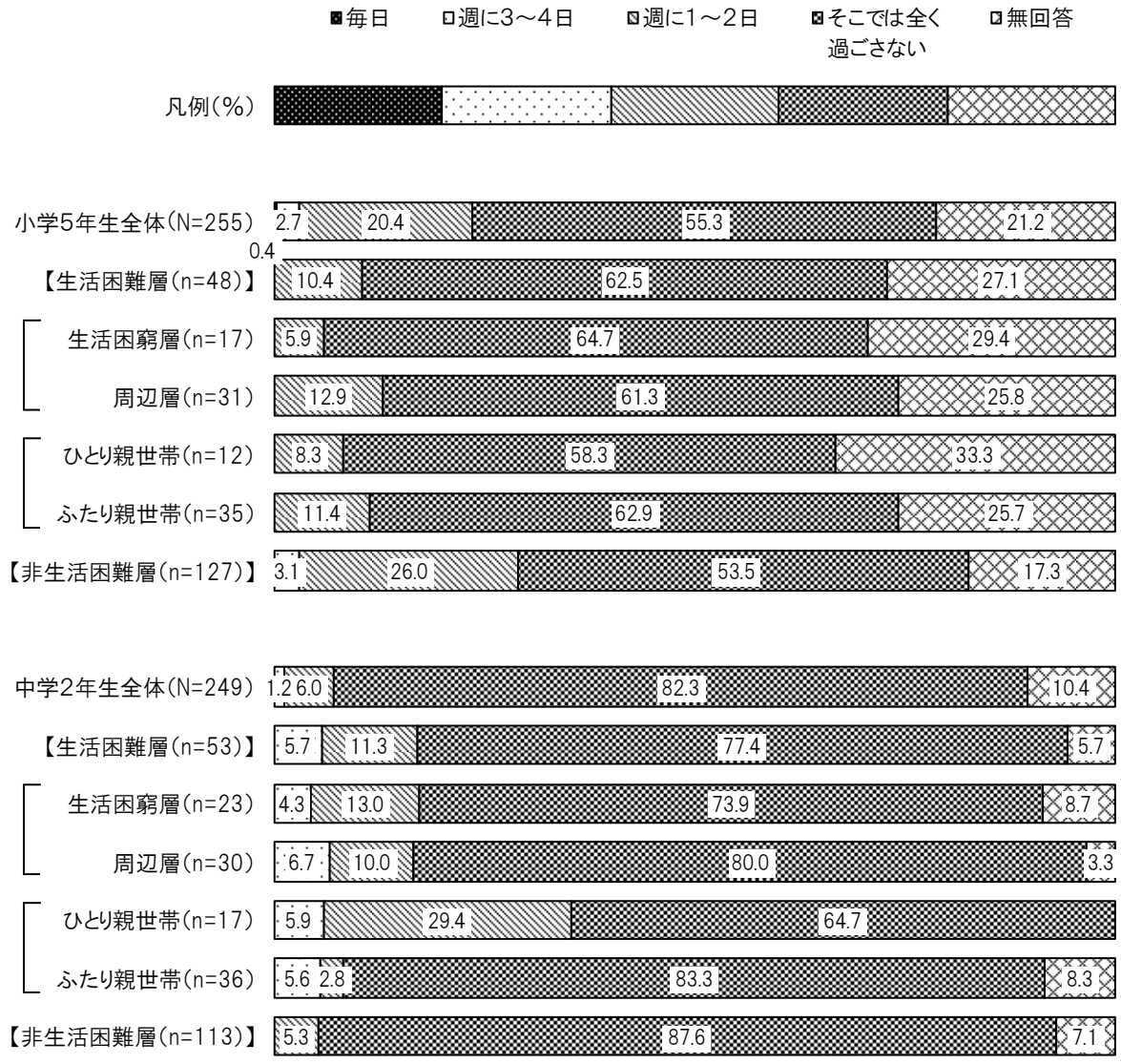
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「毎日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　友だちの家

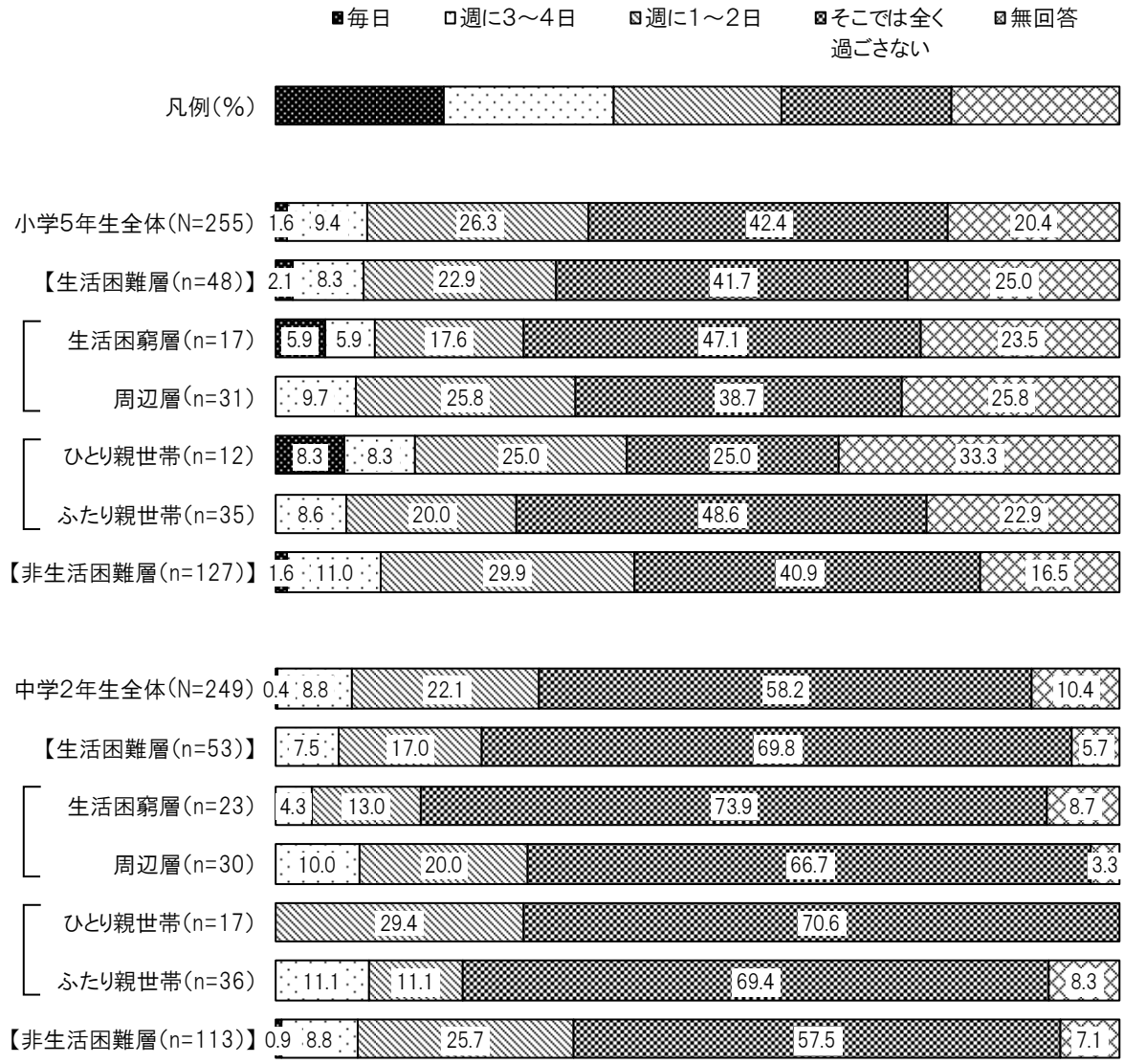
友だちの家について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 64.7%、周辺層で 61.3%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 73.9%、周辺層で 80.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「週に１～２日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



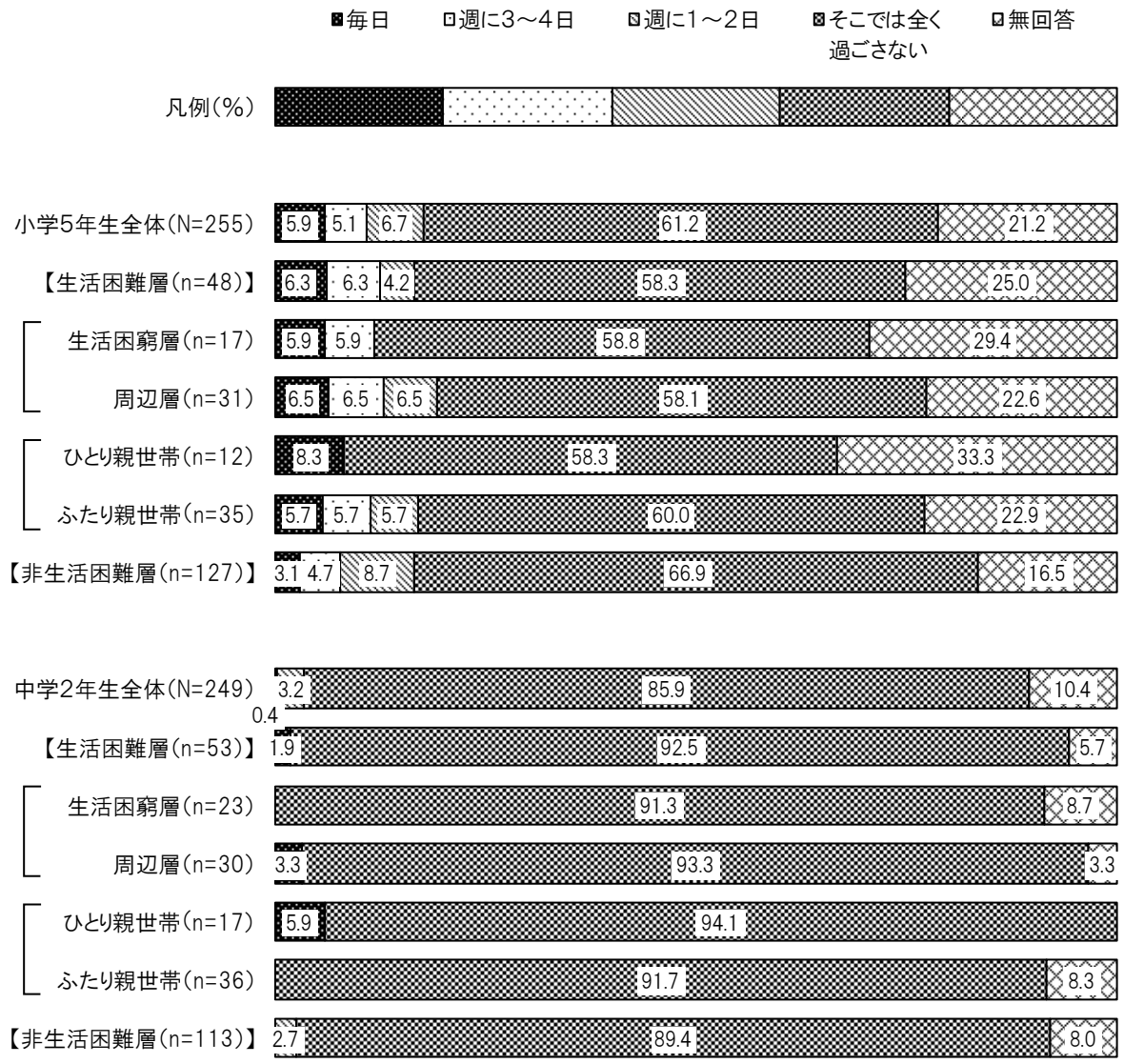
C　塾や習いごとをする場所

塾や習いごとをする場所について「週に１～２日」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 17.6%、周辺層で 25.8%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 13.0%、周辺層で 20.0%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



D　自治振興センター※（放課後等デイサービス含む）

自治振興センターについて「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 58.8%、周辺層で 58.1%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 91.3%、周辺層で 93.3%となっている。

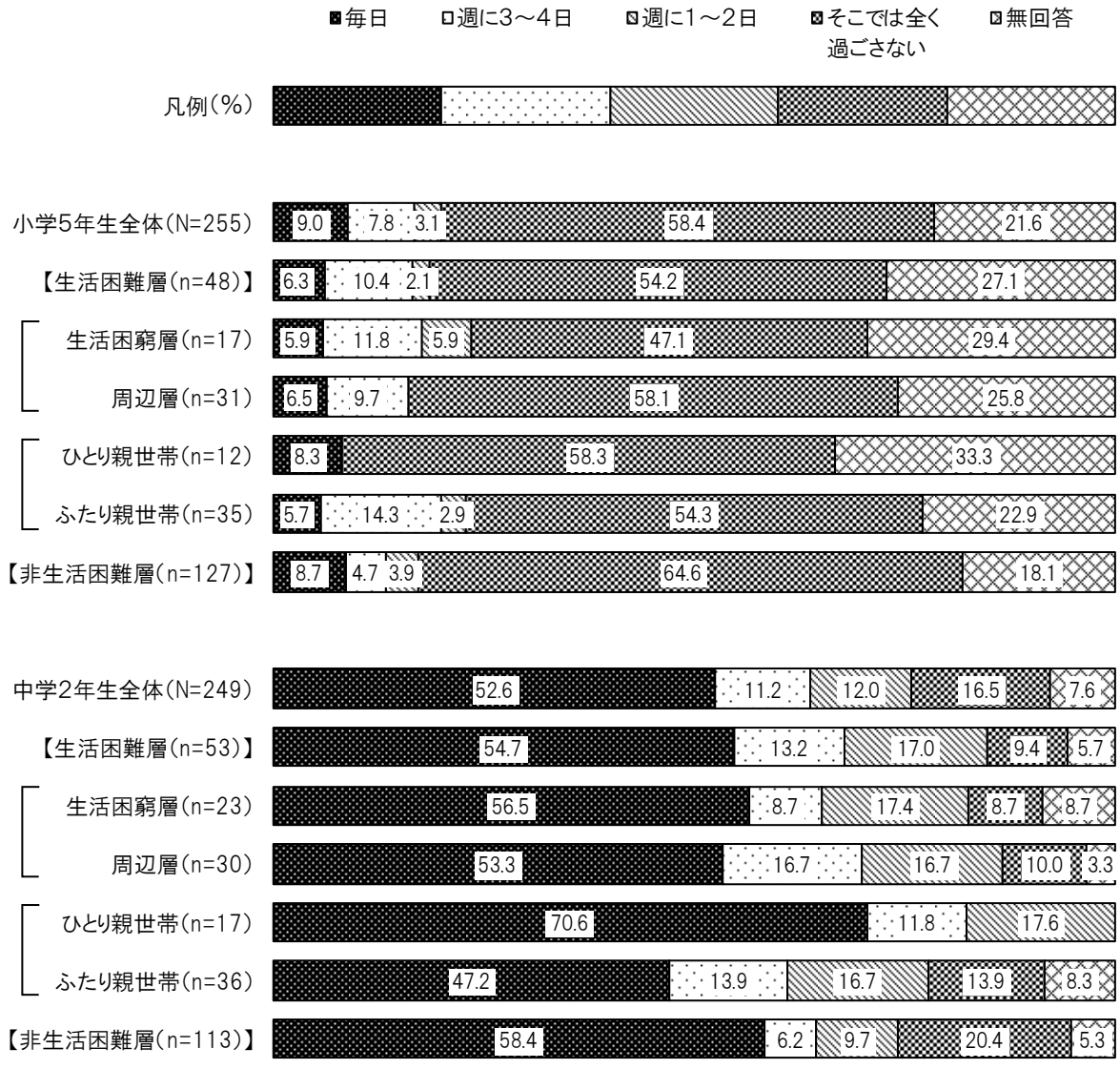


※小学生票では「自治振興センター（放課後児童クラブふくむ）」

E　学校※（部活動など）

学校について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 47.1%、周辺層で 58.1%となっている。また、「毎日」の割合は、中学２年生の生活困窮層で 56.5%、周辺層で 53.3%となっている。

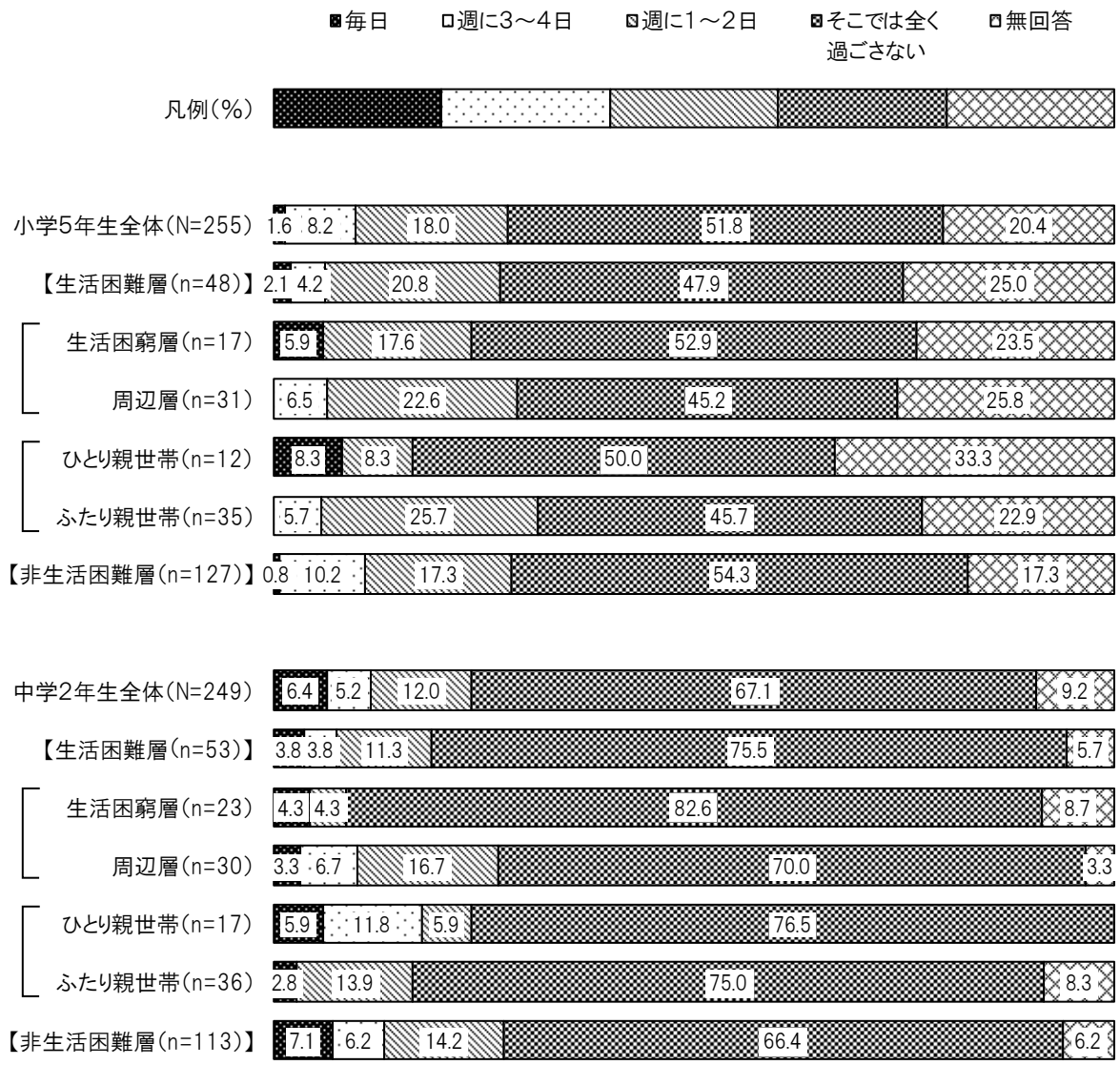
生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「毎日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



※小学生票では「学校（放課後児童クラブ、放課後子供教室など）」

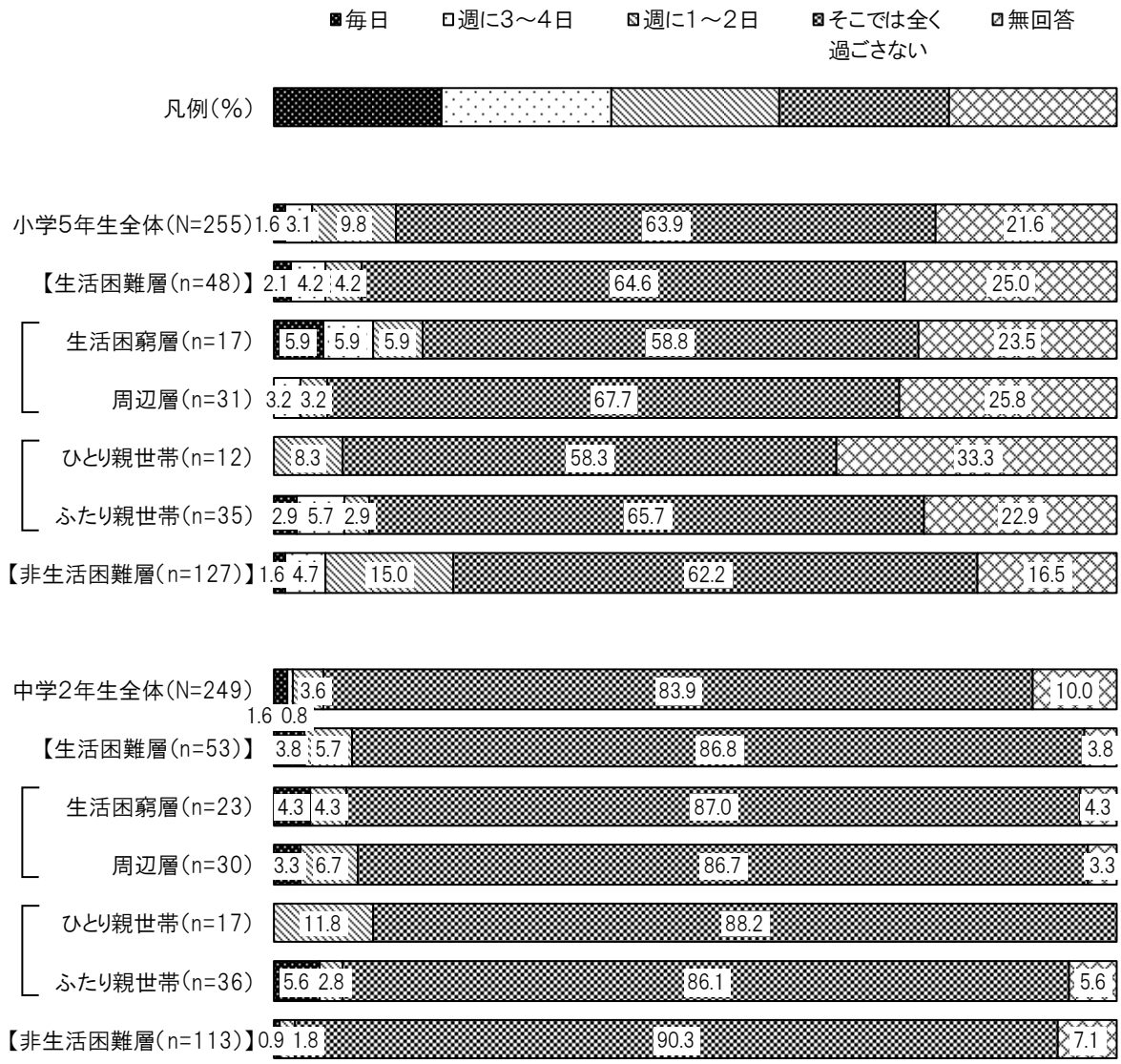
F　スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）

スポーツクラブの活動の場について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で52.9%、周辺層で45.2%となっている。中学２年生では、生活困窮層で82.6%、周辺層で70.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



G　公園や広場

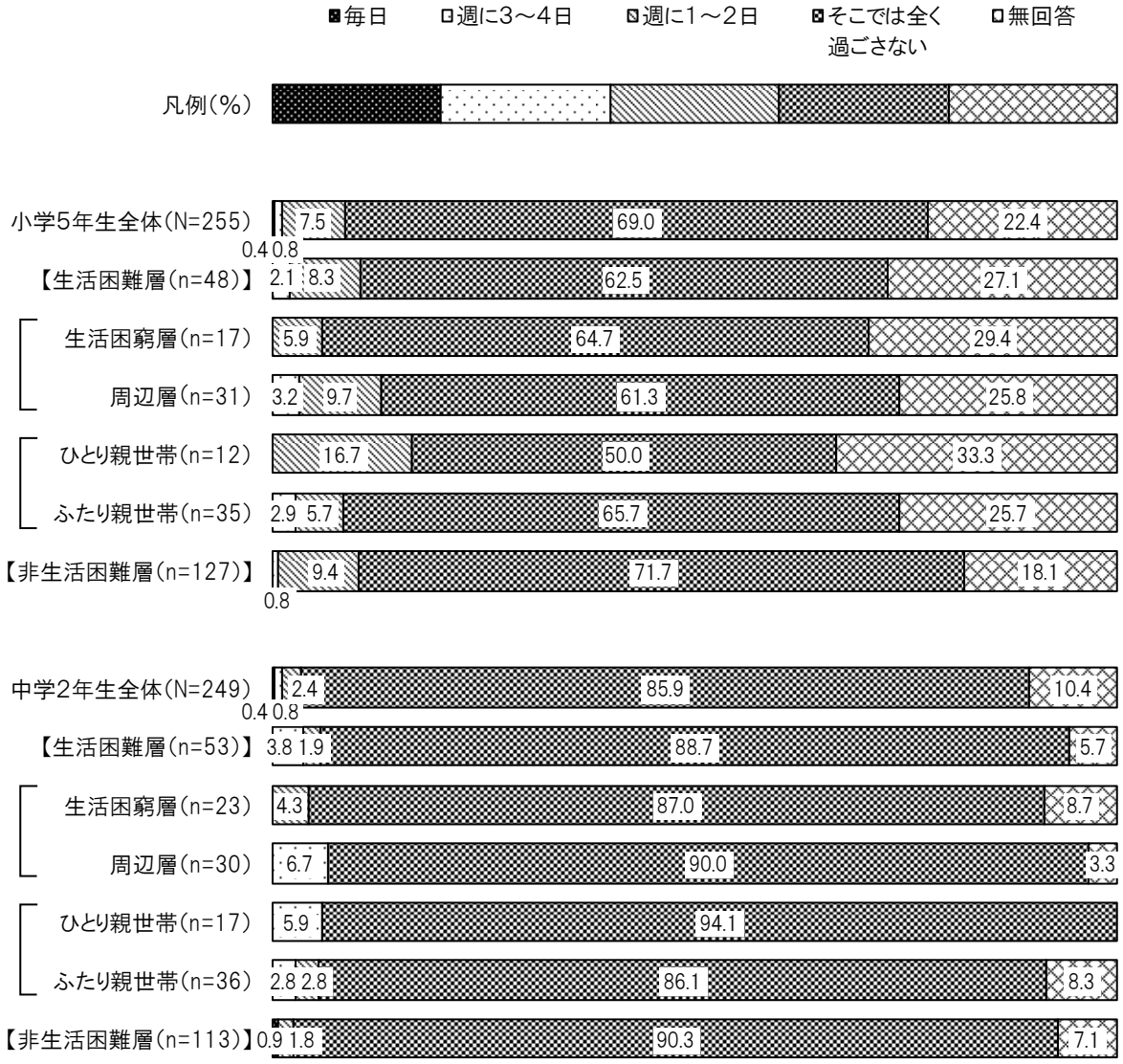
公園や広場について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で58.8%、周辺層で 67.7%となっており、 生活困窮層で低くなっている。中学２年生では、生活困窮層で 87.0%、周辺層で 86.7%となっている。



H　図書館

図書館について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 64.7%、周辺層で 61.3%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 87.0%、周辺層で 90.0%となっている。

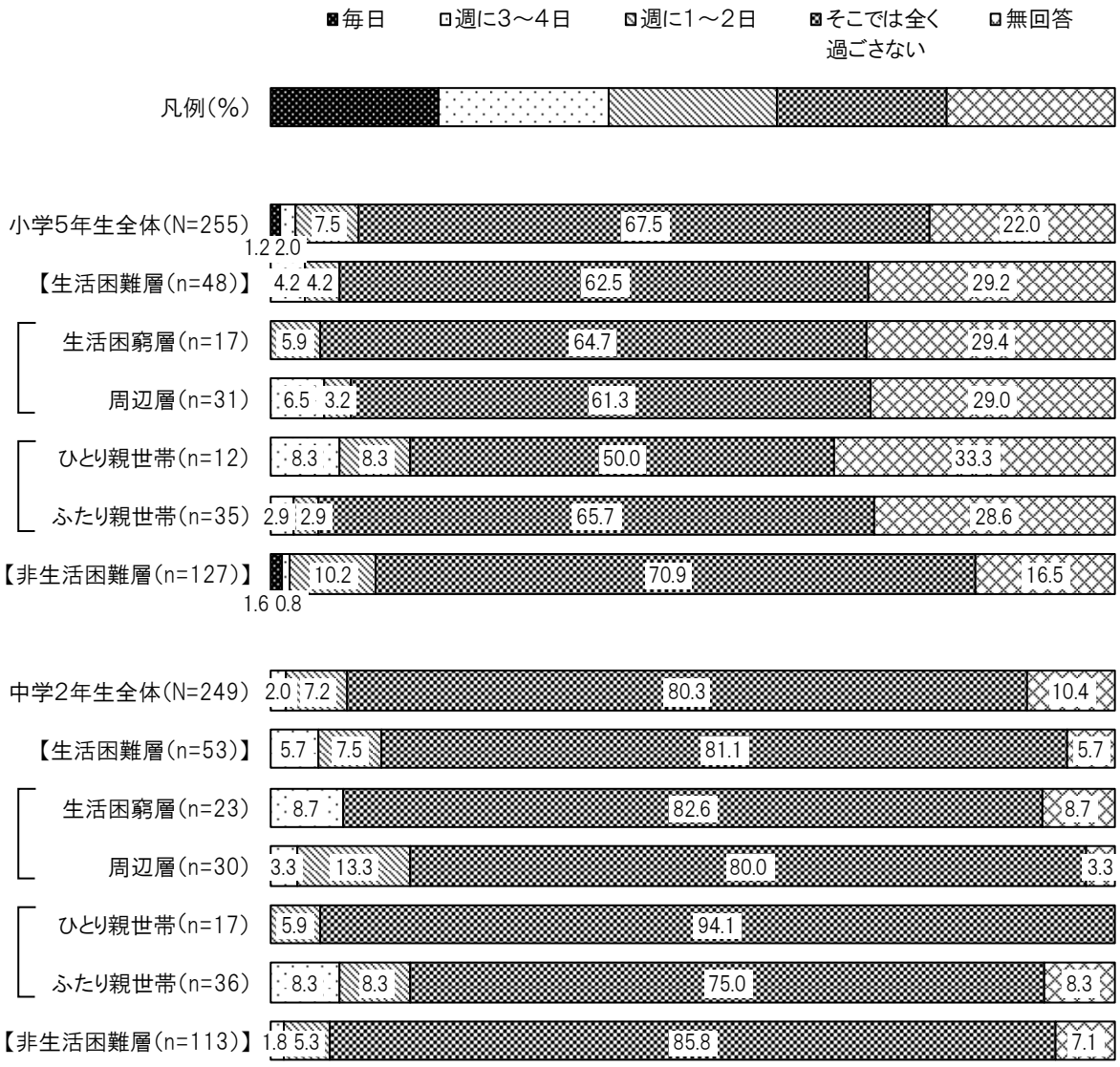
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「週に１～２日」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



l　商店街やショッピングモール

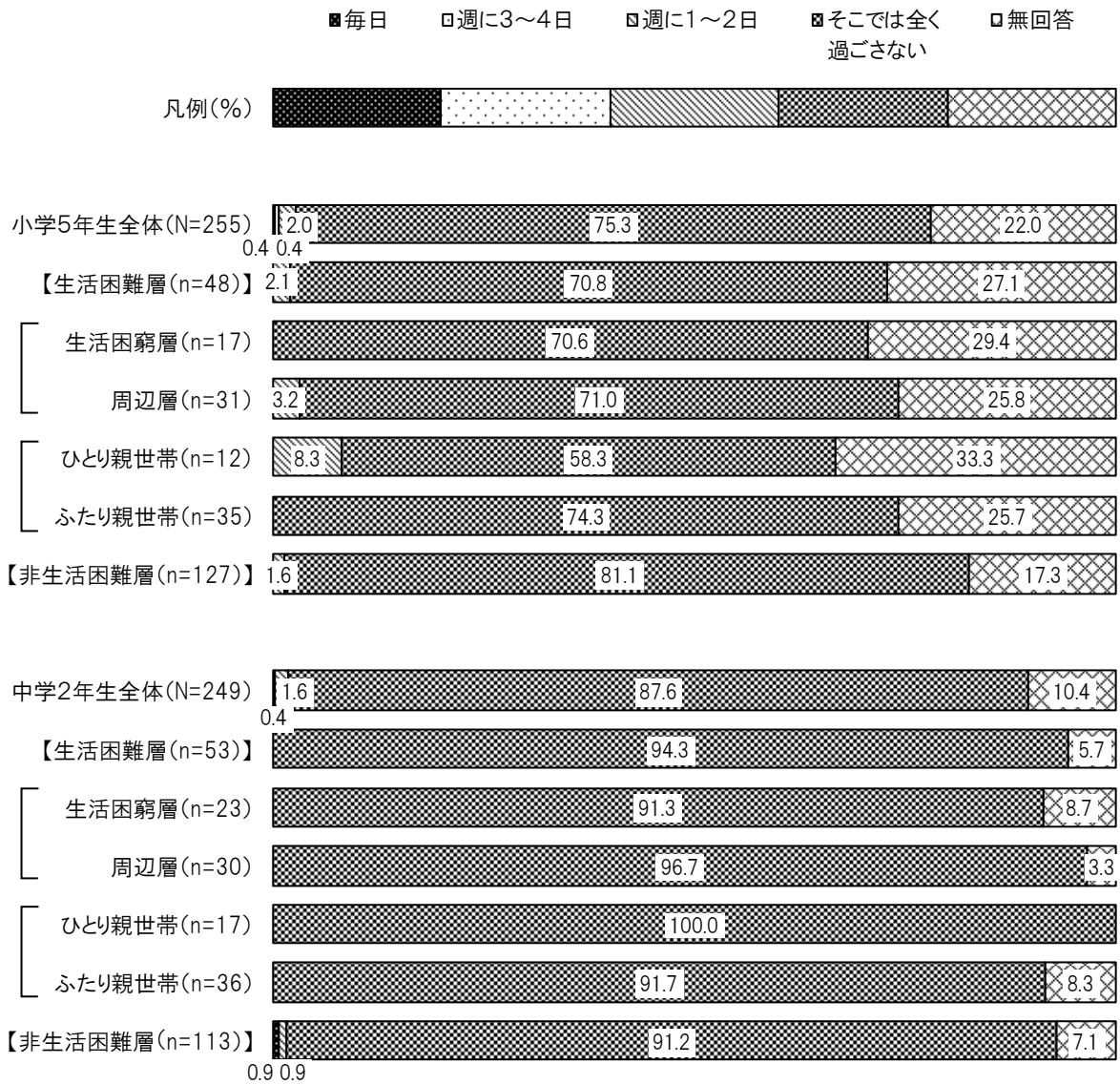
商店街やショッピングモールについて「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で64.7%、周辺層で61.3%となっている。中学２年生では、生活困窮層で82.6%、周辺層で80.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「そこでは全く過ごさない」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



J　ゲームセンター

ゲームセンターについて「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 70.6%、周辺層で 71.0%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 91.3%、周辺層で 96.7%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「毎日」は、「A 自分の家」が５名、「E 学校」が２名となっている。

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／A 自分の家	回答割合(%)	回答件数
毎日	83.3	5
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	16.7	1
無回答	0.0	0
全体	100.0	6

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／B 友だちの家	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	33.3	2
そこでは全く過ごさない	50.0	3
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／C 塾や習いごとをする場所	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	83.3	5
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／D 自治振興センター	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	66.7	4
無回答	33.3	2
全体	100.0	6

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／E 学校	回答割合(%)	回答件数
毎日	33.3	2
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	50.0	3
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／F　スポーツクラブの活動の場	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	83.3	5
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／G　公園や広場	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	16.7	1
そこでは全く過ごさない	66.7	4
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／H　図書館	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	16.7	1
そこでは全く過ごさない	66.7	4
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／I　商店街やショッピングモール	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	16.7	1
そこでは全く過ごさない	66.7	4
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／J　ゲームセンター	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	83.3	5
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／K　その他	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	83.3	5
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

【児童扶養手当受給者調査の結果】
（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「毎日」は、「A 自分の家」が７名、「E 学校」が６名となっている。

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／A 自分の家	回答割合（%）	回答件数
毎日	70.0	7
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	10.0	1
そこでは全く過ごさない	20.0	2
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／B 友だちの家	回答割合（%）	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	10.0	1
そこでは全く過ごさない	60.0	6
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／C 塾や習いごとをする場所	回答割合（%）	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	30.0	3
そこでは全く過ごさない	40.0	4
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／D 自治振興センター	回答割合（%）	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	70.0	7
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9 平日の放課後に過ごす場所の頻度／E 学校	回答割合（%）	回答件数
毎日	60.0	6
週に3～4日	20.0	2
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	0.0	0
無回答	20.0	2
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／F　スポーツクラブの活動の場	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	10.0	1
そこでは全く過ごさない	60.0	6
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／G　公園や広場	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	70.0	7
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／H　図書館	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	20.0	2
そこでは全く過ごさない	50.0	5
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／I　商店街やショッピングモール	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	70.0	7
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／J　ゲームセンター	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	70.0	7
無回答	30.0	3
全体	100.0	10

問9　平日の放課後に過ごす場所の頻度／K　その他	回答割合(%)	回答件数
毎日	0.0	0
週に3～4日	0.0	0
週に1～2日	0.0	0
そこでは全く過ごさない	40.0	4
無回答	60.0	6
全体	100.0	10

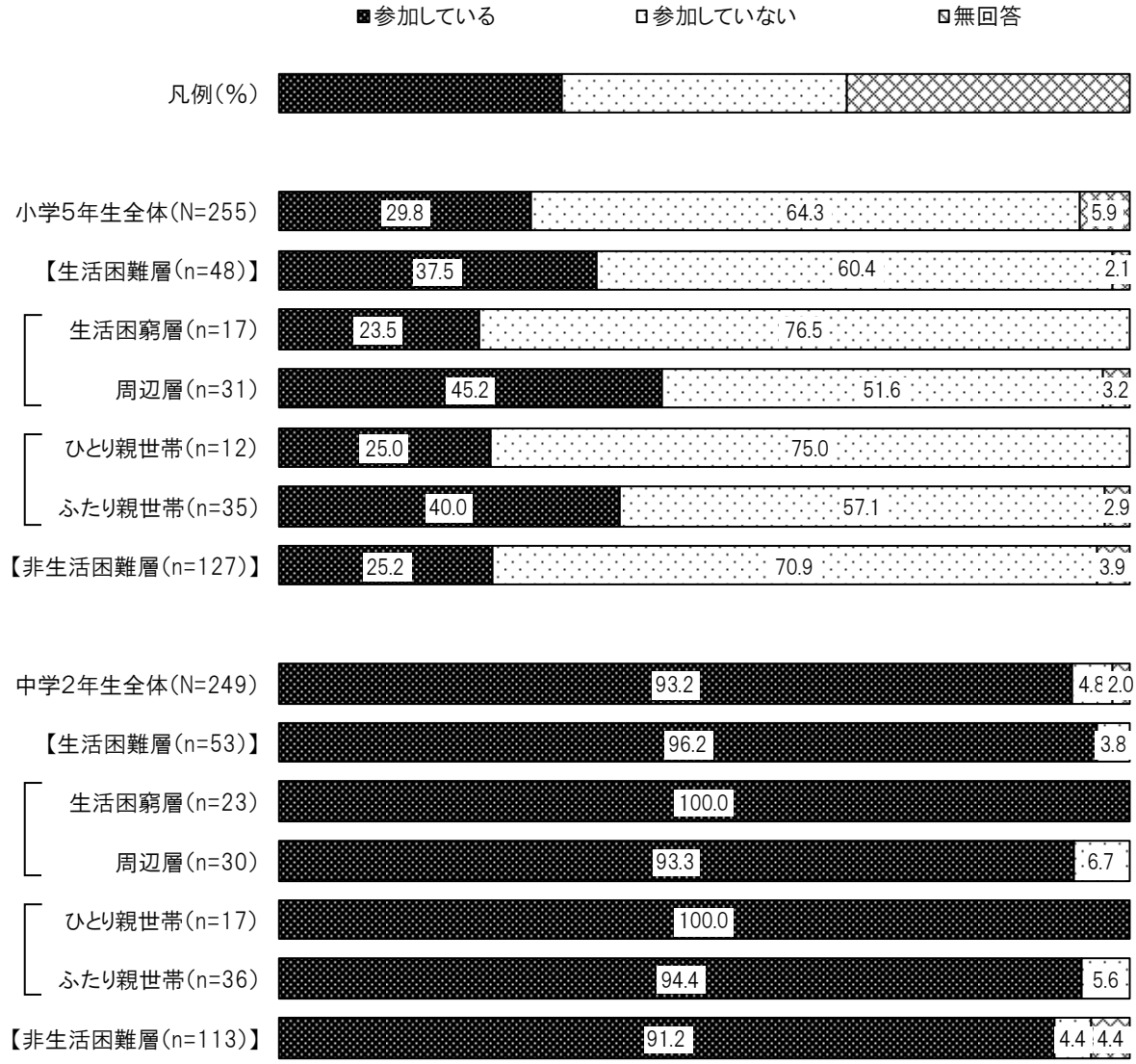
（３）放課後児童クラブ・部活動への参加状況

子／問 11　あなたは、学校の部活動に参加していますか。（あてはまる番号１つに○）

放課後児童クラブへの参加状況について、小学５年生全体では「参加している」の割合が29.8%、部活動への参加状況について、中学２年生全体では 93.2%となっている。一方、「参加していない」は、小学５年生全体では 64.3%、中学２年生全体では 4.8%となっている。

生活困難度別にみた「参加している」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 23.5%、中学２年生で 100.0%となっており、小学５年生の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「参加していない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「参加していない」が５名、「参加している」が１名となっている。

問10　放課後児童クラブなどの参加状況	回答割合（%）	回答件数
参加している	16.7	1
参加していない	83.3	5
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「参加している」が７名、「参加していない」が２名となっている。

問10　学校の部活動の参加状況	回答割合（%）	回答件数
参加している	70.0	7
参加していない	20.0	2
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

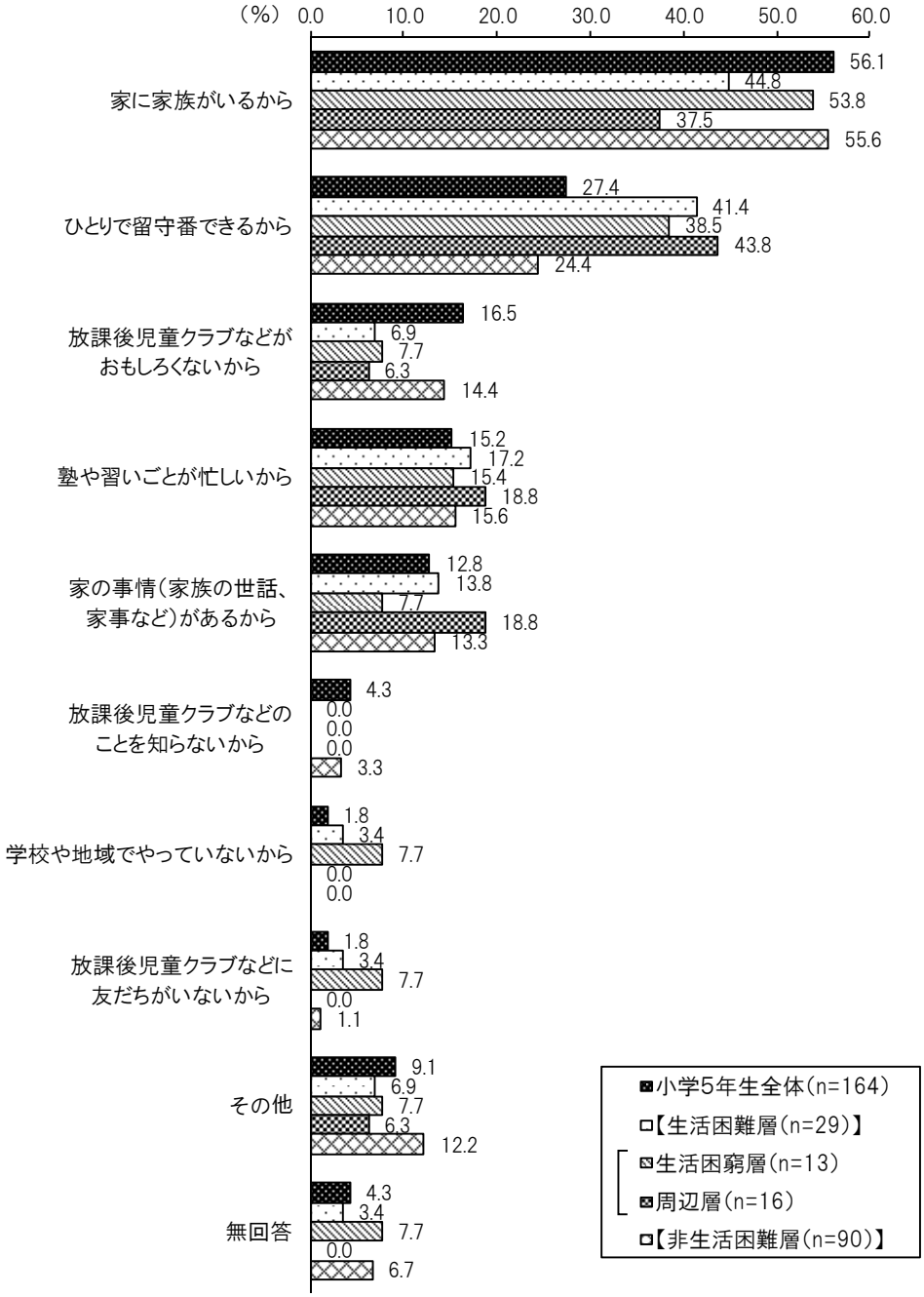
（４）放課後児童クラブ・部活動に参加していない理由

【学校の部活動に「２参加していない」と答えた人におききします。】
子／問 11－１　参加しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

放課後児童クラブに参加していない理由について、小学５年生全体では「家に家族がいるから」が 56.1%と最も高く、次いで「ひとりで留守番できるから」(27.4%)、「放課後児童クラブなどがおもしろくないから」(16.5%) の順となっている。

小学５年生全体を生活困難度別にみると、生活困窮層は「家の事情（家族の世話、家事など）があるから」などの割合が低く、「家に家族がいるから」などの割合が高くなっている。

部活動に参加していない理由について、中学２年生全体では、回答者 12 名中「おもしろくないから」が３名、「入りたい部がないから」が２名、「塾や習いごとが忙しいから」「一緒に入る友だちがいないから」がそれぞれ１名ずつみられた。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者５名中「家に家族がいるから」が４名、「一人で留守番できるから」が２名となっている。

問10－1　放課後児童クラブに参加しない理由	回答割合（%）	回答件数
家に家族がいるから	80.0	4
一人で留守番できるから	40.0	2
学校や地域でやっていないから	0.0	0
家の事情（家族の世話、家事など）があるから	0.0	0
塾や習いごとが忙しいから	0.0	0
放課後児童クラブなどがおもしろくないから	0.0	0
放課後児童クラブなどに友だちがいないから	0.0	0
放課後児童クラブなどのことを知らないから	0.0	0
その他	0.0	0
全体	100.0	5

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者２名（全員）が「その他」と回答している。

【４】休日の過ごし方

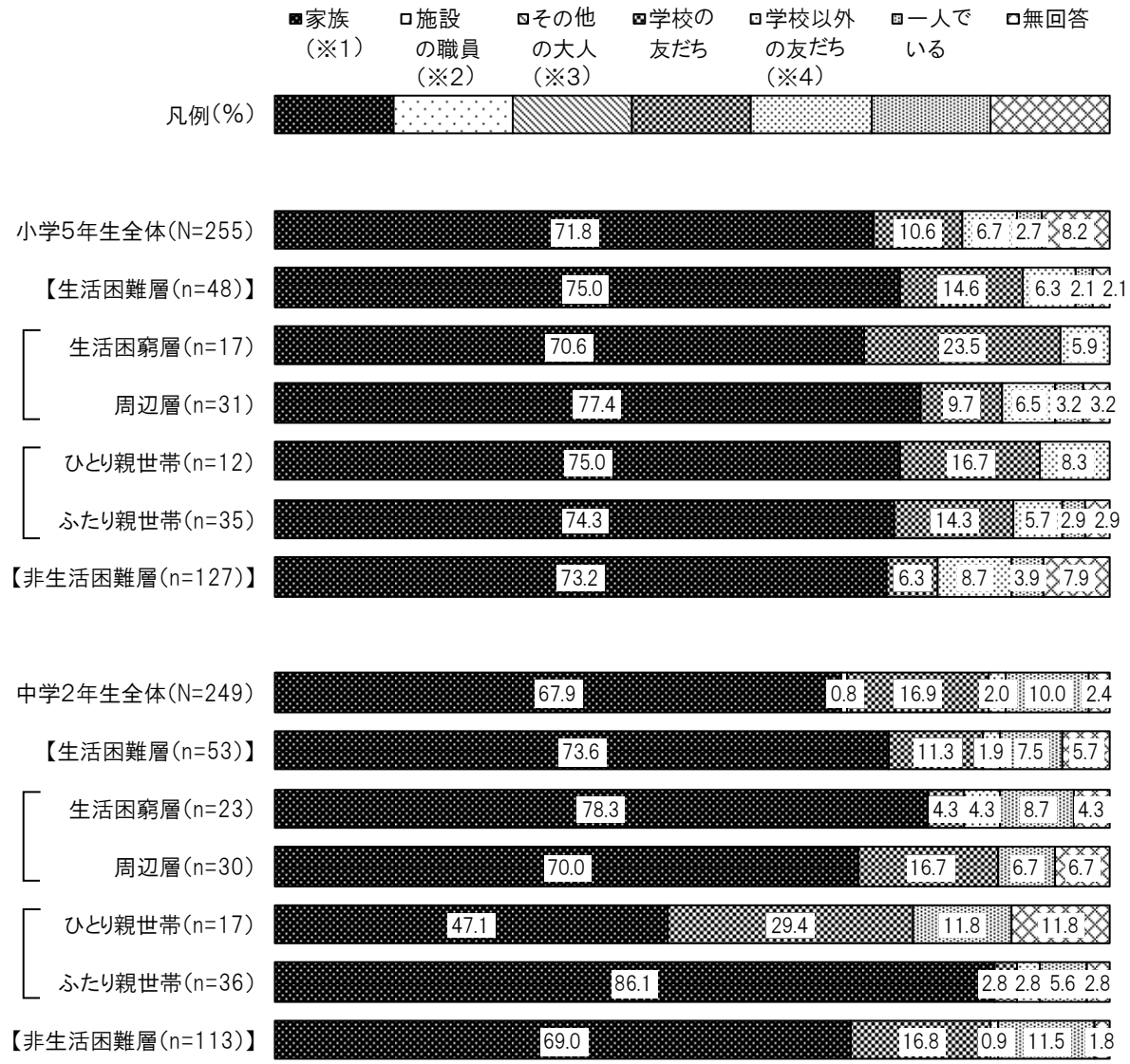
（１）休日の午後を一緒に過ごす人

子／問 12　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（あてはまる番号１つに○）

休日の午後を一緒に過ごす人については、「家族」が小学５年生全体で 71.8%、中学２年生全体で 67.9%となっており、「学校の友だち」が小学５年生全体で 10.6%、中学２年生全体で 16.9%となっている。

生活困難度別にみると、小学５年生の生活困窮層で「学校の友だち」、中学２年生の生活困窮層で「家族」の割合が周辺層に比べてそれぞれ高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「学校の友だち」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



※1：家族（祖父母、親せきなども含む）
※2：小学生票では「放課後児童クラブ、その他の施設の先生」
　　中学生票では「児童館・公民館やその他の施設（放課後等デイサービス含む）の職員」
※3：その他の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
※4：学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど）

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「家族（祖父母、親せきなども含む)」が３名、「学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)」「一人でいる」が各１名となっている。

問11　休日の午後に一緒に過ごす人	回答割合(%)	回答件数
家族(祖父母、親せきなども含む)	50.0	3
学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)	16.7	1
放課後児童クラブ、その他の施設の先生	0.0	0
その他の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)	0.0	0
学校の友だち	0.0	0
一人でいる	16.7	1
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

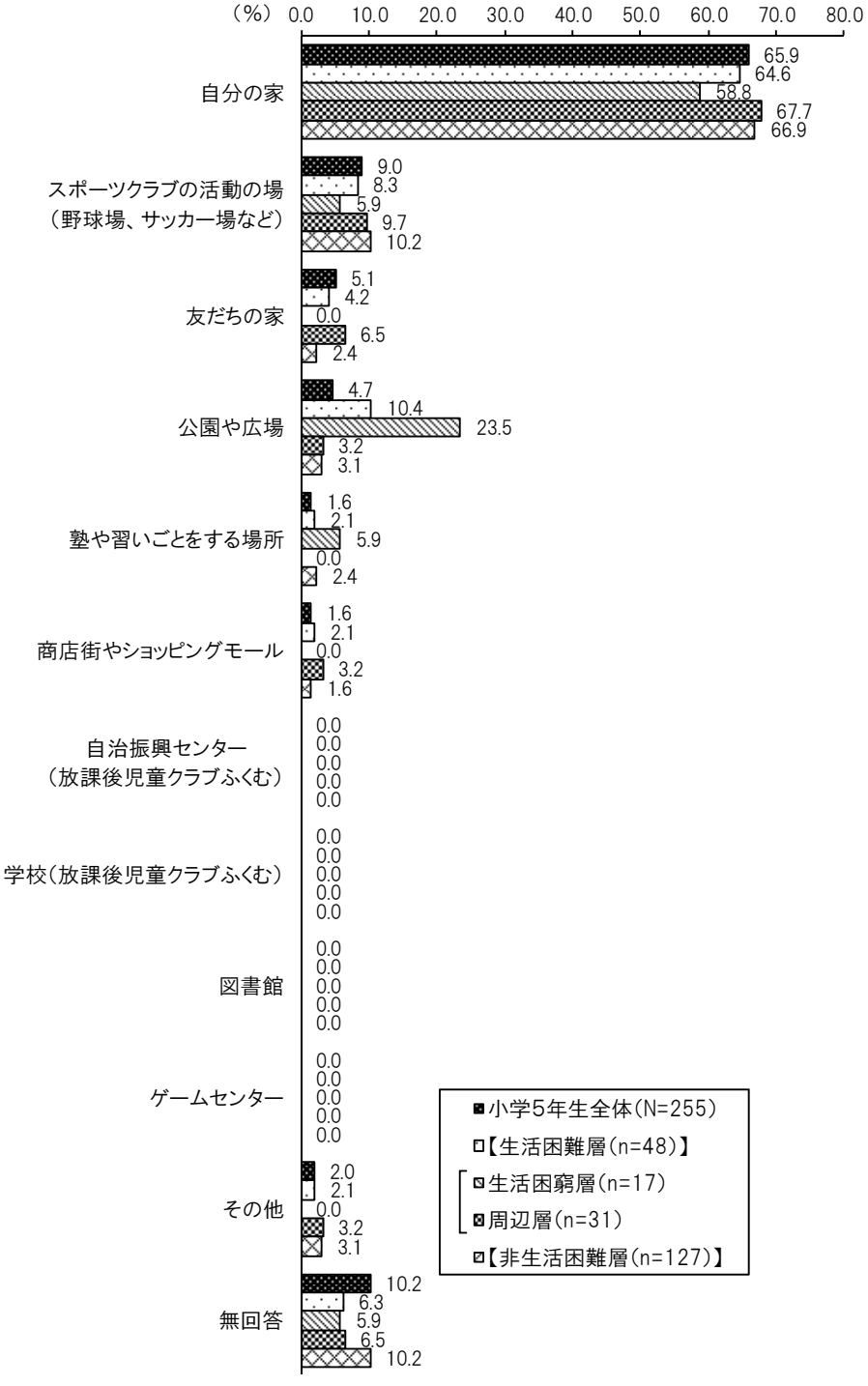
児童扶養手当受給者においては、全員が「家族（祖父母、親せきなども含む)」と回答している。

（２）休日の午後を過ごす場所

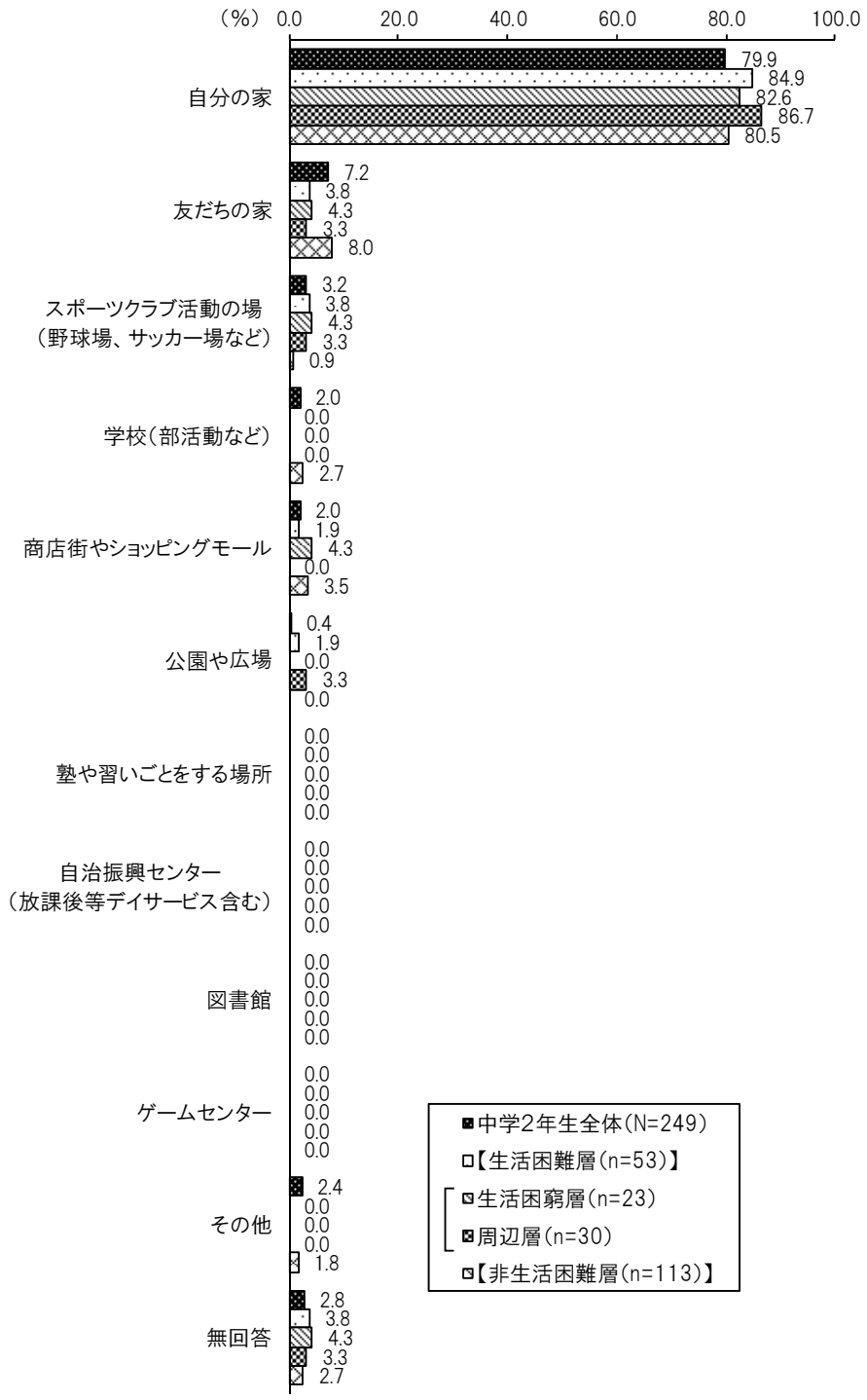
子／問 13　あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後は、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号１つに○）

休日の午後を過ごす場所について、小学５年生全体では「自分の家」が 65.9％と突出して最も高く、次いで「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など)」(9.0％）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「公園や広場」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学２年生全体では、「自分の家」が 79.9%と突出して最も高く、次いで「友だちの家」(7.2%) が続いている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「自分の家」が４名、「友だちの家」「図書館」が各１名となっている。

問12　休日の午後に過ごす場所	回答割合（%）	回答件数
自分の家	66.7	4
友だちの家	16.7	1
図書館	16.7	1
塾や習いごとをする場所	0.0	0
自治振興センター（放課後児童クラブふくむ）	0.0	0
学校（放課後児童クラブふくむ）	0.0	0
スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）	0.0	0
公園や広場	0.0	0
商店街やショッピングモール	0.0	0
ゲームセンター	0.0	0
その他	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「自分の家」が８名、「商店街やショッピングモール」が１名となっている。

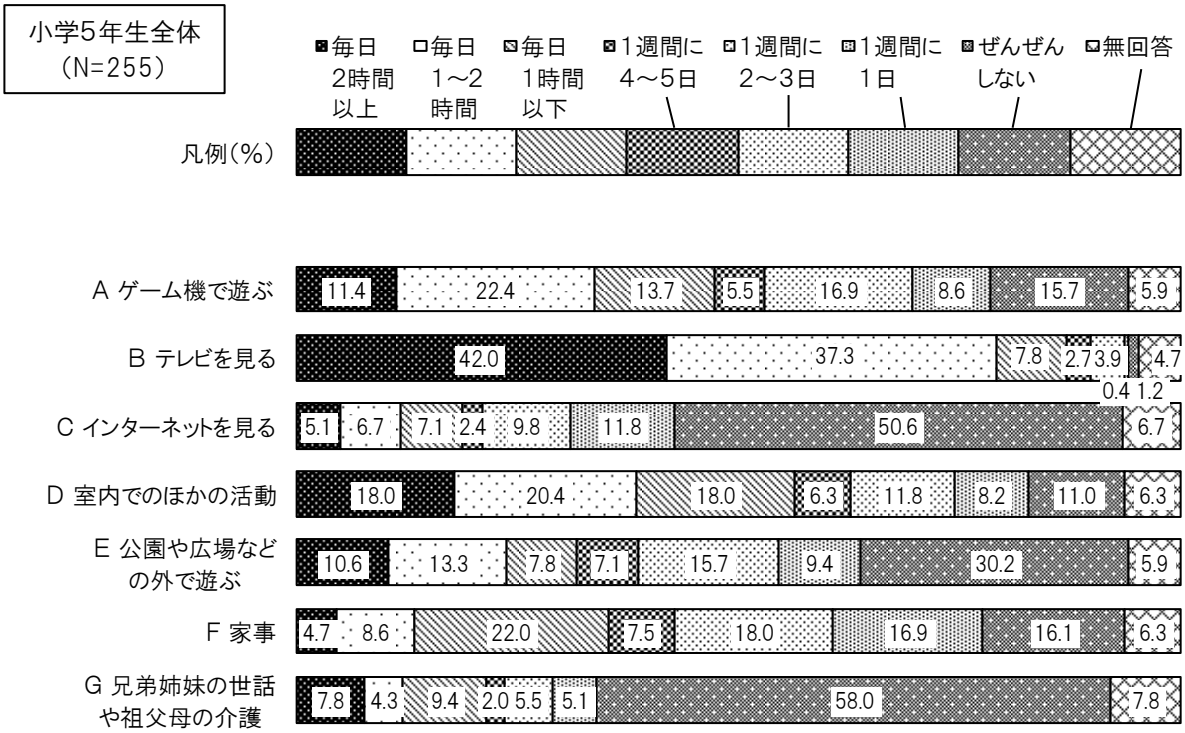
問12　休日の午後に過ごす場所	回答割合（%）	回答件数
自分の家	80.0	8
商店街やショッピングモール	10.0	1
友だちの家	0.0	0
塾や習いごとをする場所	0.0	0
自治振興センター（放課後等デイサービス含む）	0.0	0
学校（部活動など）	0.0	0
スポーツクラブ活動の場（野球場、サッカー場など）	0.0	0
公園や広場	0.0	0
図書館	0.0	0
ゲームセンター	0.0	0
その他	10.0	1
全体	100.0	10

【５】活動の状況

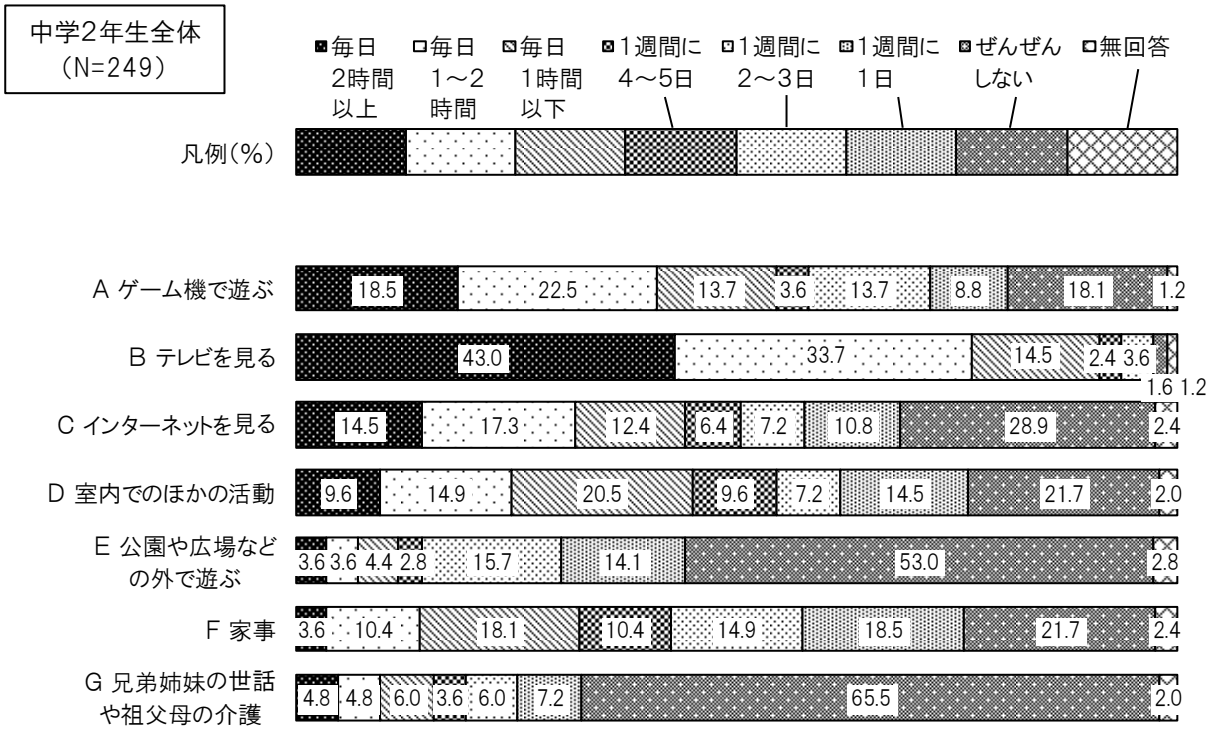
（１）活動の状況

子／問 14　あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

活動の状況については、小学５年生全体では「毎日２時間以上」の割合が高い順に「B テレビを見る」(42.0%)、「D 室内でのほかの活動」(18.0%)、「A ゲーム機で遊ぶ」(11.4%)となっている。また、「ぜんぜんしない」では「G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」(58.0%)、「C インターネットを見る」(50.6%) などがあげられる。



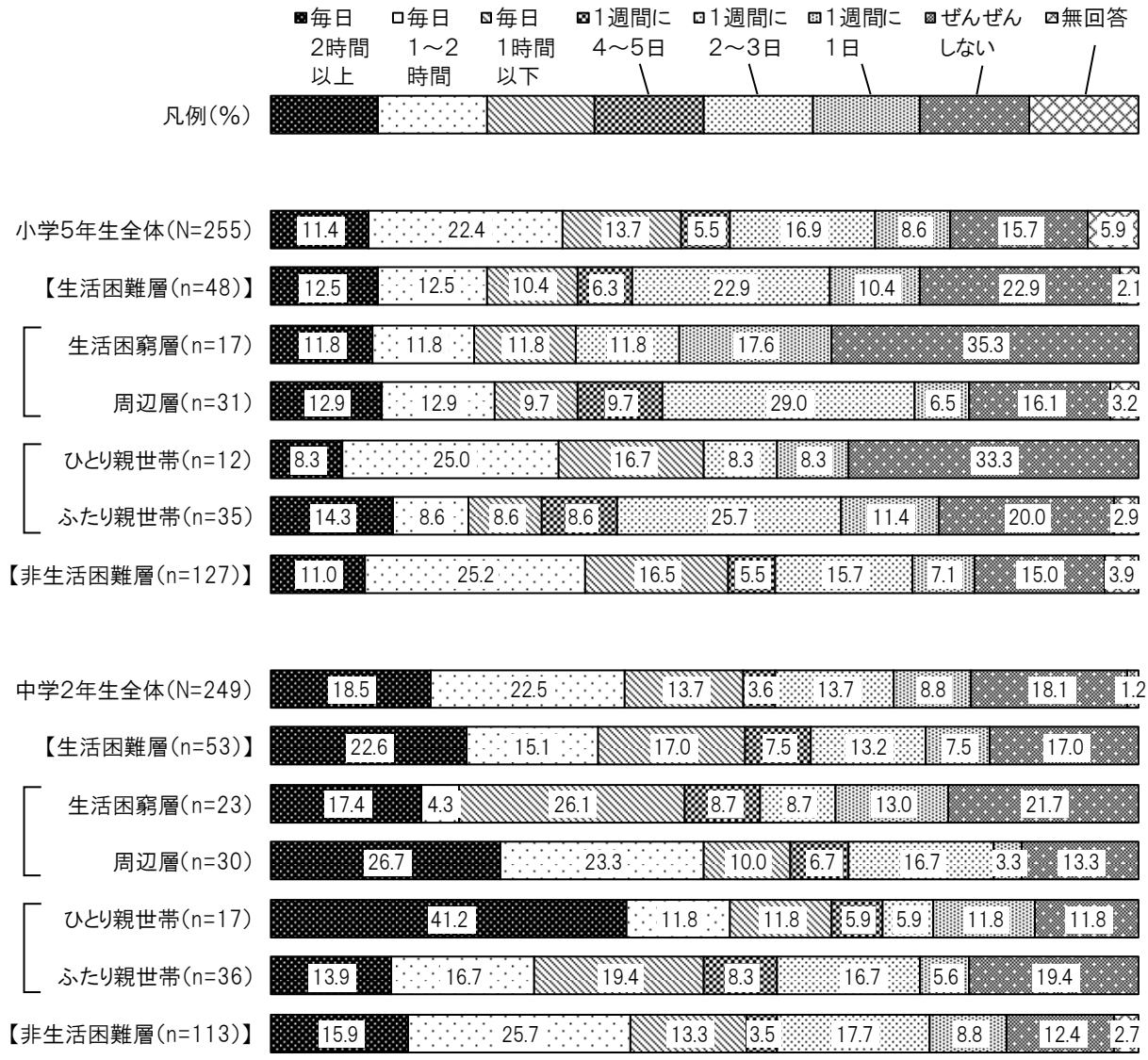
中学２年生全体では、「毎日２時間以上」の割合が高い順に「B テレビを見る」（43.0%）、「A ゲーム機で遊ぶ」（18.5%）、「C インターネットを見る」（14.5%）となっている。また、「ぜんぜんしない」では「G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」（65.5%）、「E 公園や広場などの外で遊ぶ」（53.0%）などがあげられる。



A　ゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶことについて「毎日２時間以上」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 11.8%、周辺層で 12.9%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 17.4%、周辺層で 26.7%となっており、周辺層で高くなっている。

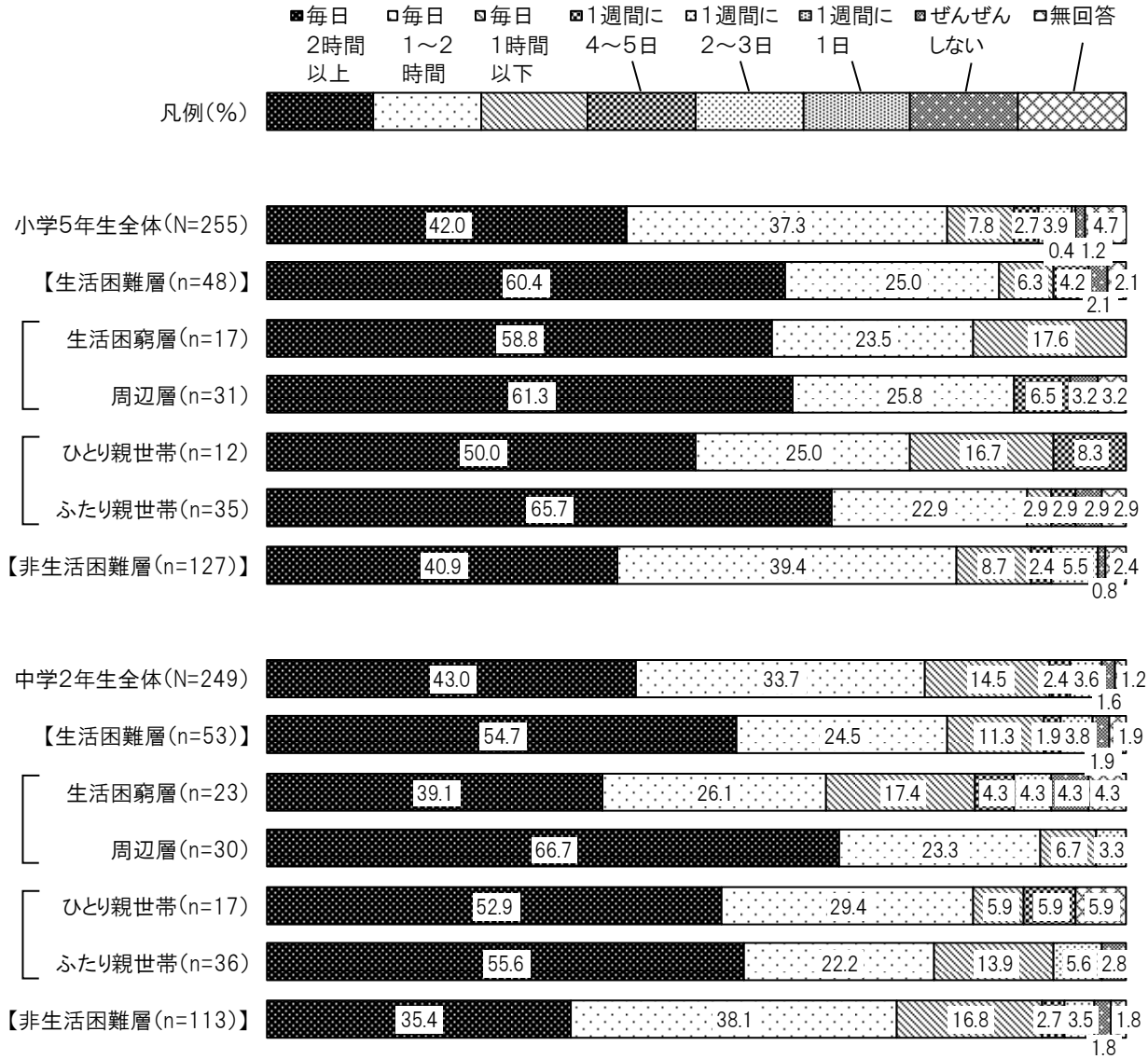
生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「毎日２時間以上」がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　テレビを見る

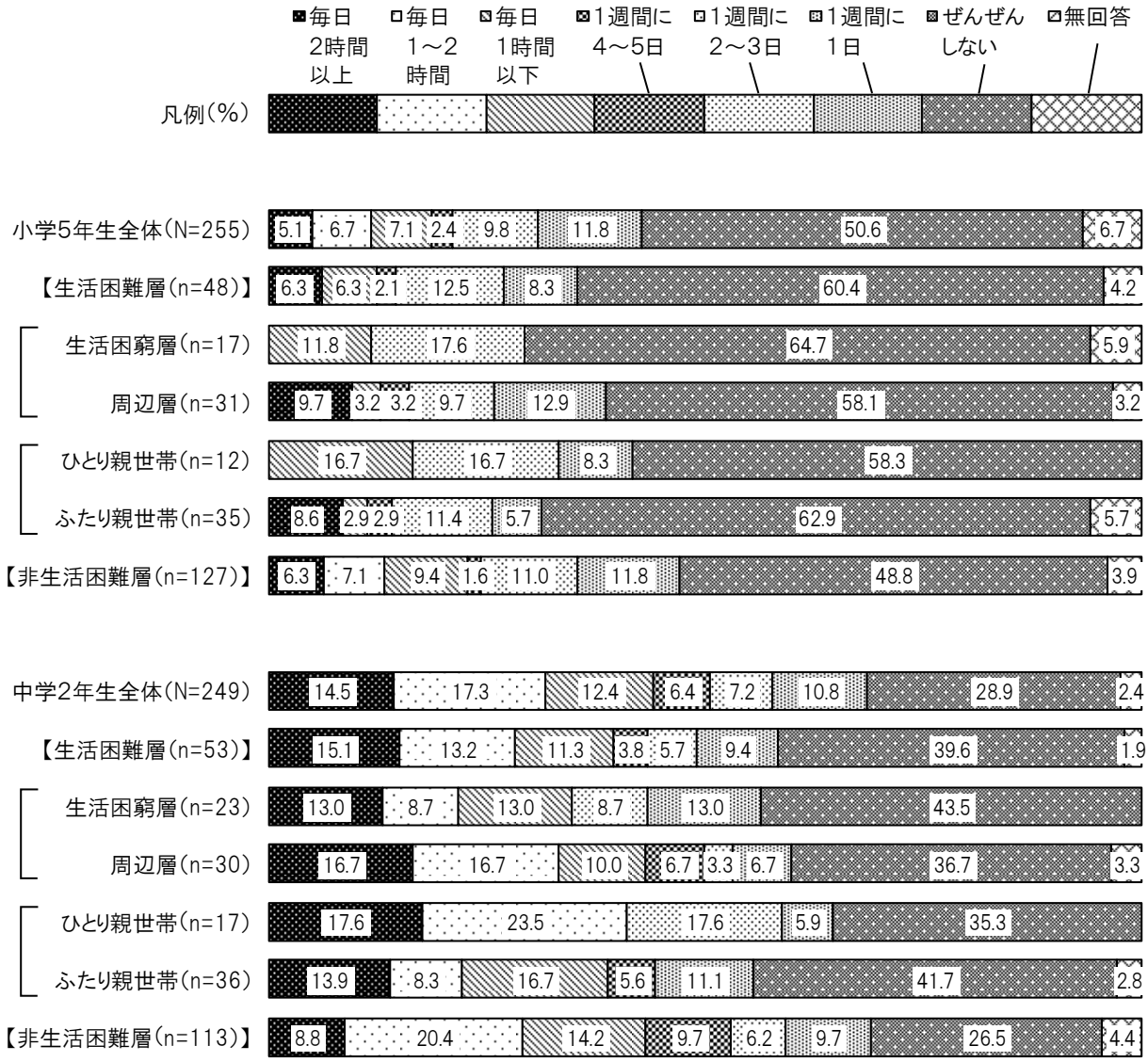
テレビを見ることについて「毎日２時間以上」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 58.8%、周辺層で 61.3%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 39.1%、周辺層で 66.7%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のふたり親世帯で「毎日２時間以上」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



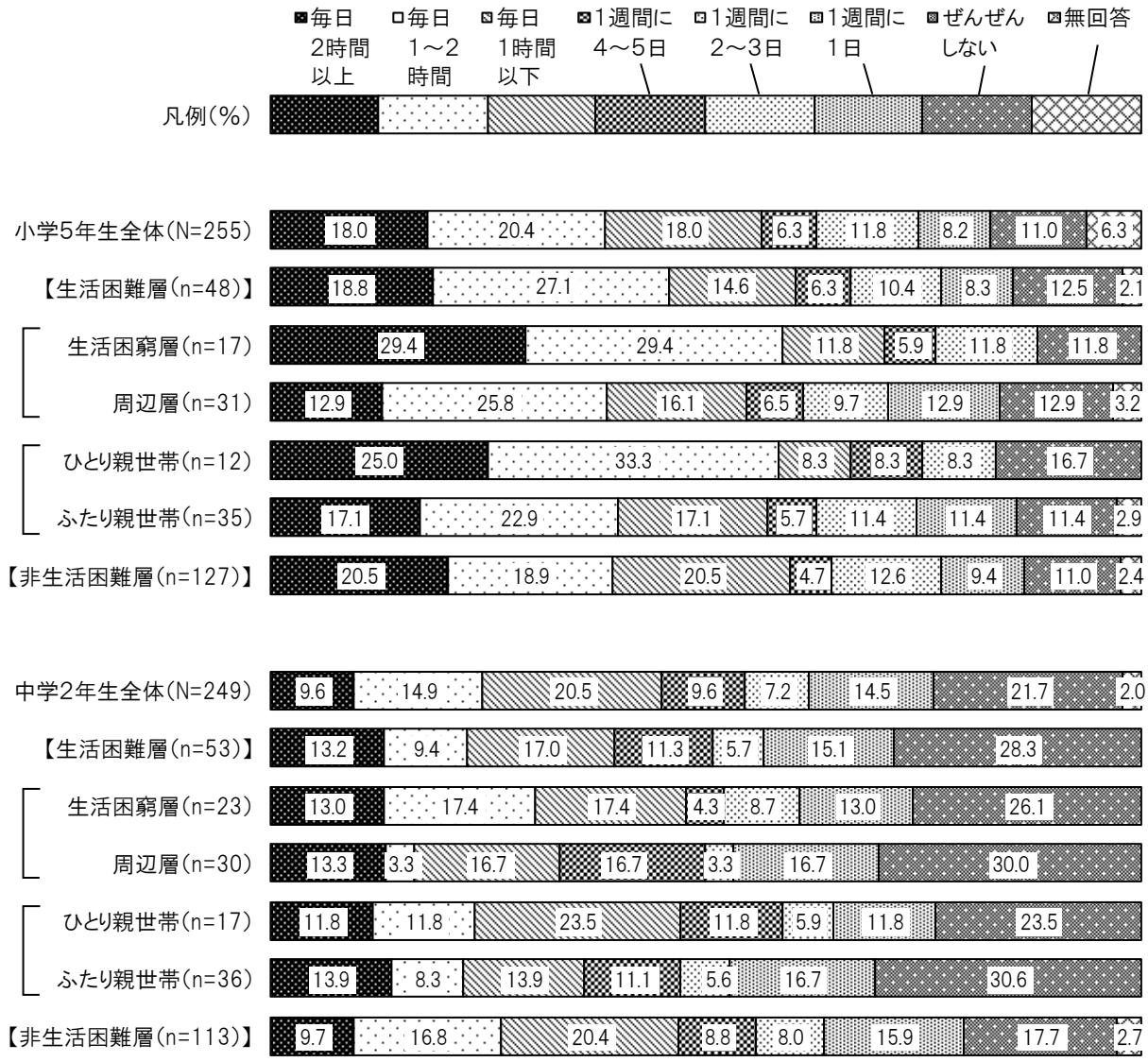
C　インターネットを見る

インターネットを見ることについて「毎日２時間以上」の割合は、小学５年生の周辺層で9.7%となっている。中学２年生では、生活困窮層で13.0%、周辺層で16.7%となっている。



D　室内でのほかの活動

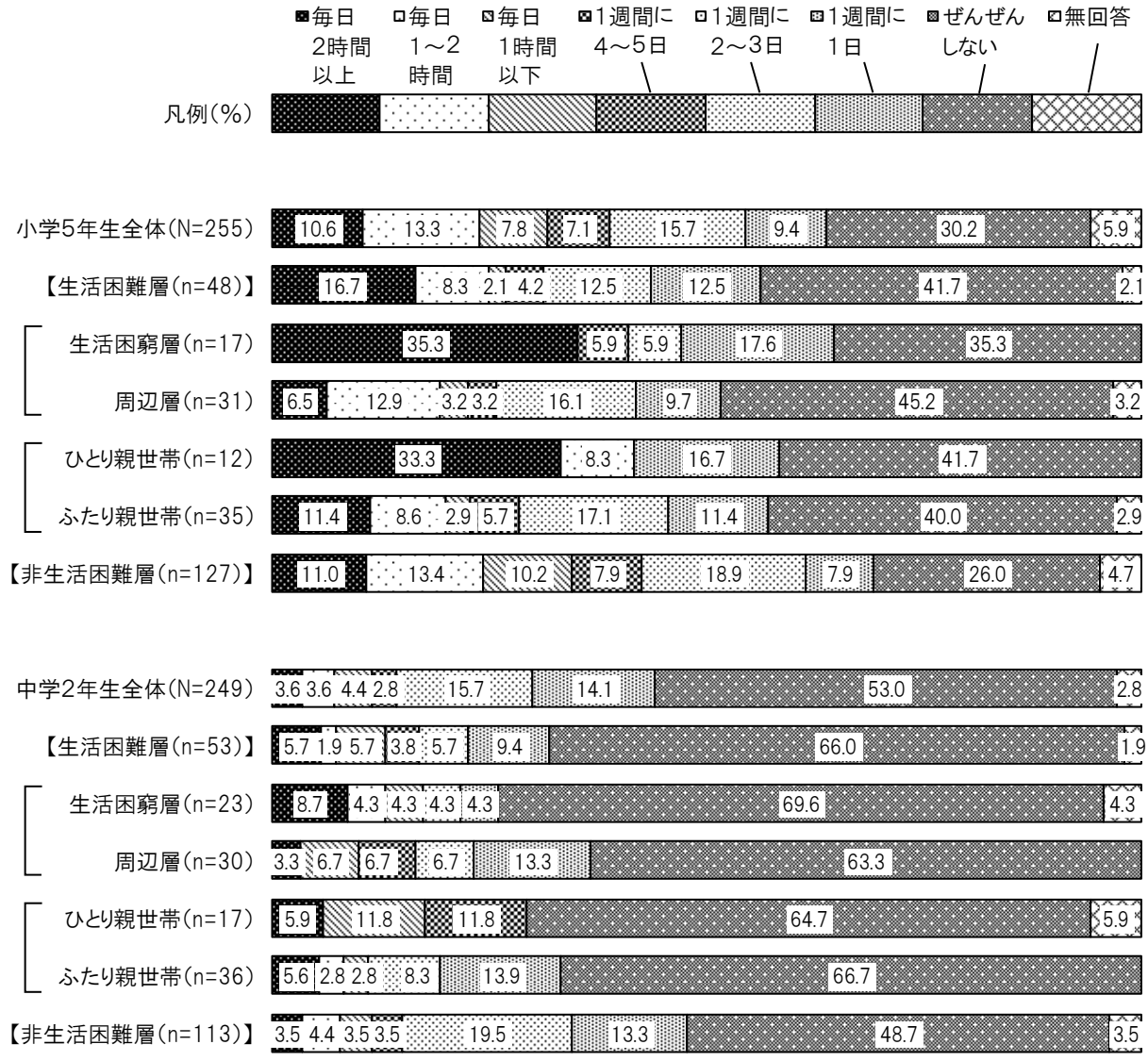
室内でのほかの活動について「毎日２時間以上」の割合は、小学５年生の生活困窮層で29.4%、周辺層で12.9%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学２年生では、生活困窮層で13.0%、周辺層で13.3%となっている。



E　公園や広場などの外で遊ぶ

公園や広場などの外で遊ぶことについて「毎日２時間以上」の割合は、小学５年生の生活困窮層で35.3%、周辺層で6.5%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学２年生では、生活困窮層で8.7%、周辺層で3.3%となっている。

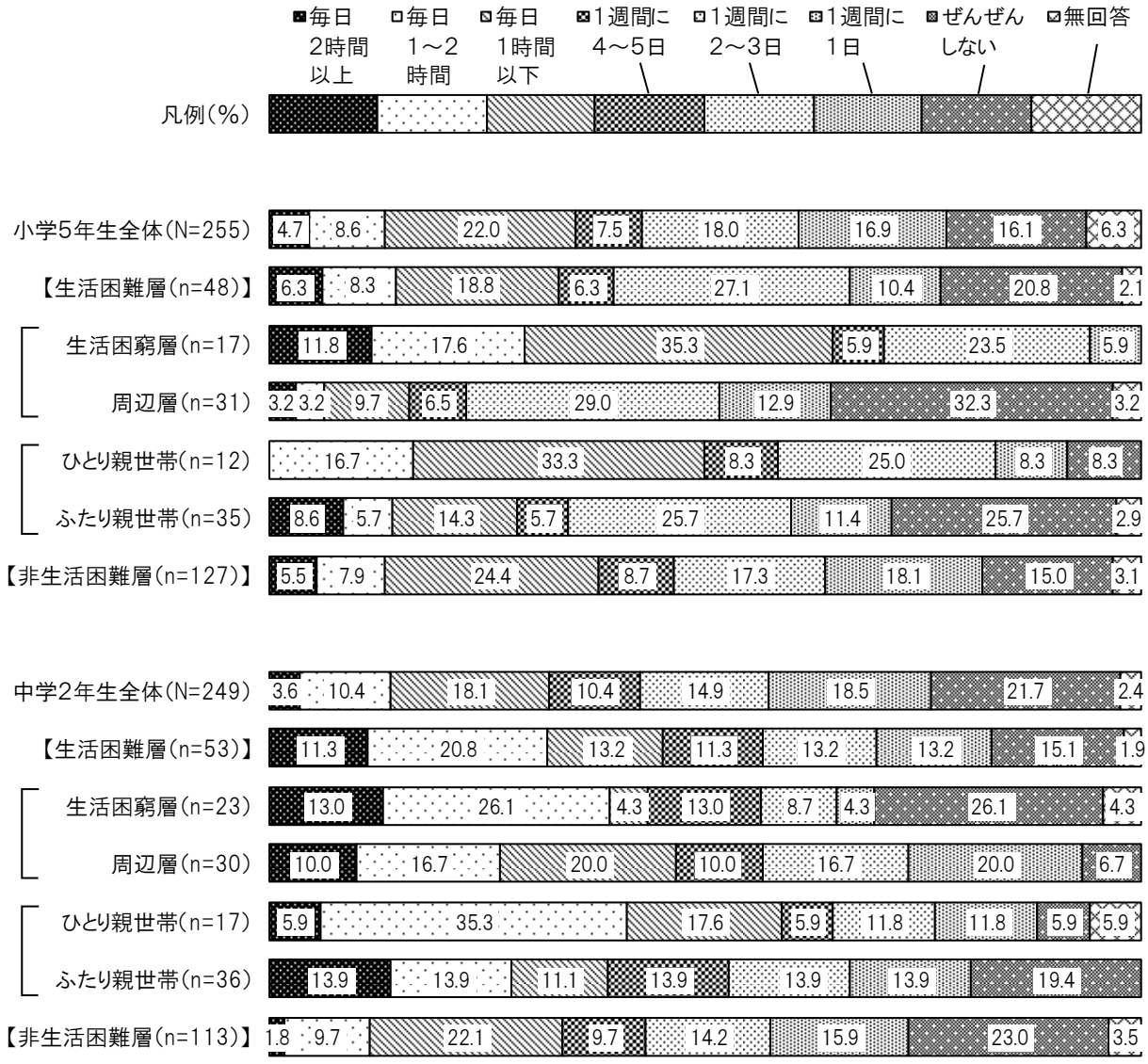
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「毎日２時間以上」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



F　家事

家事について「毎日２時間以上」「毎日１～２時間」の合計は、小学５年生の生活困窮層で 29.4%、周辺層で 6.4%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 39.1%、周辺層で 26.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

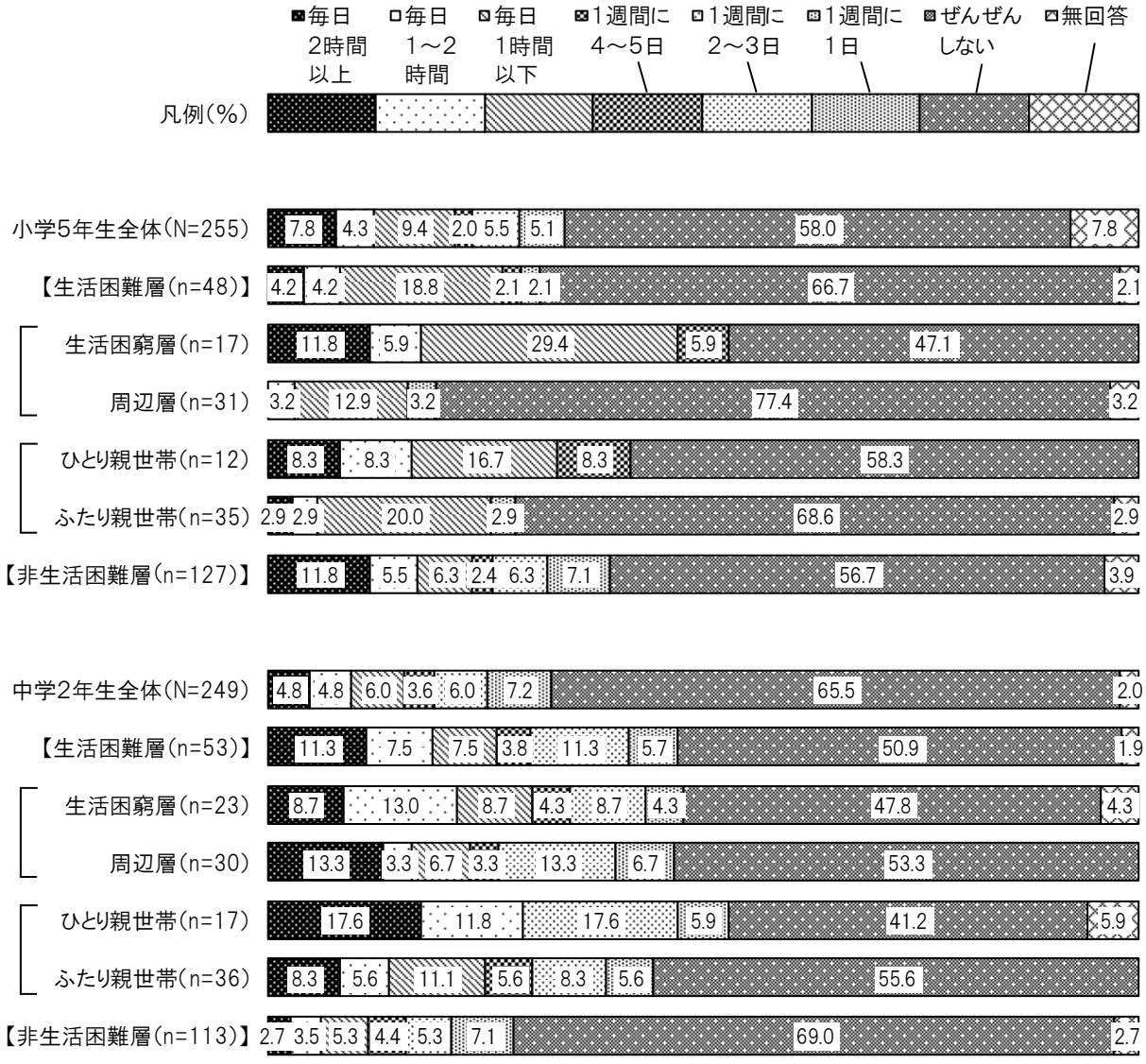
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生のふたり親世帯で「ぜんぜんしない」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



G　兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

兄弟姉妹の世話や祖父母の介護について「ぜんぜんしない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 47.1%、周辺層で 77.4%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学２年生では、生活困窮層で 47.8%、周辺層で 53.3%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ふたり親世帯で「ぜんぜんしない」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】
（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「毎日２時間以上」「毎日１～２時間」の合計人数は、「B テレビを見る」が６名（全員)、「A ゲーム機で遊ぶ」が３名、「C インターネットを見る」が２名となっている。

問13 活動頻度／A ゲーム機で遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	16.7	1
毎日1～2時間	33.3	2
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	16.7	1
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	16.7	1
ぜんぜんしない	0.0	0
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問13 活動頻度／B テレビを見る	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	50.0	3
毎日1～2時間	50.0	3
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	6

問13 活動頻度／C インターネットを見る	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	16.7	1
毎日1～2時間	16.7	1
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	50.0	3
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問13 活動頻度／D 室内でのほかの活動	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	16.7	1
毎日1～2時間	0.0	0
毎日1時間以下	66.7	4
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	0.0	0
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問13　活動頻度／E　公園や広場などの外で遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	0.0	0
毎日1時間以下	16.7	1
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	33.3	2
1週間に1日	16.7	1
ぜんぜんしない	16.7	1
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問13　活動頻度／F　家事	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	0.0	0
毎日1時間以下	16.7	1
1週間に4～5日	16.7	1
1週間に2～3日	33.3	2
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	16.7	1
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問13　活動頻度／G　兄弟姉妹の世話や祖父母の介護	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	16.7	1
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	66.7	4
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「毎日２時間以上」「毎日１～２時間」の合計人数は、「B テレビを見る」が 10 名（全員）、「A ゲーム機で遊ぶ」が５名、「D 室内でのほかの活動」が３名、「G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」が２名となっている。

問13 活動頻度／A ゲーム機で遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	20.0	2
毎日1～2時間	30.0	3
毎日1時間以下	10.0	1
1週間に4～5日	10.0	1
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	20.0	2
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

問13 活動頻度／B テレビを見る	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	90.0	9
毎日1～2時間	10.0	1
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問13 活動頻度／C インターネットを見る	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	0.0	0
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	10.0	1
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	10.0	1
ぜんぜんしない	80.0	8
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問13 活動頻度／D 室内でのほかの活動	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	20.0	2
毎日1～2時間	10.0	1
毎日1時間以下	10.0	1
1週間に4～5日	10.0	1
1週間に2～3日	20.0	2
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	30.0	3
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問13　活動頻度／E　公園や広場などの外で遊ぶ	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	10.0	1
毎日1時間以下	0.0	0
1週間に4～5日	0.0	0
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	40.0	4
ぜんぜんしない	50.0	5
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問13　活動頻度／F　家事	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	0.0	0
毎日1～2時間	10.0	1
毎日1時間以下	10.0	1
1週間に4～5日	10.0	1
1週間に2～3日	10.0	1
1週間に1日	40.0	4
ぜんぜんしない	20.0	2
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問13　活動頻度／G　兄弟姉妹の世話や祖父母の介護	回答割合(%)	回答件数
毎日2時間以上	10.0	1
毎日1～2時間	10.0	1
毎日1時間以下	10.0	1
1週間に4～5日	10.0	1
1週間に2～3日	0.0	0
1週間に1日	0.0	0
ぜんぜんしない	60.0	6
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

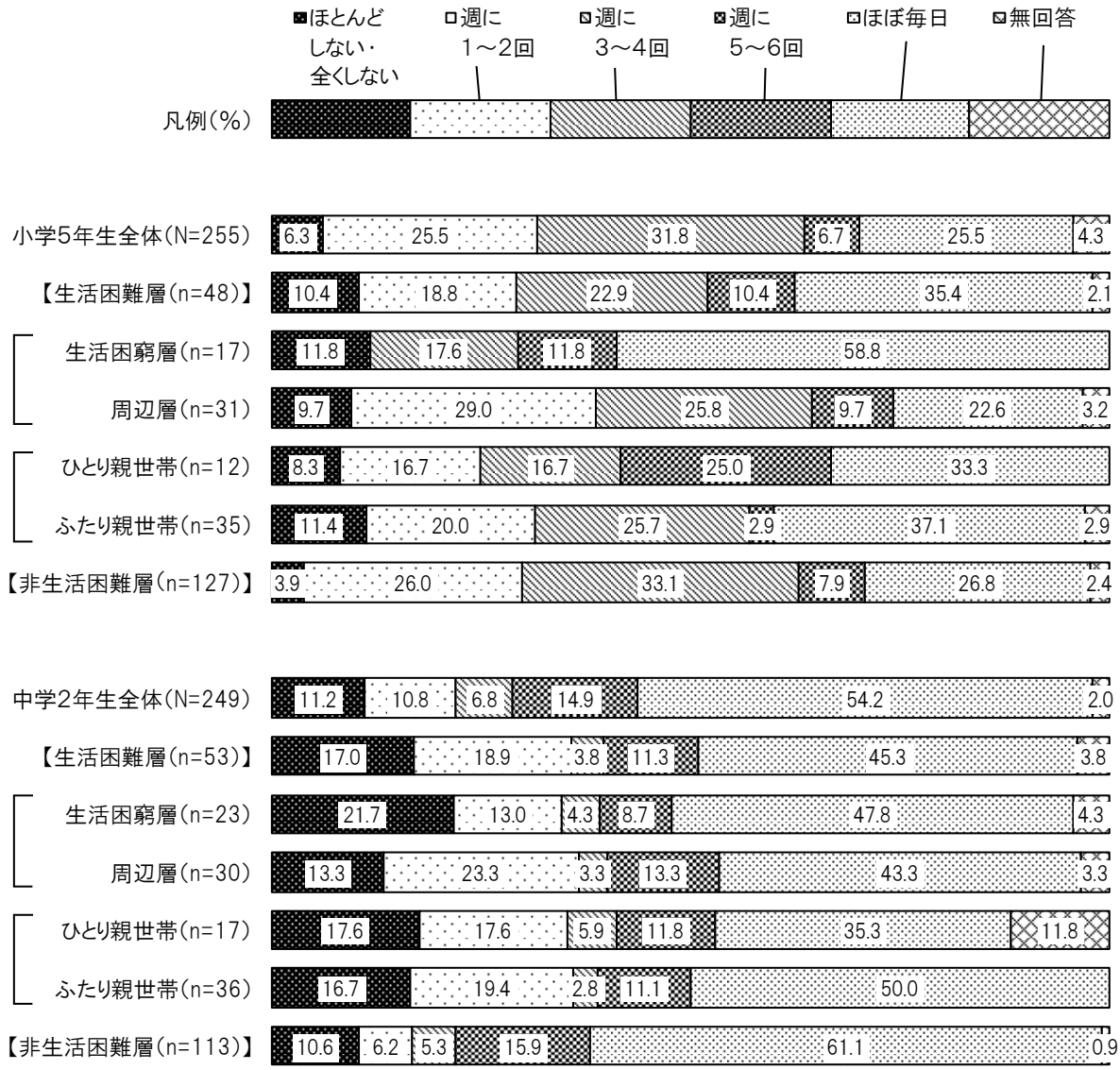
（２）運動の状況

子／問 15　あなたは、30 分以上からだを動かす遊びや習いごとを、１週間でどれくらいしますか。（あてはまる番号１つに○）

※例：ボール遊び、自転車、サッカー、野球、空手、剣道、体操、バレエ、水泳など。部活動を含みます。

運動の状況については、「ほぼ毎日」が小学５年生全体で 25.5%、中学２年生全体で 54.2%となっており、「ほとんどしない・全くしない」は小学５年生全体で 6.3%、中学２年生全体で 11.2%となっている。

生活困難度別にみると、小学５年生の生活困窮層で「ほぼ毎日」の割合が周辺層を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「週に１～２回」が２名となっている。

問14　30分以上からだを動かす遊びや習いごとをする頻度	回答割合(%)	回答件数
ほとんどしない･全くしない	16.7	1
週に1～2回	33.3	2
週に3～4回	16.7	1
週に5～6回	16.7	1
ほぼ毎日	16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「ほとんどしない・全くしない」が４名、「週に１～２回」が３名、「週に５～６回」が２名となっている。

問14　30分以上からだを動かす遊びや習いごとをする頻度	回答割合(%)	回答件数
ほとんどしない･全くしない	40.0	4
週に1～2回	30.0	3
週に3～4回	0.0	0
週に5～6回	20.0	2
ほぼ毎日	10.0	1
全体	100.0	10

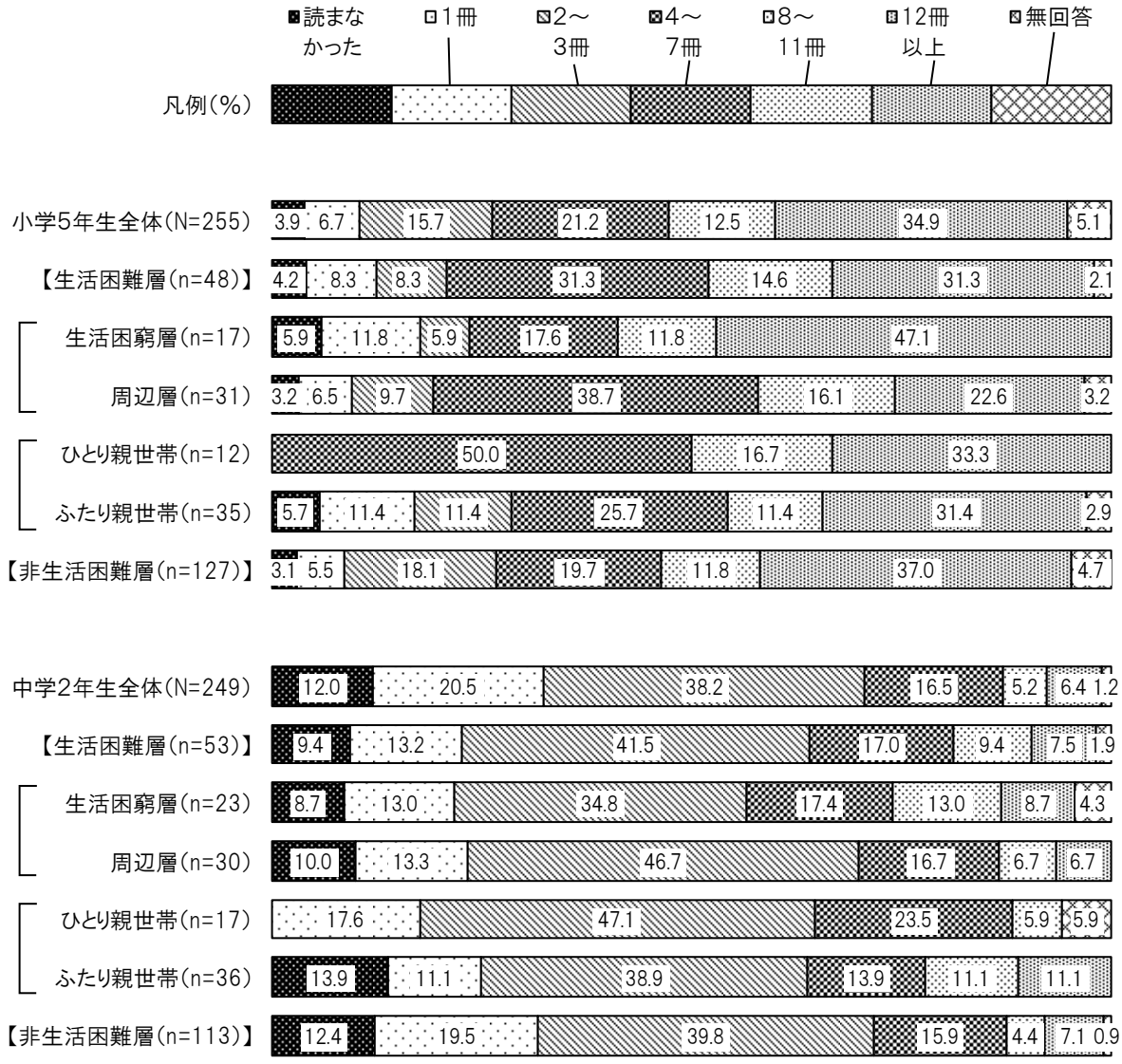
（３）読書の状況

子／問 16　あなたは、この１か月の間に本を何冊くらい読みましたか。
（あてはまる番号１つに○）
※自宅以外で読んだ本も数えてください。
※パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本（電子書籍）も数えてください。
※雑誌やマンガは、内容に関わらず、数に含めないでください。

読書の状況については、小学５年生全体では「12 冊以上」が 34.9％と最も高く、次いで「４～７冊」(21.2％)、「２～３冊」(15.7％) となっており、「読まなかった」は 3.9％であった。中学２年生全体では「２～３冊」が 38.2％と最も高く、次いで「１冊」(20.5％)、「４～７冊」(16.5％) となっており、「読まなかった」は 12.0％であった。

生活困難度別にみると、小学５年生の生活困窮層で「４～７冊」、中学２年生の生活困窮層で「２～３冊」の割合が周辺層に比べてそれぞれ低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「４～７冊」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「２～３冊」が３名となっている。

問15　1か月の間に読んだ本の冊数	回答割合(%)	回答件数
読まなかった	0.0	0
1冊	16.7	1
2～3冊	50.0	3
4～7冊	16.7	1
8～11冊	16.7	1
12冊以上	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

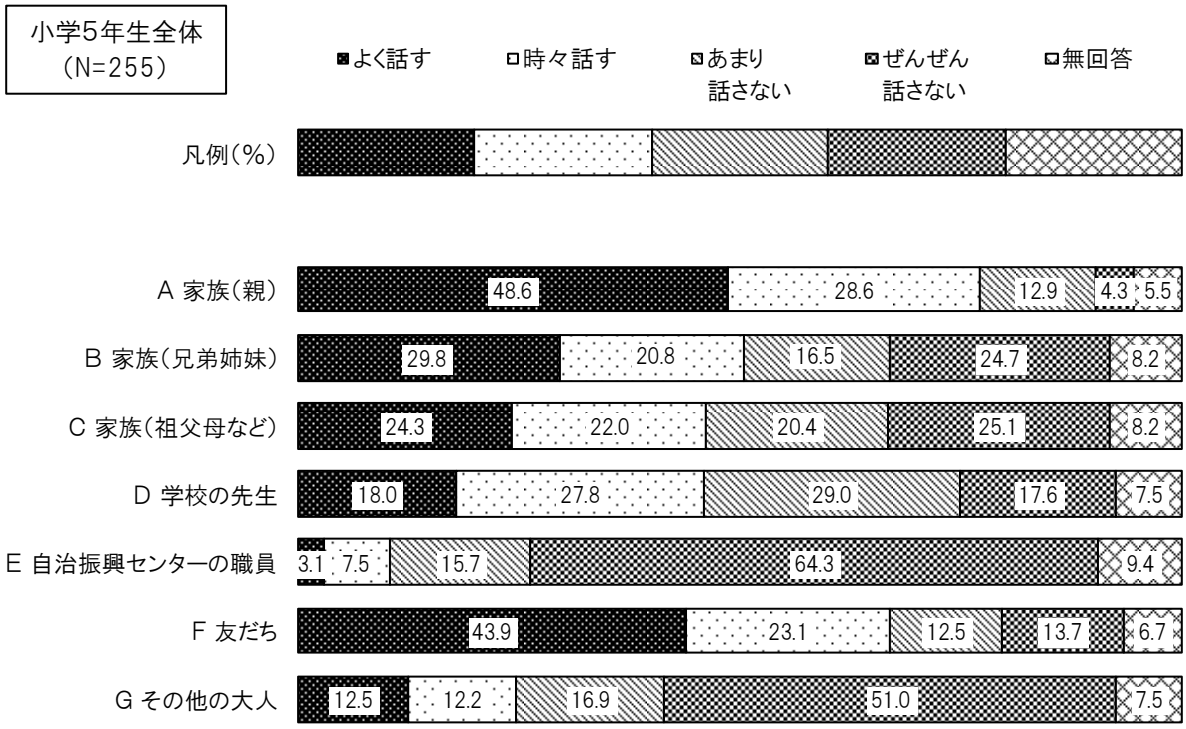
児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「２～３冊」が５名、「４～７冊」が２名となっている。

問15　1か月の間に読んだ本の冊数	回答割合(%)	回答件数
読まなかった	10.0	1
1冊	10.0	1
2～3冊	50.0	5
4～7冊	20.0	2
8～11冊	10.0	1
12冊以上	0.0	0
全体	100.0	10

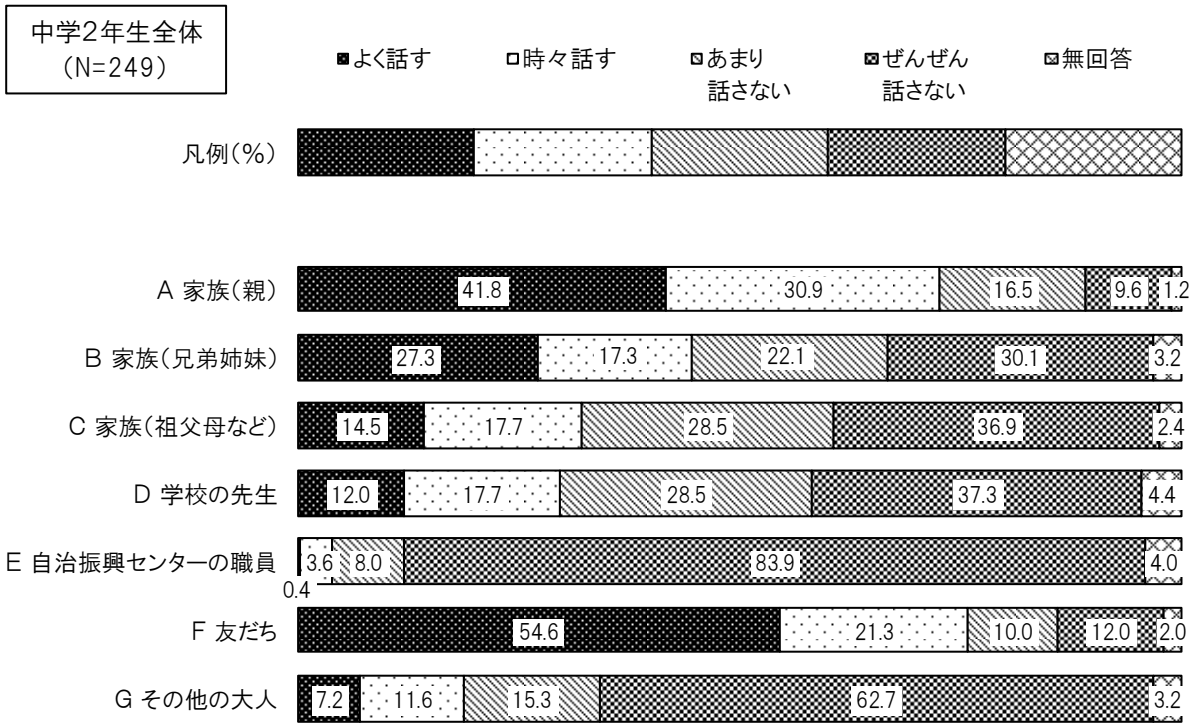
（4）会話の状況

子／問 17　あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。「１よく話す」から「４ぜんぜん話さない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE なども含めて考えてください。（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

会話の状況について、小学５年生全体では「よく話す」割合が高い順に「A 家族（親）」（48.6%）、「F 友だち」（43.9%）、「B 家族（兄弟姉妹）」（29.8%）となっている。また、「ぜんぜん話さない」では「E 自治振興センターの職員」（64.3%）、「G その他の大人」（51.0%）などがあげられる。



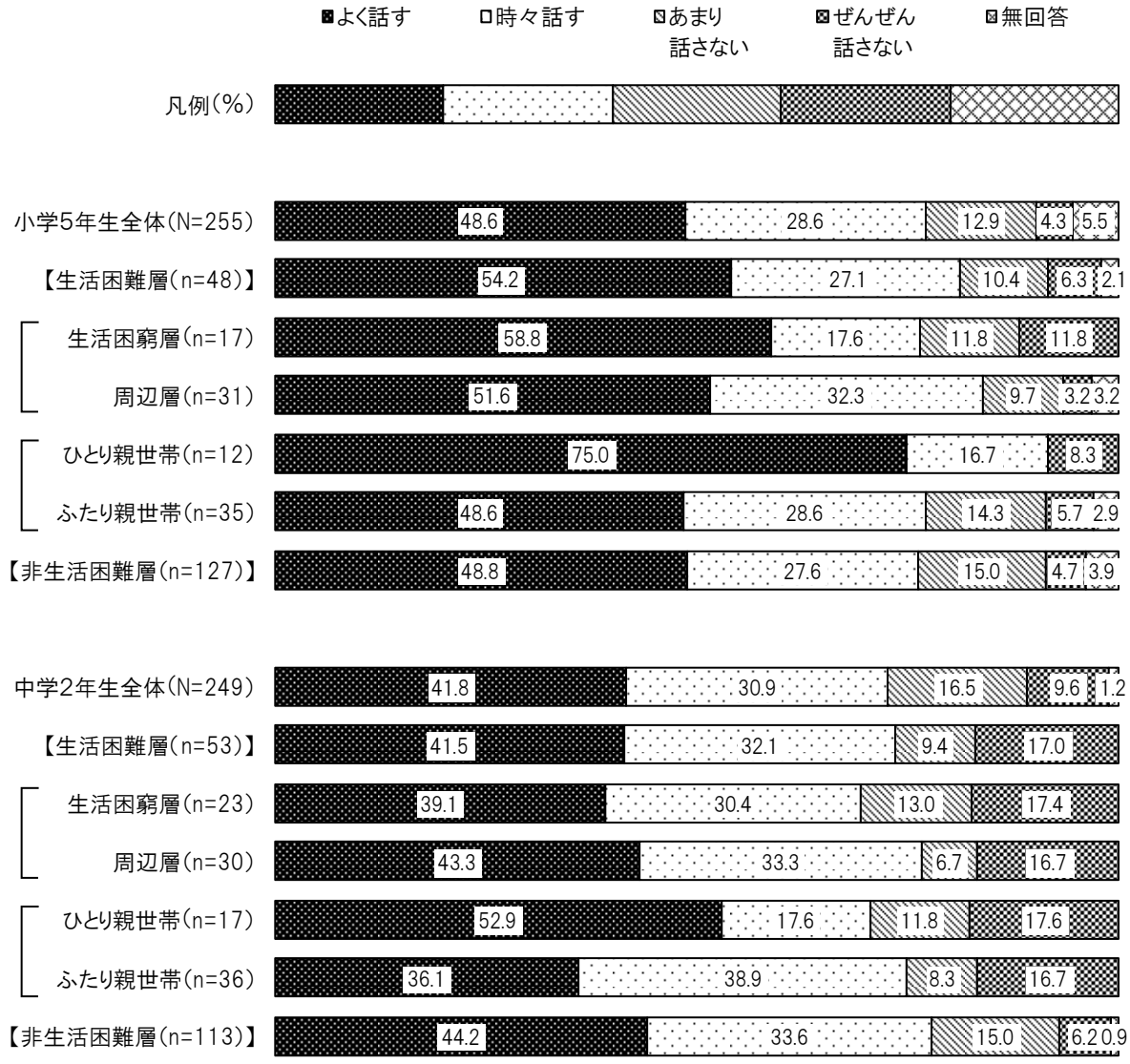
中学２年生全体では、「よく話す」割合が高い順に「F 友だち」(54.6%)、「A 家族（親)」(41.8%)、「B 家族（兄弟姉妹)」(27.3%) となっている。また、「ぜんぜん話さない」では「E 自治振興センターの職員」(83.9%)、「G その他の大人」(62.7%) などがあげられる。



A　家族（親）

家族（親）について「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 58.8%、周辺層で 51.6%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 39.1%、周辺層で 43.3%となっている。

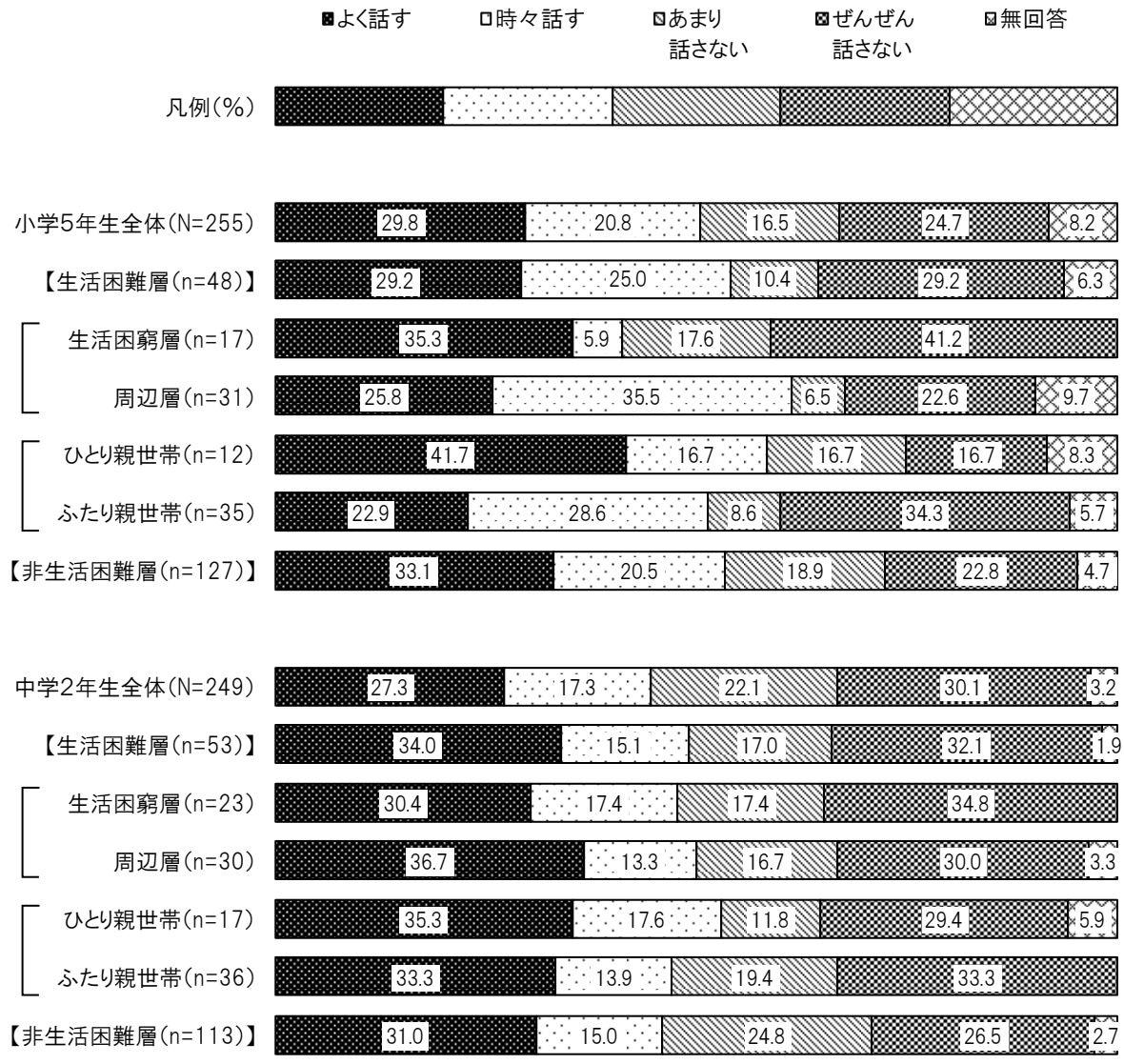
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　家族（兄弟姉妹）

家族（兄弟姉妹）について「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 35.3%、周辺層で 25.8%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 30.4%、周辺層で 36.7%となっている。

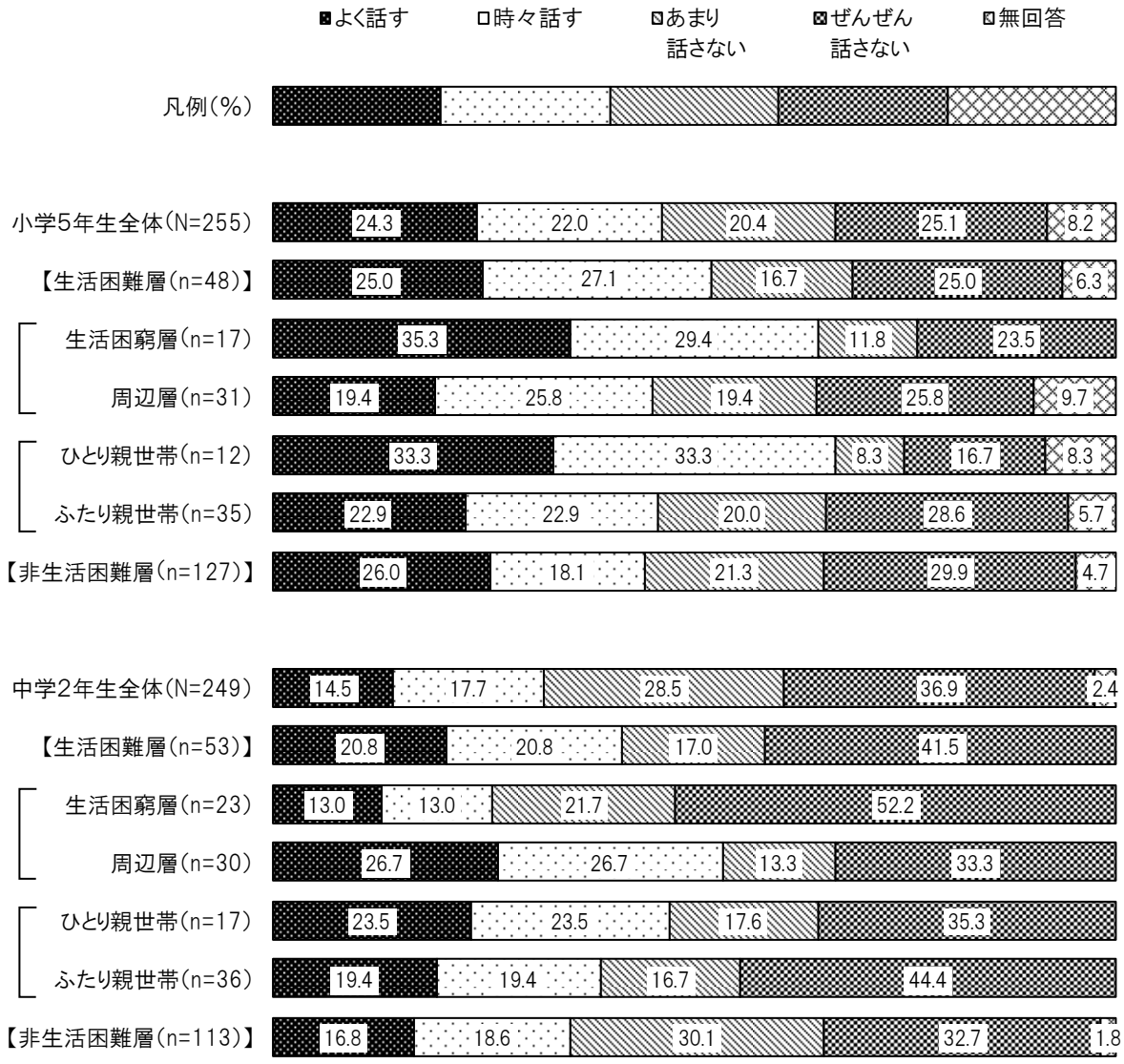
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



C　家族（祖父母など）

家族（祖父母など）について「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 35.3%、周辺層で 19.4%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学２年生では、生活困窮層で 13.0%、周辺層で 26.7%となっている。

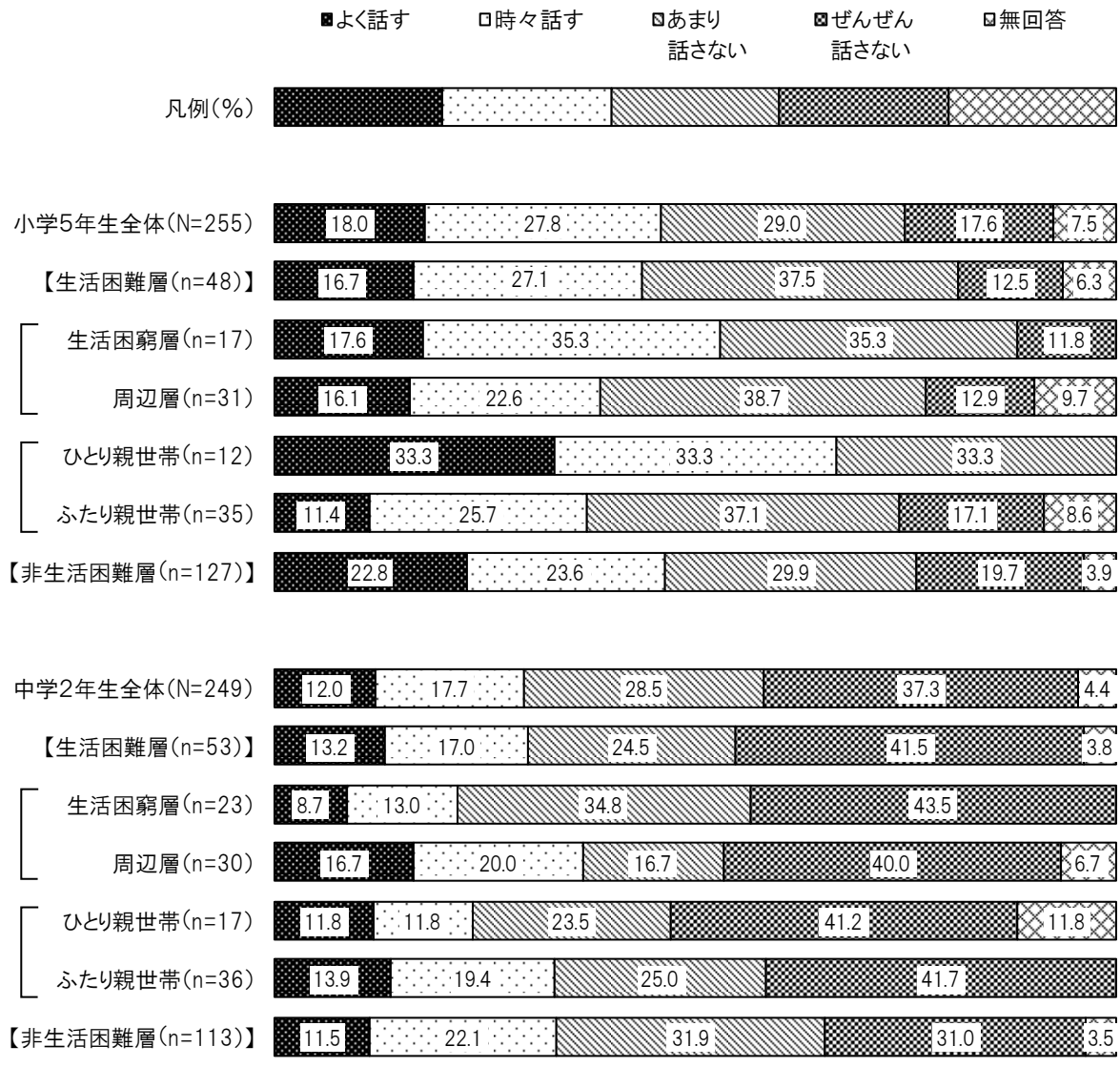
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D　学校の先生

学校の先生について「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で17.6%、周辺層で16.1%となっている。中学２年生の生活困窮層で8.7%、周辺層で16.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

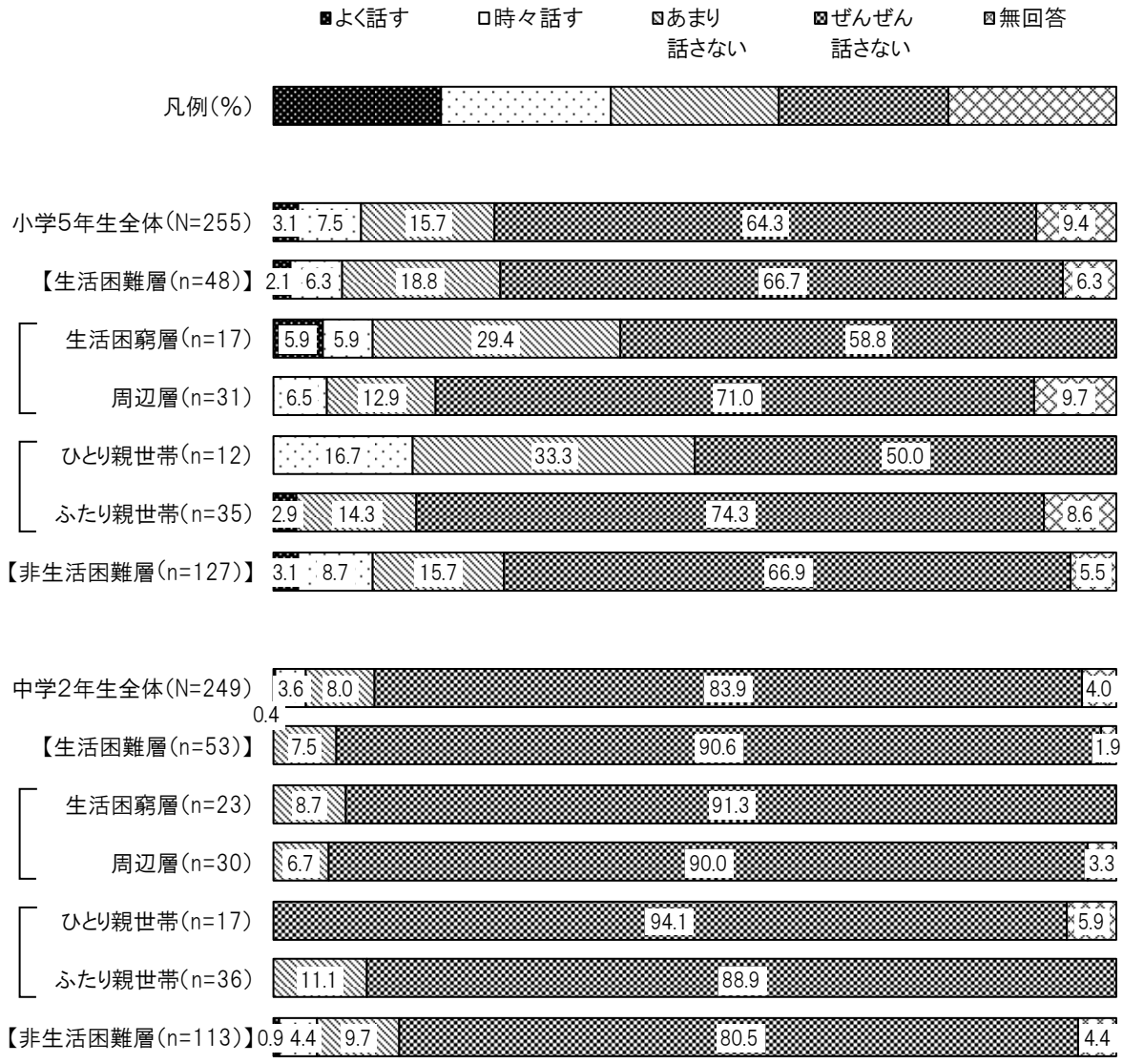
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



E　自治振興センターの職員※（放課後等デイサービス含む）

自治振興センターの職員について「ぜんぜん話さない」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 58.8%、周辺層で 71.0%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学２年生では、生活困窮層で91.3%、周辺層で90.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生のひとり親世帯で「ぜんぜん話さない」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

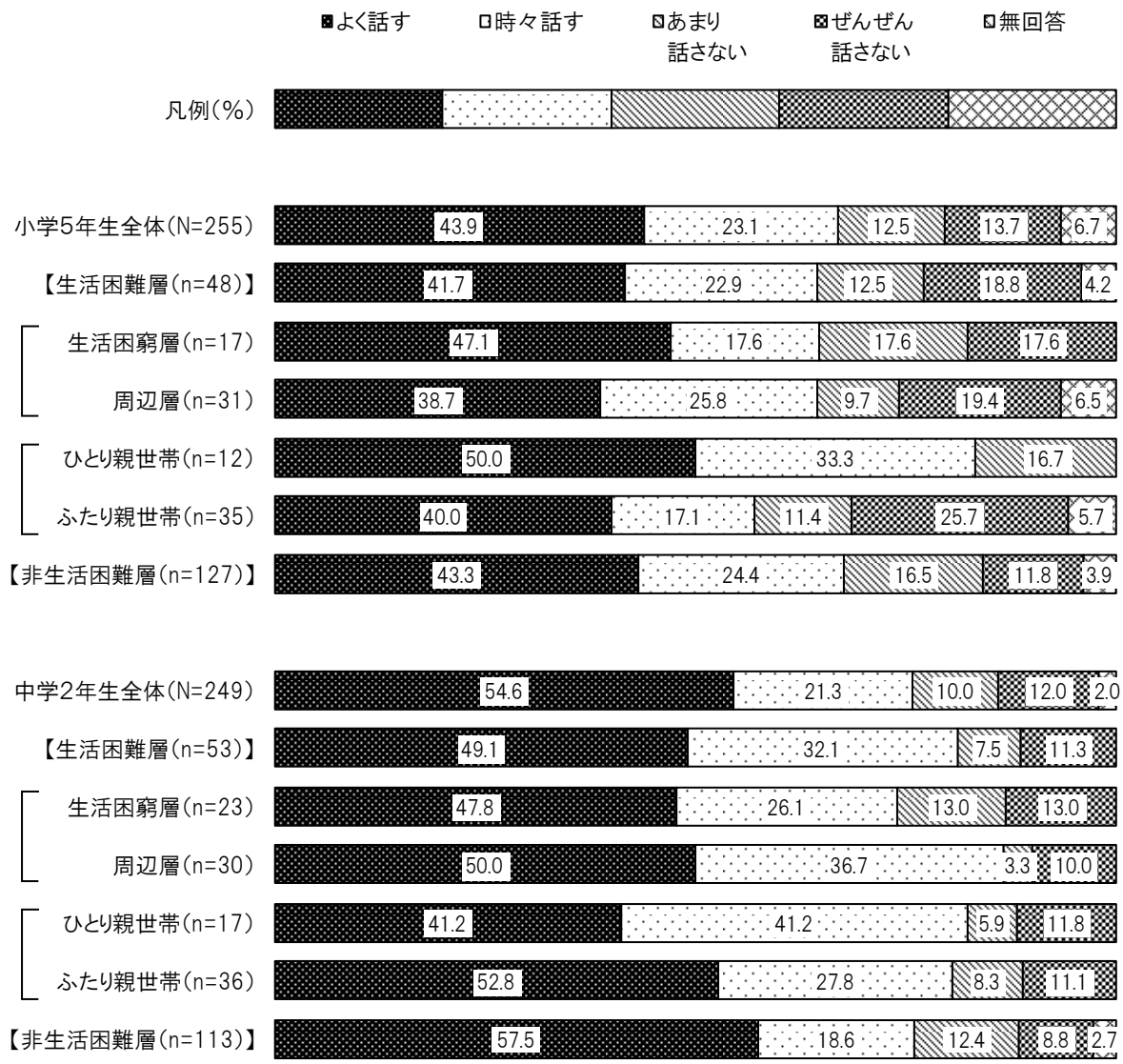


※小学生票では「自治振興センターの職員（放課後児童クラブふくむ）」

F　友だち

友だちについて「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 47.1%、周辺層で 38.7%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 47.8%、周辺層で 50.0%となっている。

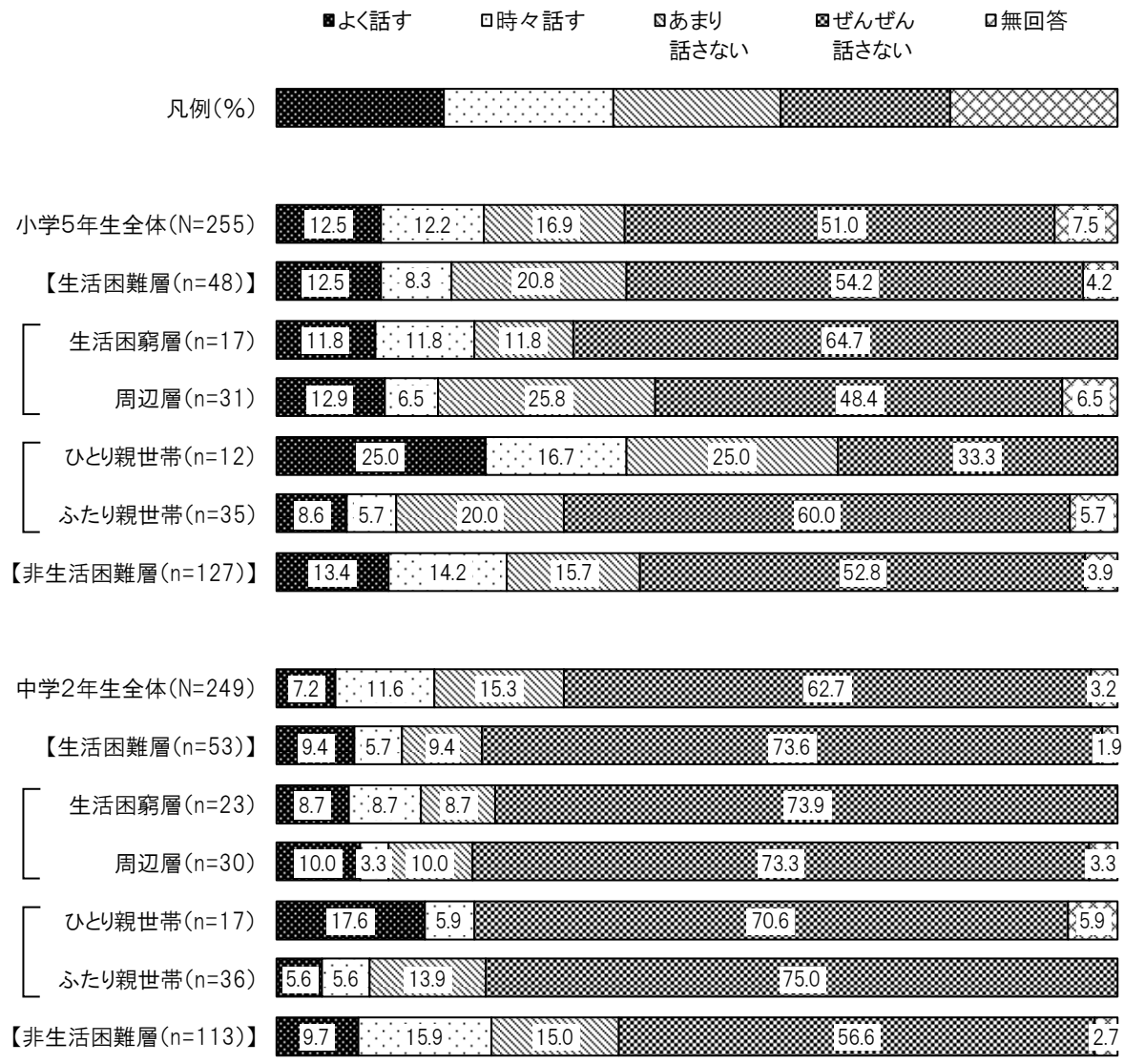
生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



G　その他の大人

その他の大人について「よく話す」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 11.8%、周辺層で 12.9%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 8.7%、周辺層で 10.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】
（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「よく話す」「時々話す」の合計人数は、「A 家族（親）」が５名、「F 友だち」が４名、「B 家族（兄弟姉妹）」「D 学校の先生」が各１名となっている。

問16 会話頻度／A 家族(親)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	50.0	3
時々話す	33.3	2
あまり話さない	16.7	1
ぜんぜん話さない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	6

問16 会話頻度／B 家族(兄弟姉妹)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	16.7	1
時々話す	0.0	0
あまり話さない	33.3	2
ぜんぜん話さない	33.3	2
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問16 会話頻度／C 家族(祖父母など)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	0.0	0
あまり話さない	33.3	2
ぜんぜん話さない	50.0	3
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問16 会話頻度／D 学校の先生	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	16.7	1
あまり話さない	33.3	2
ぜんぜん話さない	33.3	2
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問16 会話頻度／E 自治振興センターの職員	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	0.0	0
あまり話さない	16.7	1
ぜんぜん話さない	66.7	4
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問16　会話頻度／F　友だち	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	66.7	4
あまり話さない	0.0	0
ぜんぜん話さない	16.7	1
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

問16　会話頻度／G　その他の大人	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	0.0	0
あまり話さない	33.3	2
ぜんぜん話さない	50.0	3
無回答	16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「よく話す」は、「F　友だち」が７名、「A　家族（親)」「B　家族（兄弟姉妹)」が各４名、「C　家族（祖父母など)」が３名となっている。

問16　会話頻度／A　家族(親)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	40.0	4
時々話す	30.0	3
あまり話さない	10.0	1
ぜんぜん話さない	20.0	2
全体	100.0	10

問16　会話頻度／B　家族(兄弟姉妹)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	40.0	4
時々話す	20.0	2
あまり話さない	10.0	1
ぜんぜん話さない	30.0	3
全体	100.0	10

問16　会話頻度／C　家族(祖父母など)	回答割合(%)	回答件数
よく話す	30.0	3
時々話す	30.0	3
あまり話さない	20.0	2
ぜんぜん話さない	20.0	2
全体	100.0	10

問16　会話頻度／D　学校の先生	回答割合(%)	回答件数
よく話す	20.0	2
時々話す	20.0	2
あまり話さない	40.0	4
ぜんぜん話さない	20.0	2
全体	100.0	10

問16　会話頻度／E　自治振興センターの職員	回答割合(%)	回答件数
よく話す	0.0	0
時々話す	0.0	0
あまり話さない	10.0	1
ぜんぜん話さない	90.0	9
全体	100.0	10

問16　会話頻度／F　友だち	回答割合(%)	回答件数
よく話す	70.0	7
時々話す	10.0	1
あまり話さない	0.0	0
ぜんぜん話さない	20.0	2
全体	100.0	10

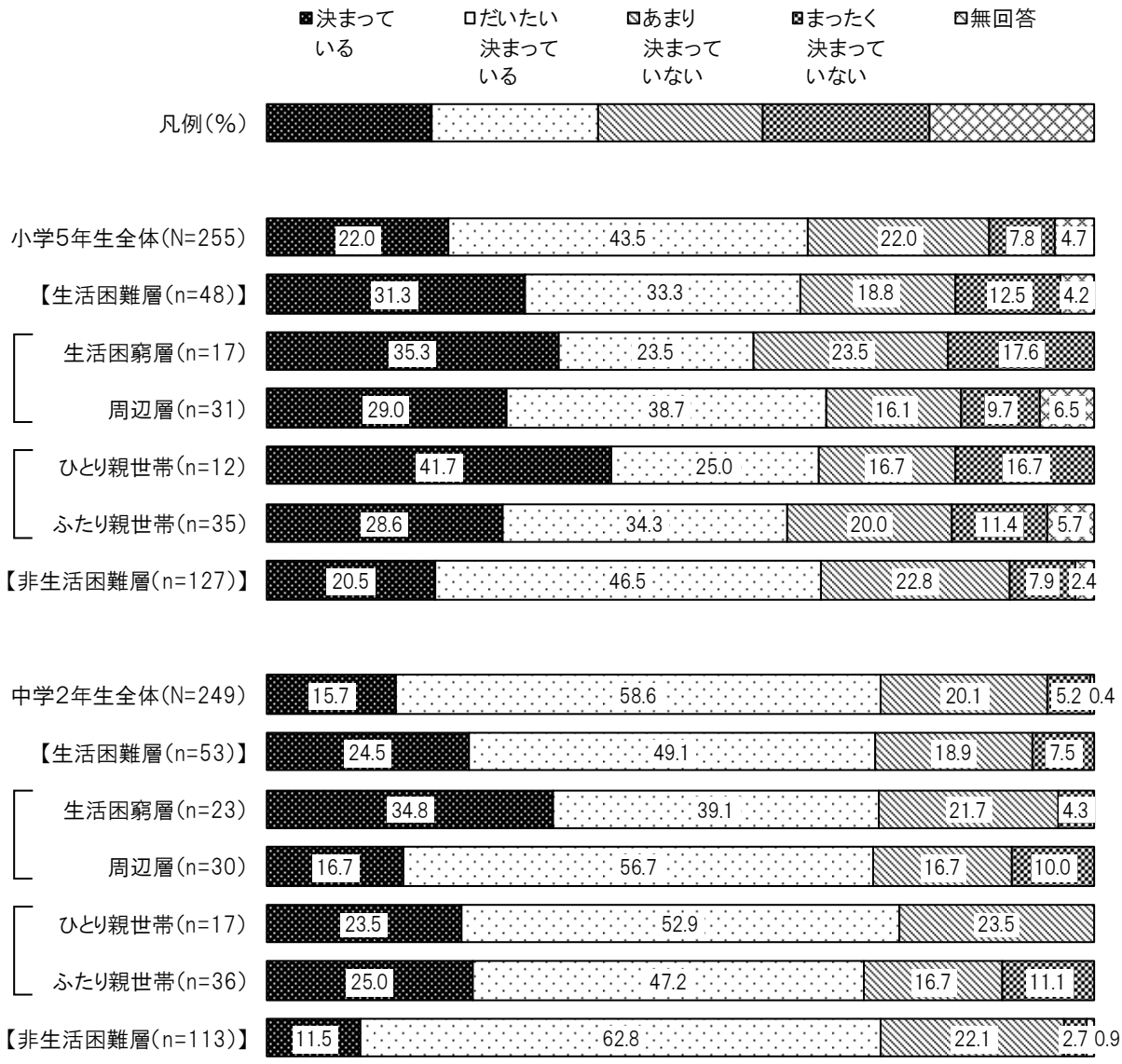
問16　会話頻度／G　その他の大人	回答割合(%)	回答件数
よく話す	20.0	2
時々話す	10.0	1
あまり話さない	0.0	0
ぜんぜん話さない	70.0	7
全体	100.0	10

（５）就寝時刻

子／問 18　あなたは毎日、夜、寝る時刻が決まっていますか。 （あてはまる番号１つに○）

就寝時刻については、小学５年生全体では「決まっている」の割合が 22.0%、中学２年生全体では 15.7%となっている。一方、「あまり決まっていない」「まったく決まっていない」の合計は、小学５年生全体では 29.8%、中学２年生全体では 25.3%となっている。

生活困難度別にみた『決まっていない（合計）』の割合は、小学５年生の生活困窮層で 41.1%、中学２年生で 26.0%となっており、小学５年生の生活困窮層で高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「だいたい決まっている」が４名、「決まっている」が２名となっている。

問17　就寝時刻が決まっているか	回答割合（%）	回答件数
決まっている	33.3	2
だいたい決まっている	66.7	4
あまり決まっていない	0.0	0
まったく決まっていない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「だいたい決まっている」が７名、「決まっている」が２名、「あまり決まっていない」が１名となっている。

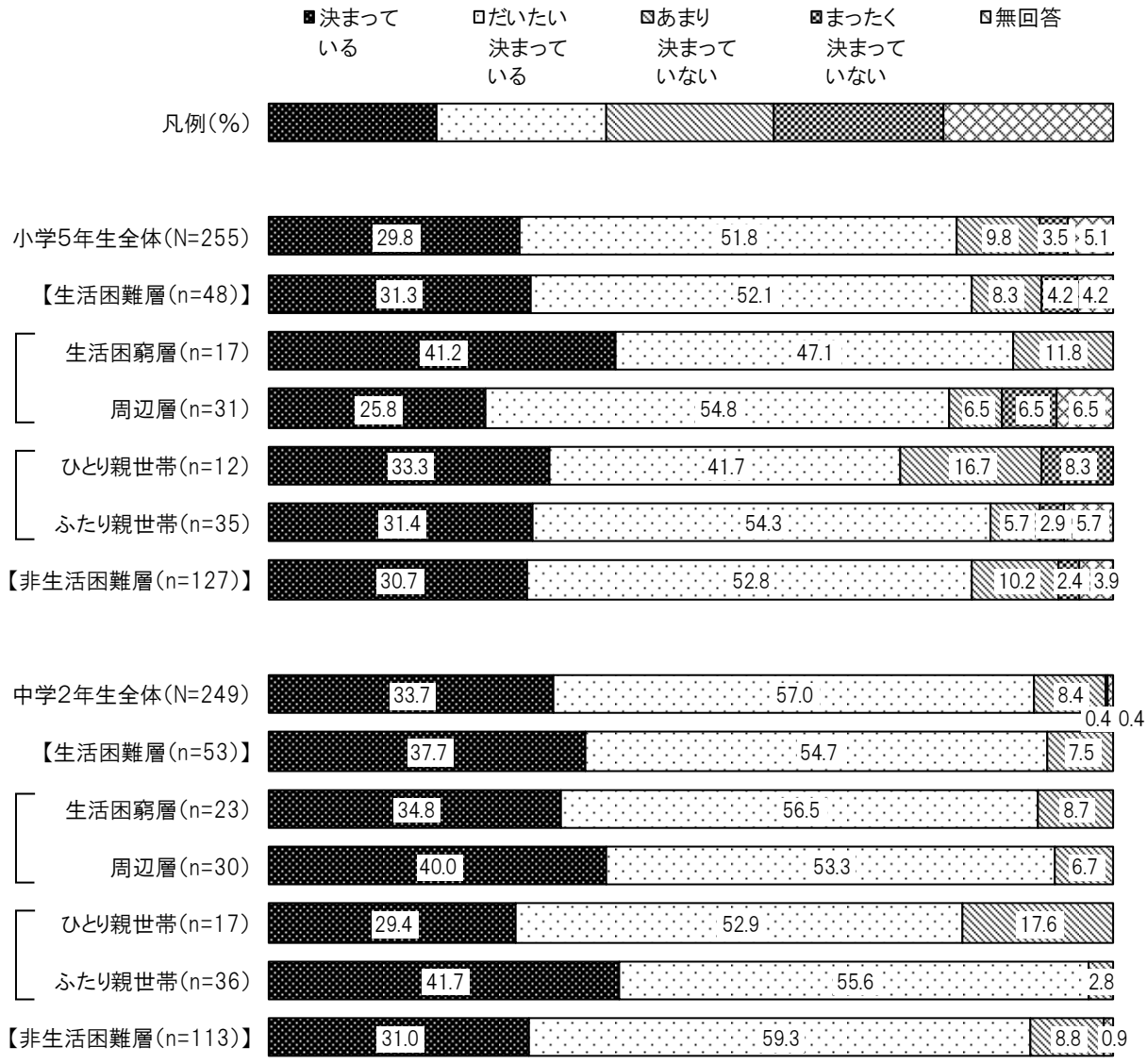
問17　就寝時刻が決まっているか	回答割合（%）	回答件数
決まっている	20.0	2
だいたい決まっている	70.0	7
あまり決まっていない	10.0	1
まったく決まっていない	0.0	0
全体	100.0	10

（６）起床時刻

子／問 19　あなたは毎日、朝、起きる時刻が決まっていますか。 （あてはまる番号１つに○）

起床時刻については、小学５年生全体では「決まっている」の割合が 29.8%、中学２年生全体では 33.7%となっている。一方、「あまり決まっていない」「まったく決まっていない」の合計は、小学５年生全体では 13.3%、中学２年生全体では 8.8%となっている。

生活困難度別にみた「決まっている」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 41.2%、中学２年生で 34.8%となっており、小学５年生の生活困窮層で高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「だいたい決まっている」が４名、「決まっている」「あまり決まっていない」が各１名となっている。

問18　起床時刻が決まっているか	回答割合（%）	回答件数
決まっている	16.7	1
だいたい決まっている	66.7	4
あまり決まっていない	16.7	1
まったく決まっていない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「だいたい決まっている」が６名、「決まっている」「あまり決まっていない」が各２名となっている。

問18　起床時刻が決まっているか	回答割合（%）	回答件数
決まっている	20.0	2
だいたい決まっている	60.0	6
あまり決まっていない	20.0	2
まったく決まっていない	0.0	0
全体	100.0	10

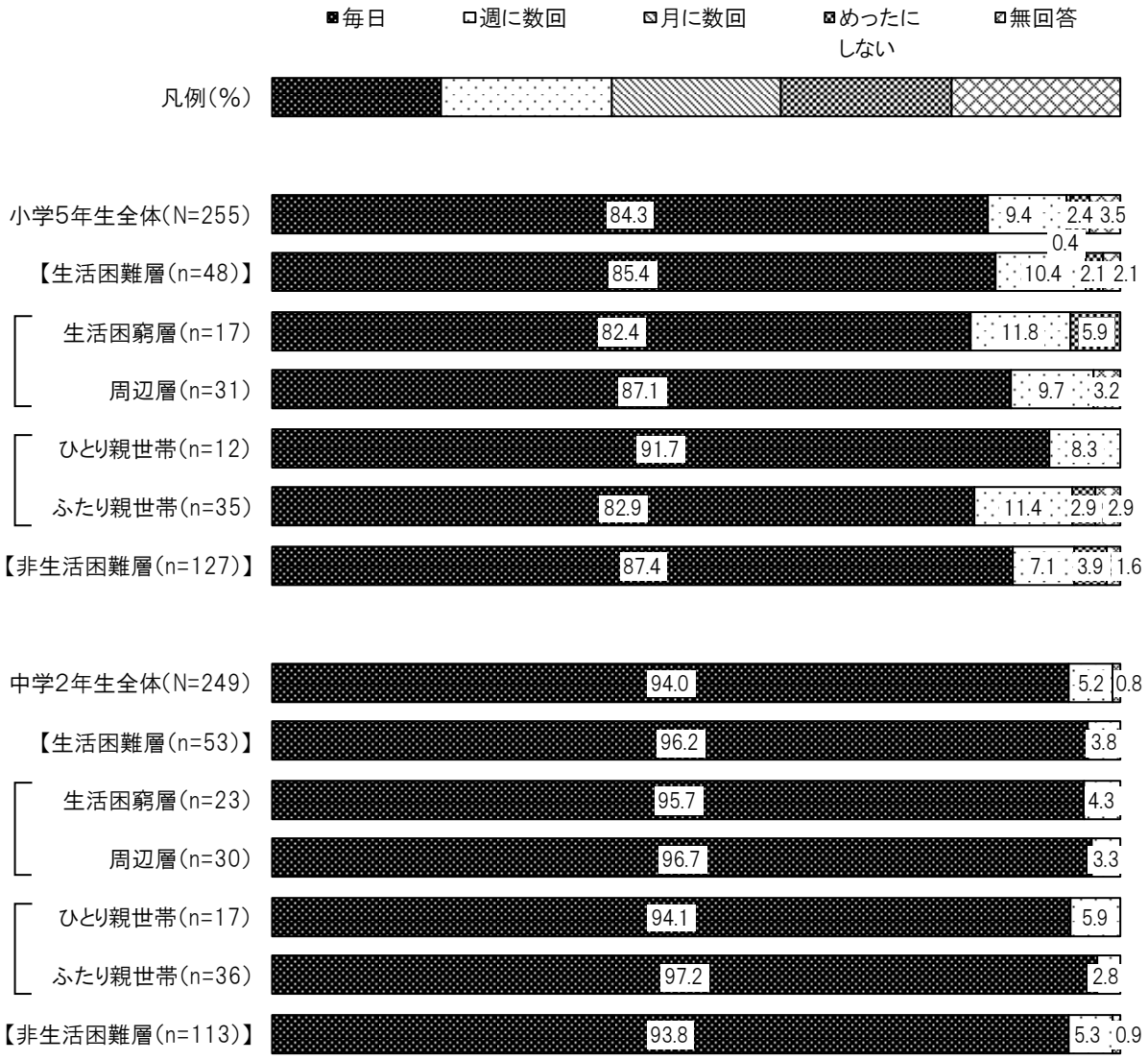
（7）歯磨き・入浴の頻度

子／問 20　あなたは、歯磨きや入浴（風呂、シャワー）をしますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

A　歯磨き

歯磨きについて、小学５年生全体では「毎日」の割合が 84.3%、中学２年生全体では 94.0%となっている。

生活困難度別にみた「毎日」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 82.4%、中学２年生で 95.7%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、全員が「毎日」と回答している。

（中学生）

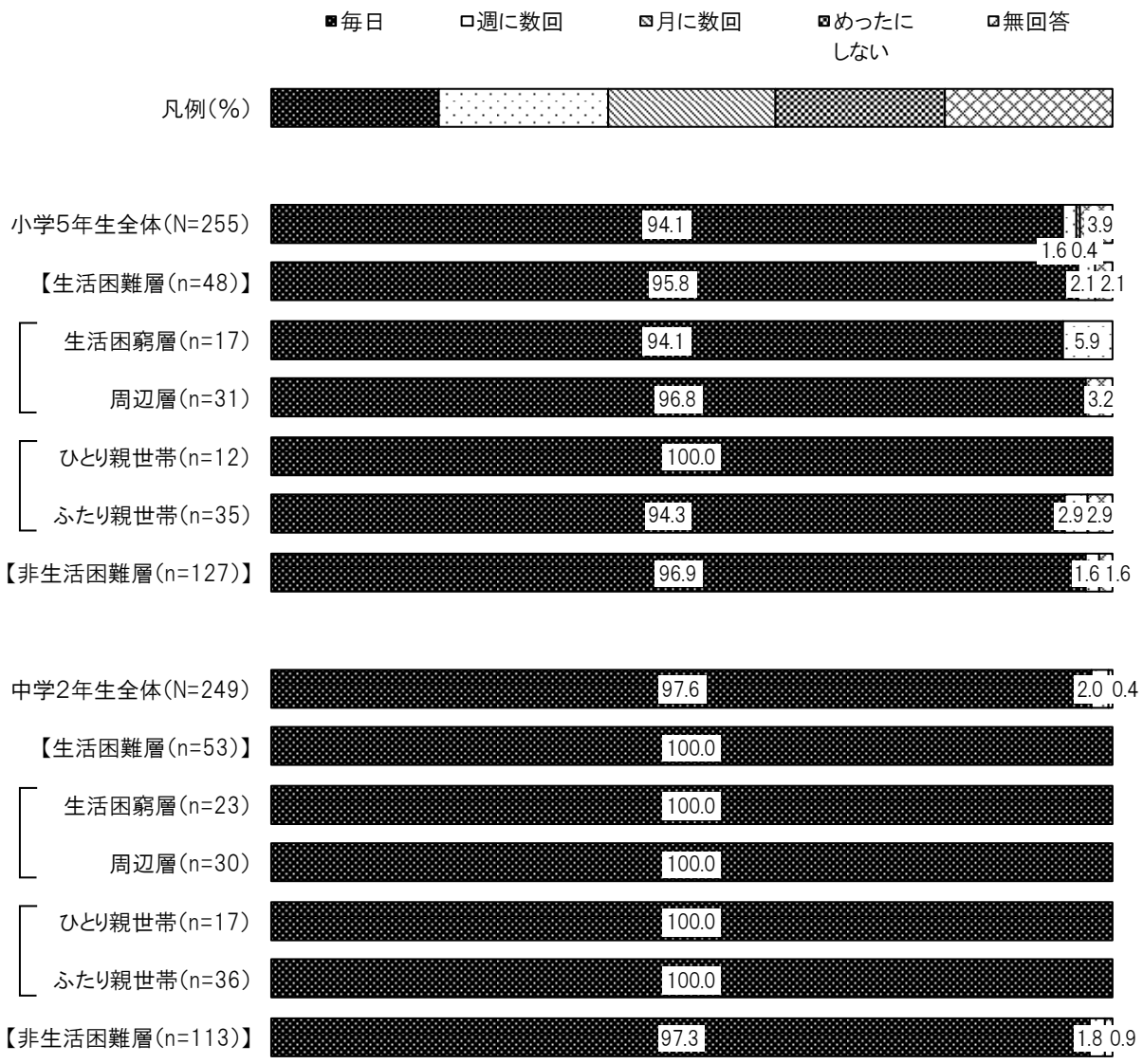
児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「毎日」が８名、「週に数回」が２名となっている。

問19　衛生に関する頻度／A　歯磨き	回答割合(%)	回答件数
毎日	80.0	8
週に数回	20.0	2
月に数回	0.0	0
めったにしない	0.0	0
全体	100.0	10

B　入浴

入浴について、小学５年生全体では「毎日」の割合が 94.1%、中学２年生全体では 97.6%となっている。

生活困難度別にみた「毎日」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 94.1%、中学２年生で 100.0%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者６名中「毎日」が５名、「週に数回」が１名となっている。

問19　衛生に関する頻度／B　入浴	回答割合(%)	回答件数
毎日	83.3	5
週に数回	16.7	1
月に数回	0.0	0
めったにしない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

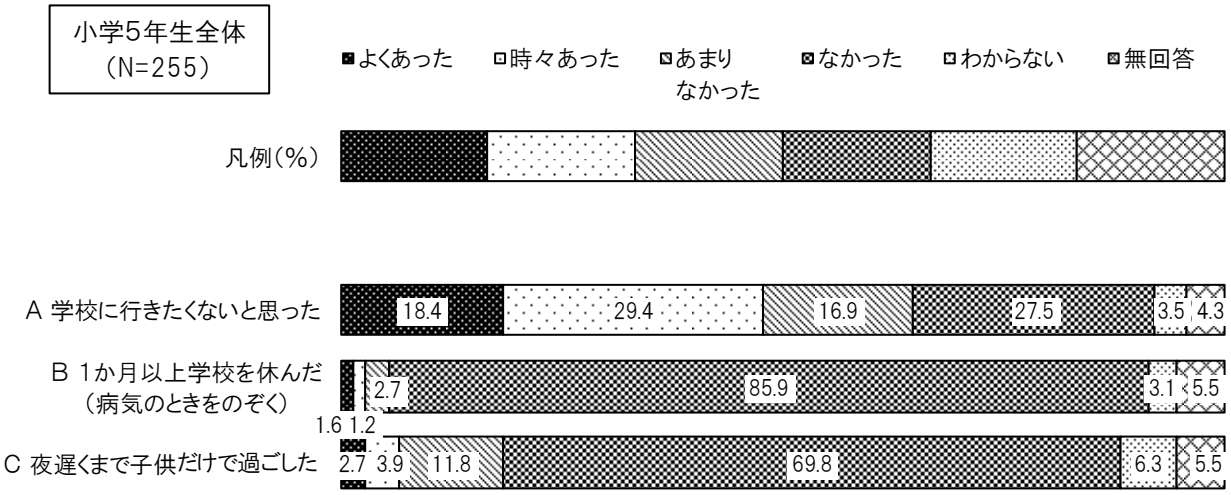
児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「毎日」が８名、「週に数回」が２名となっている。

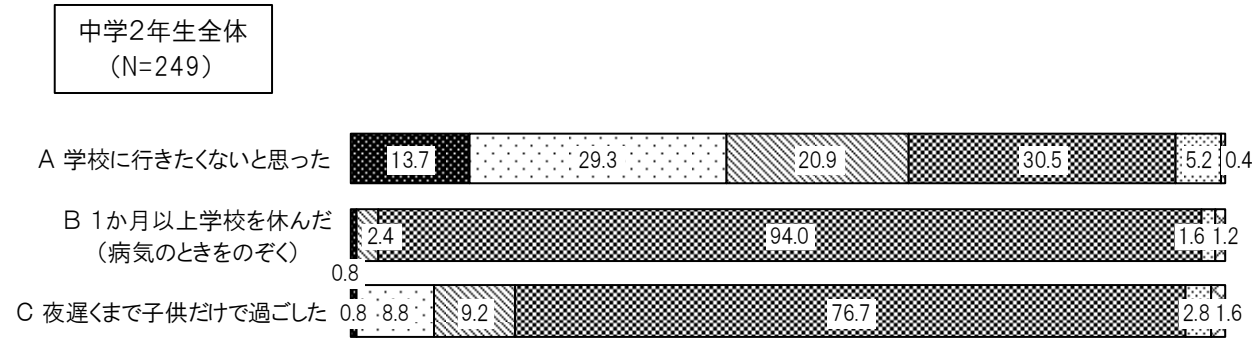
問19　衛生に関する頻度／B　入浴	回答割合(%)	回答件数
毎日	80.0	8
週に数回	20.0	2
月に数回	0.0	0
めったにしない	0.0	0
全体	100.0	10

【６】各種経験状況

子／問 39　あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

各種経験状況について「よくあった」「時々あった」の合計は、「A 学校に行きたくないと思った」では小学５年生全体で 47.8%、中学２年生全体で 43.0%となっている。「B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）」では小学５年生全体で 2.8%、中学２年生全体で 0.8%、「C 夜遅くまで子供だけで過ごした」では小学５年生全体で 6.6%、中学２年生全体で 9.6%となっている。

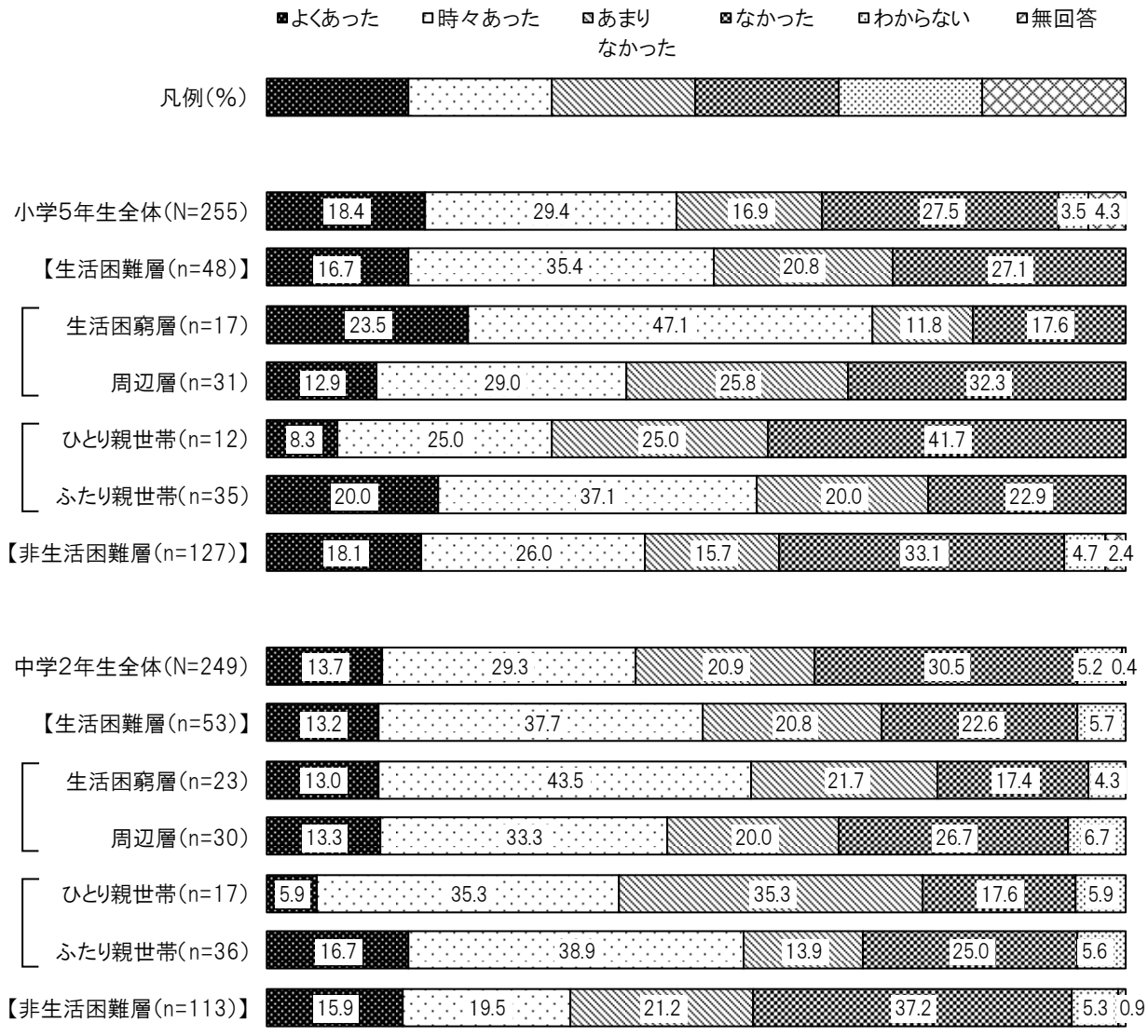




A　学校に行きたくないと思った

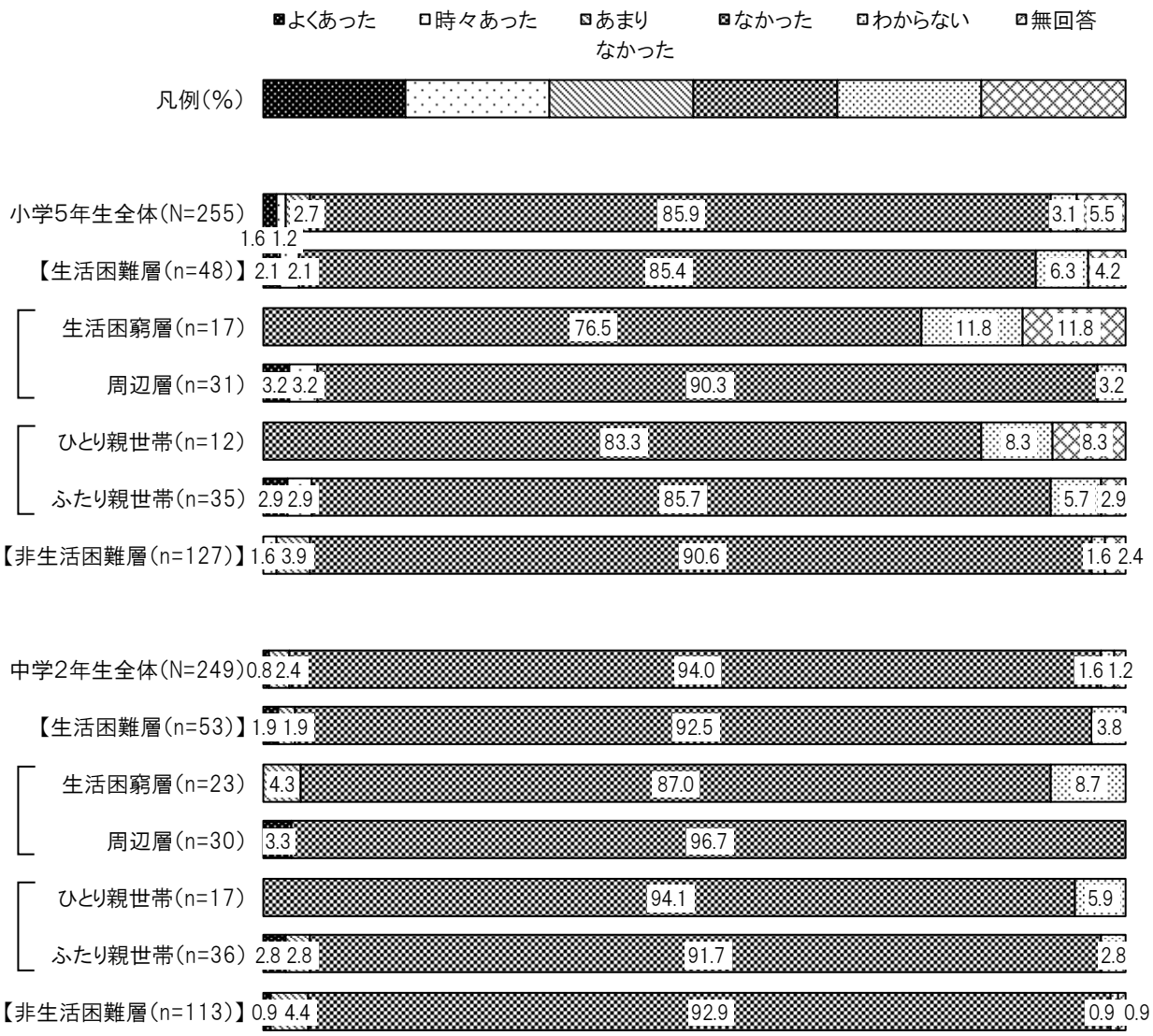
学校に行きたくないと思ったことについて「よくあった」「時々あった」の合計は、小学５年生の生活困窮層で 70.6%、中学２年生の生活困窮層で 56.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ふたり親世帯で「よくあった」「時々あった」の合計がひとり親世帯に比べて高くなっている。



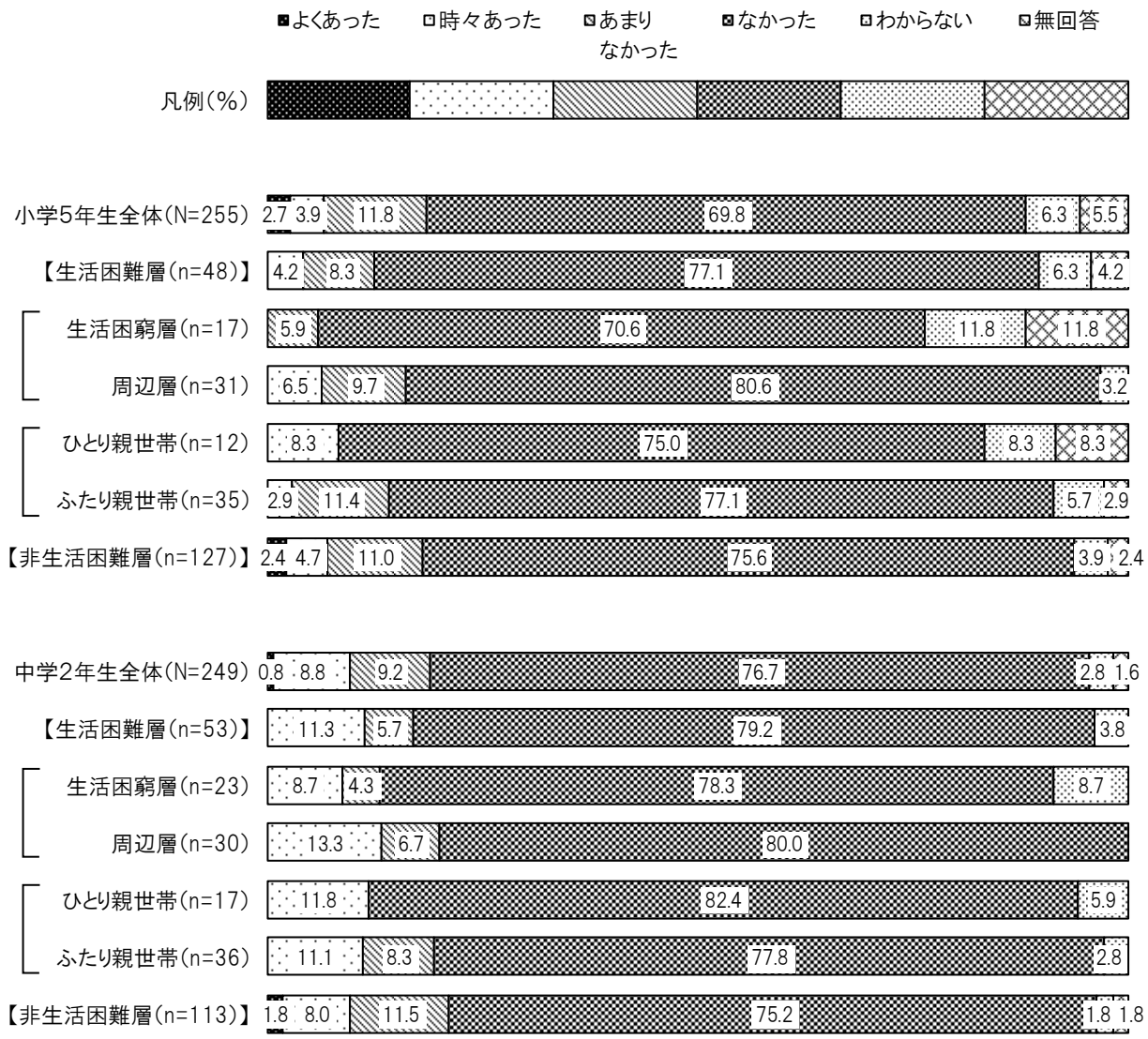
B　１か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）

１か月以上学校を休んだことについて「よくあった」「時々あった」の合計は、小学５年生の周辺層で6.4%、中学２年生の周辺層で3.3%となっている。



C　夜遅くまで子供だけで過ごした

夜遅くまで子供だけで過ごしたことについて「時々あった」の割合は、小学５年生の周辺層で6.5%、中学２年生の生活困窮層で8.7%、周辺層で13.3%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「Ａ 学校に行きたくないと思った」では、「時々あった」が３名、「よくあった」が１名となっている。

問38 経験頻度／Ａ 学校に行きたくないと思った	回答割合（%）	回答件数
よくあった	16.7	1
時々あった	50.0	3
あまりなかった	0.0	0
なかった	33.3	2
わからない	0.0	0
全体	100.0	6

問38 経験頻度／Ｂ 病気以外で1か月以上学校を休んだ	回答割合（%）	回答件数
よくあった	0.0	0
時々あった	0.0	0
あまりなかった	0.0	0
なかった	100.0	6
わからない	0.0	0
全体	100.0	6

問38 経験頻度／Ｃ 夜遅くまで子供だけで過ごした	回答割合（%）	回答件数
よくあった	0.0	0
時々あった	0.0	0
あまりなかった	0.0	0
なかった	100.0	6
わからない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「A 学校に行きたくないと思った」では、「時々あった」「あまりなかった」が各２名となっている。「C 夜遅くまで子供だけで過ごした」では、「時々あった」「あまりなかった」が各１名となっている。

問38 経験頻度／A 学校に行きたくないと思った	回答割合(%)	回答件数
よくあった	0.0	0
時々あった	20.0	2
あまりなかった	20.0	2
なかった	40.0	4
わからない	10.0	1
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

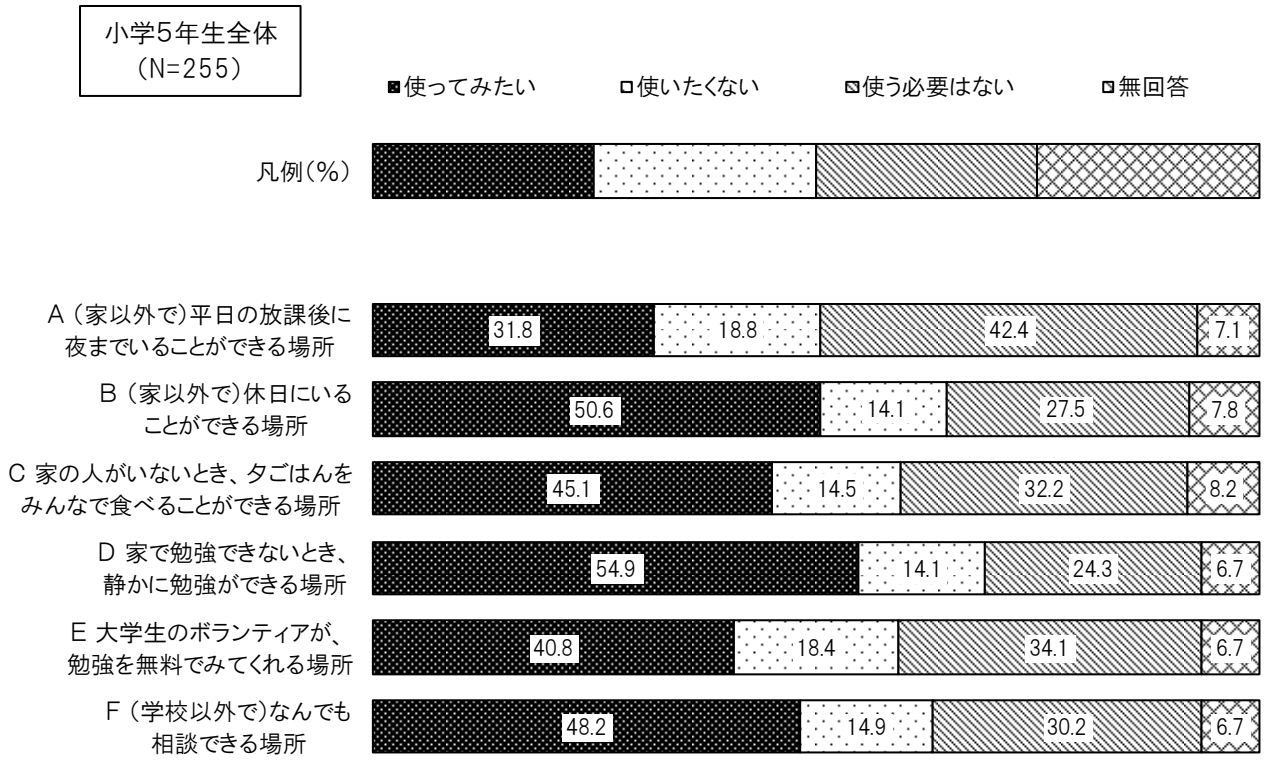
問38 経験頻度／B 病気以外で1か月以上学校を休んだ	回答割合(%)	回答件数
よくあった	0.0	0
時々あった	0.0	0
あまりなかった	0.0	0
なかった	90.0	9
わからない	0.0	0
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

問38 経験頻度／C 夜遅くまで子供だけで過ごした	回答割合(%)	回答件数
よくあった	0.0	0
時々あった	10.0	1
あまりなかった	10.0	1
なかった	60.0	6
わからない	10.0	1
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

【７】居場所関連等の支援プログラムの利用意向

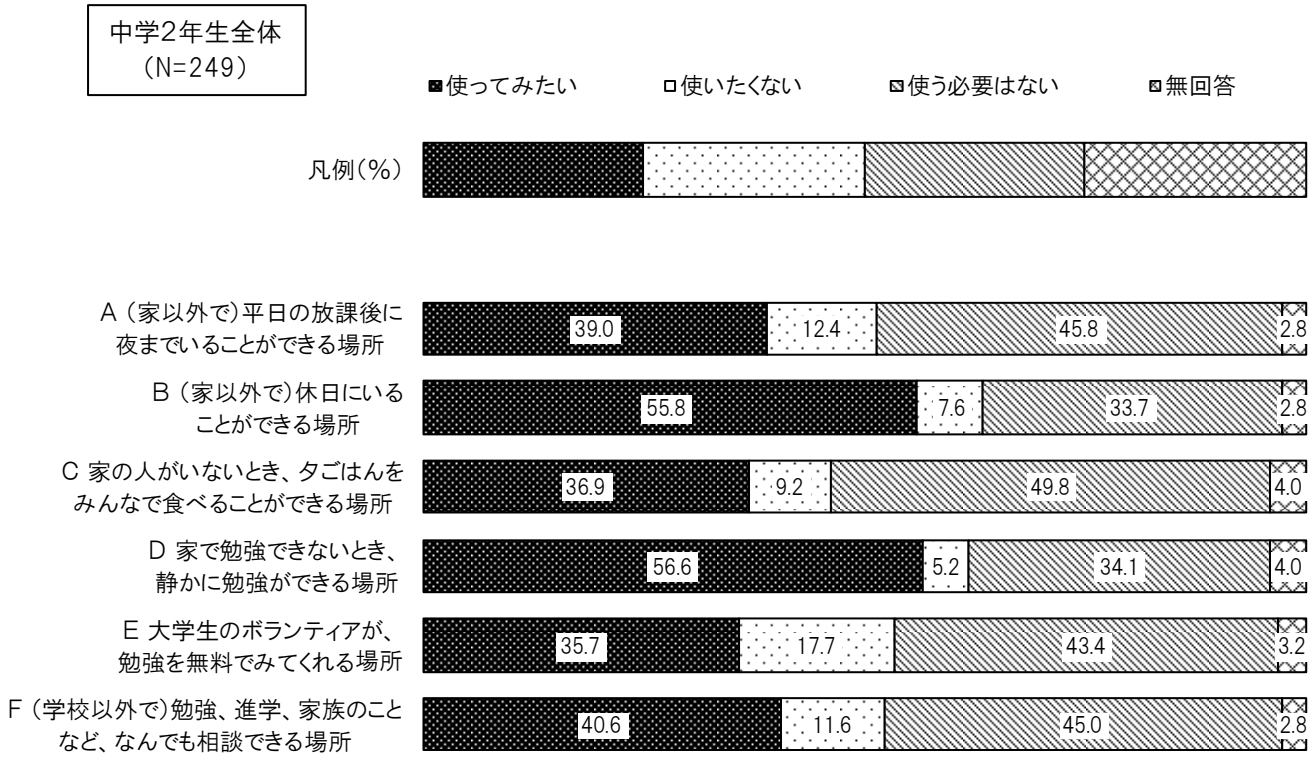
子／問 41　あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号１つに○）

支援プログラムの利用意向については、小学５年生全体では「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(54.9%)、「B （家以外で）休日にいることができる場所」(50.6%)、「F （学校以外で）なんでも相談できる場所」(48.2%) となっている。



注：D、Eの個別結果については、第3章 9学習関連の支援プログラムの利用意向に掲載

中学２年生全体では、「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(56.6%)、「B （家以外で）休日にいることができる場所」(55.8%)、「F （学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」（40.6%）となっている。

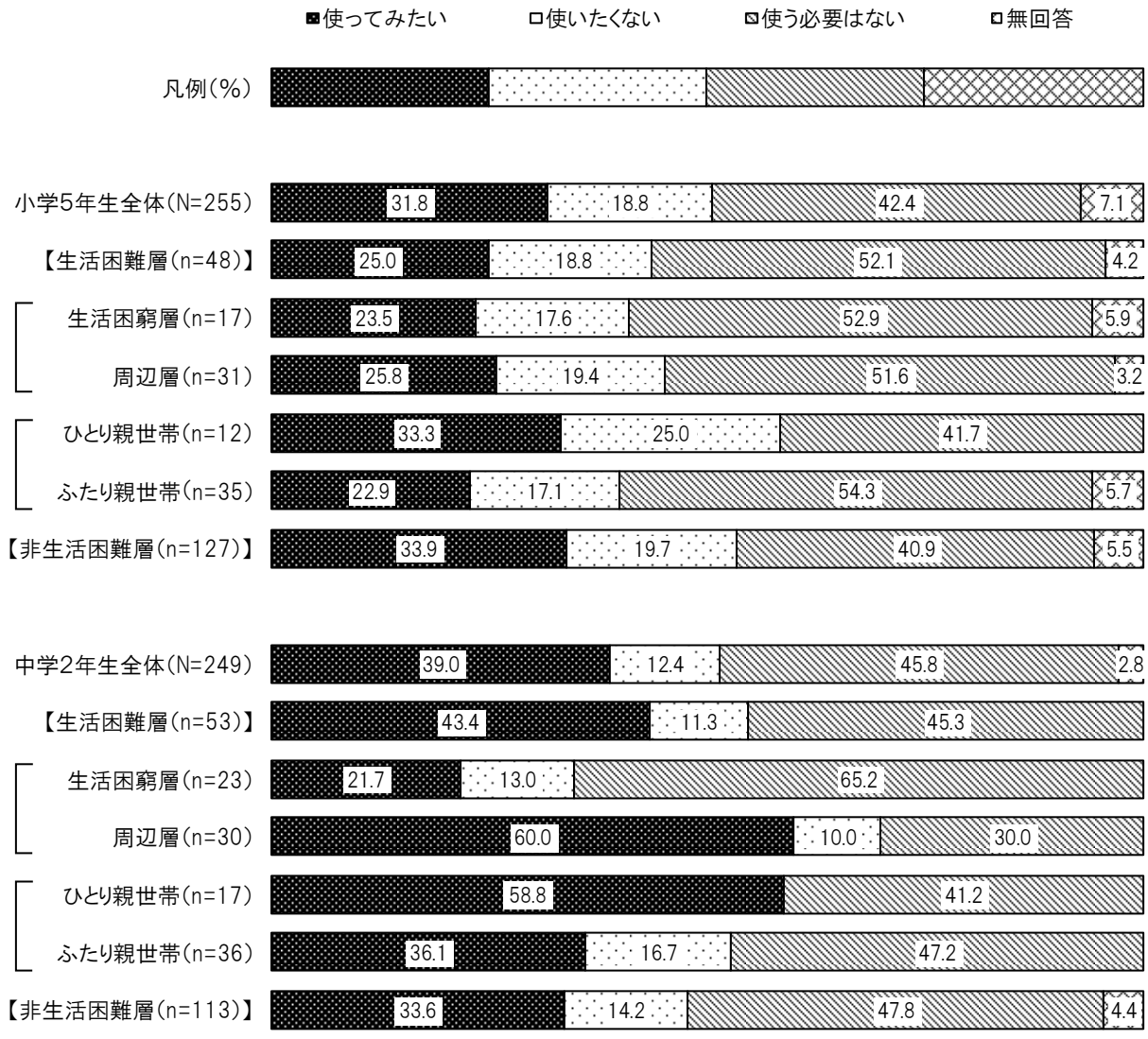


注：D、Eの個別結果については、第3章 9学習関連の支援プログラムの利用意向に掲載

A　（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

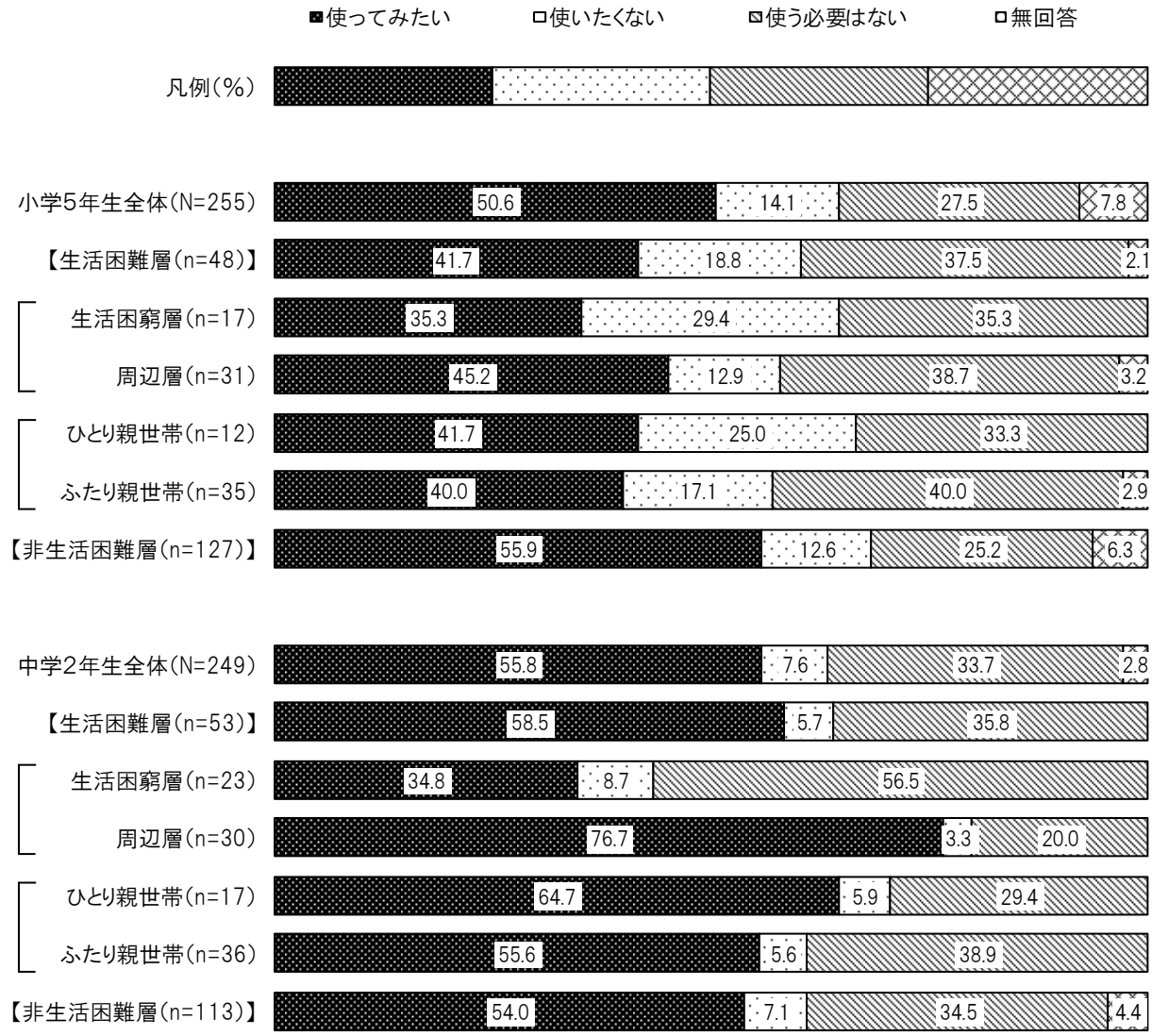
平日の放課後に夜までいることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 23.5%、周辺層で 25.8%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 21.7%、周辺層で 60.0%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学２年生のひとり親世帯で「使ってみたい」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B　（家以外で）休日にいることができる場所

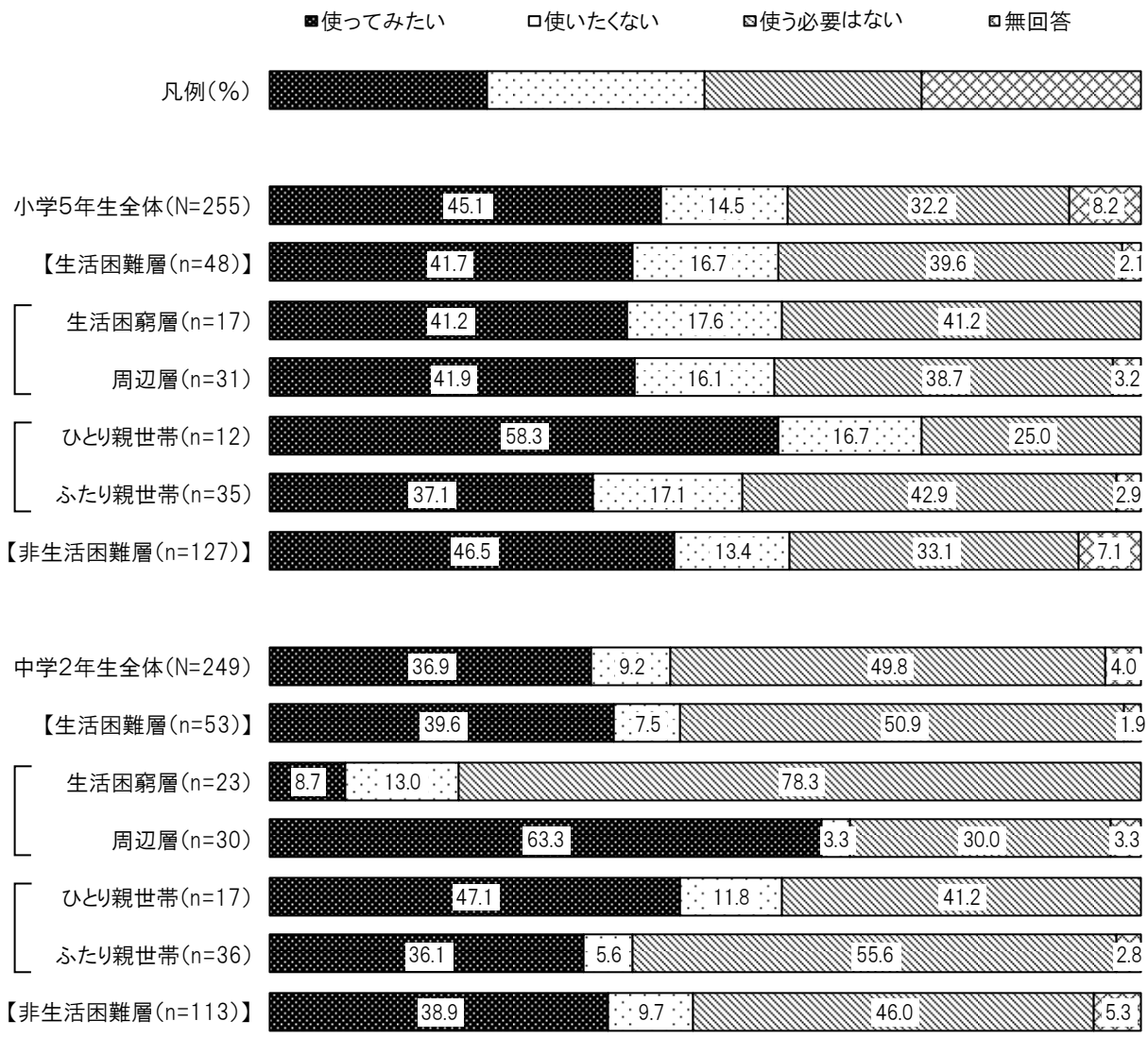
休日にいることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 35.3%、周辺層で 45.2%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 34.8%、周辺層で 76.7%となっており、周辺層で高くなっている。



C　家の人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がいないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 41.2%、周辺層で 41.9%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 8.7%、周辺層で 63.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。

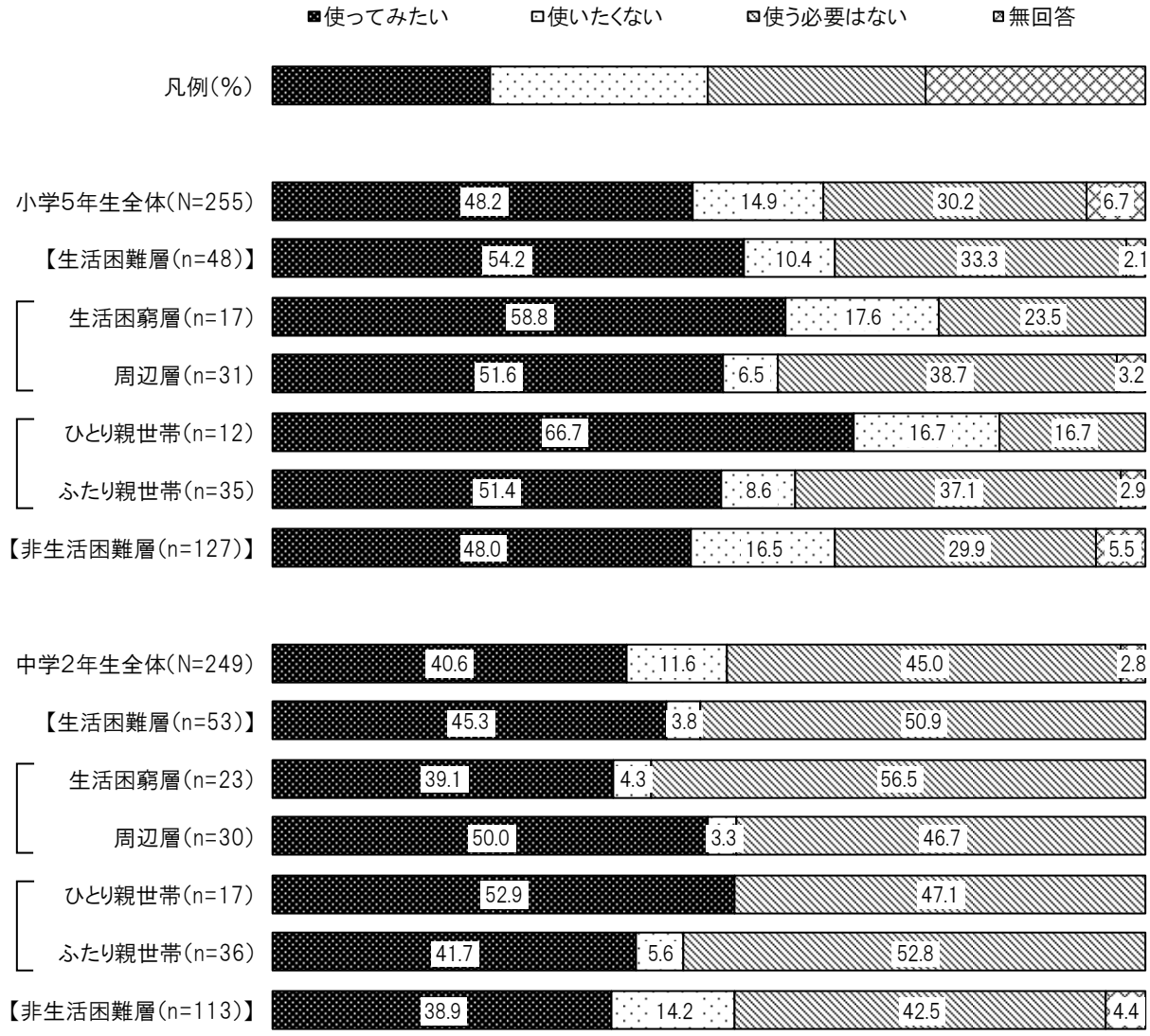
生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ひとり親世帯で「使ってみたい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



F　（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所※

勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所について「使ってみたい」の割合は、小学５年生の生活困窮層で 58.8%、周辺層で 51.6%となっている。中学２年生では、生活困窮層で 39.1%、周辺層で 50.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学５年生、中学２年生ともに、ひとり親世帯で「使ってみたい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※小学生票では「(学校以外で)なんでも相談できる場所」

【児童扶養手当受給者調査の結果】
（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者６名中「使ってみたい」は、「B 家以外で休日にいることができる場所」が４名、「C 家の人がいないときに夕ごはんをみんなで食べられる場所」「F 学校以外でなんでも相談できる場所」が各３名となっている。

問40 利用希望／A 家以外で平日の放課後に夜までいることができる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	16.7	1
使いたくない	50.0	3
使う必要はない	33.3	2
全体	100.0	6

問40 利用希望／B 家以外で休日にいることができる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	66.7	4
使いたくない	16.7	1
使う必要はない	16.7	1
全体	100.0	6

問40 利用希望／C 家の人がいないときに夕ごはんをみんなで食べられる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	50.0	3
使いたくない	33.3	2
使う必要はない	16.7	1
全体	100.0	6

問40 利用希望／F 学校以外でなんでも相談できる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	50.0	3
使いたくない	16.7	1
使う必要はない	33.3	2
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「使ってみたい」は、「F 学校以外でなんでも相談できる場所」が６名、「B 家以外で休日にいることができる場所」が５名、「C 家の人がいないときに夕ごはんをみんなで食べられる場所」が４名となっている。

問40 利用希望／A 家以外で平日の放課後に夜までいることができる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	30.0	3
使いたくない	0.0	0
使う必要はない	70.0	7
全体	100.0	10

問40 利用希望／B 家以外で休日にいることができる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	50.0	5
使いたくない	0.0	0
使う必要はない	50.0	5
全体	100.0	10

問40 利用希望／C 家の人がいないときに夕ごはんをみんなで食べられる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	40.0	4
使いたくない	0.0	0
使う必要はない	60.0	6
全体	100.0	10

問40 利用希望／F 学校以外でなんでも相談できる場所	回答割合（%）	回答件数
使ってみたい	60.0	6
使いたくない	0.0	0
使う必要はない	40.0	4
全体	100.0	10